

太子町人権に関する住民意識調査

報告書

令和3年2月

太子町

目 次

I 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収状況	2
II 調査結果概要	3
1. 回答者の属性と人権意識・人権学習について	3
2. 人権課題の認知状況と知ったきっかけ	4
3. 人権課題の意識について	5
4. 人権侵害の認知状況と知ったきっかけ	7
5. 人権侵害についての考え方	8
6. 今の社会についての意識	10
7. 人権に関する法律や条例の認知状況	11
8. 太子町や太子町人権協会が行う事業の認知状況と太子町人権啓発推進大会等 4つの大会や講演会などの参加経験	11
9. 人権課題から見る太子町の「人権が尊重されるまち」であるかどうかの意識	11
10. 人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動について	13
11. あなた自身に対する「人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」 に対してどのような対応をしたか	14
12. あなたが見聞きした、あなた以外の方への「人権を尊重する立場から見て 問題と思われる言動」に対してどのような対応をしたか	14
III 調査結果	16
問1 あなたは、「人権」について普段どのように意識していますか	16
問2 あなたの性別は	18
問3 令和2年5月1日現在のあなたの年齢は	18
問4 あなたの職業等は	19
問5 あなたは職場や学校などで、人権に関して学んだ経験はありますか	20
問6 あなたは、人権課題について知っていますか また、それをどのようなきっかけで知りましたか	22

問 7	あなたは、次の考え方に対してどのように思いますか	31
問 8	あなたは、次の人権課題について知っていますか また、それをどのようなきっかけで知りましたか	46
問 9	あなたは、次の考え方に対してどのように思いますか	53
問 10	あなたは、今の社会について、次のような意見に対し、どのように思いますか.	66
問 11	あなたは、次の人権に関する法律や条例等があることを知っていますか.....	69
問 12	あなたは、太子町や太子町人権協会が行う人権に関する事業等について、 どれを知っていますか。また、太子町人権啓発推進大会等4つの大会や 講演会等の参加経験はありますか.....	70
問 13	太子町は、次の人権課題について「人権が尊重されるまち」であると 思いますか.....	72
問 14	あなたは、「人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」を、 最近5年間で見聞きしたことがありましたか.....	86
問 15	あなた自身に対する「人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」に 対してどのように対応しましたか.....	92
問 16	あなたが見聞きした、あなた以外の方への「人権を尊重する立場から見て 問題と思われる言動」に対してどのように対応しましたか	95

I 調査概要

1. 調査目的

太子町では、すべての人の人権が尊重される社会の実現をめざし、さまざまな人権啓発活動をおこなっています。本調査は、これまでの人権施策の成果や課題を把握するとともに、今後のより効果的な人権啓発活動のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査方法

(1) 調査対象者

対 象 : 無作為に抽出した 16 歳以上の太子町民
対象者数 : 1, 0 0 0 人

(2) 調査方法

郵送配布・郵送回収

(3) 調査期間

令和 2 年 5 月 29 日 ~ 6 月 12 日

(4) 主要調査項目

- ① 回答者の属性と人権意識・人権学習について
- ② 人権課題の認知状況と知ったきっかけ
- ③ 人権課題の意識について
- ④ 人権侵害の認知状況と知ったきっかけ
- ⑤ 人権侵害についての考え方
- ⑥ 今の社会についての意識
- ⑦ 人権に関する法律や条例の認知状況
- ⑧ 太子町や太子町人権協会が行う事業の認知状況等
- ⑨ 人権課題から見る太子町の「人権が尊重されるまち」であるかどうかの意識
- ⑩ 人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動について
- ⑪ 人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動への対応
- ⑫ 自分以外の「人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」への対応

3. 回収状況

配布数：1,000件

有効回収数：410件

回収率：41.0%

4. 留意点

- 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しており、そのため、構成比の合計が100%にならないことがあります。
- 基数となるべき実数は、その設問の回答数を意味し、Nとして掲載しました。その際の比率はNを100%として算出しています。
- 複数回答は、1つの対象が2つ以上の回答をしても良い場合をいい、したがって、複数回答の場合は、合計割合が100%を上回ることがあります。

II 調査結果概要

1. 回答者の属性と人権意識・人権学習について

(1) 回答者の属性

- **性別**は「男性」が40.7%、「女性」が58.8%と「女性」の割合が18.1ポイント高くなっています。**年齢**は2人に1人が60歳以上の高齢者が占めています。「20歳未満」は4.6%、「20歳以上60歳未満」は42.9%、「60歳以上」は52.2%となっています。**職業**では、**就労率**が50.5%と2人に1人が就労しています。就労者のうち「常時雇用従業員等（公務員・教員と民間企業・団体等の合計割合）」は25.1%、「非常時雇用従業者（臨時雇用・パート・アルバイト等）」は15.4%、「自営業、自由業」は7.1%、「民間企業・団体等の経営者・役員等」は2.9%を占めています。**職業を有していない**は47.8%、「無職」が21.7%、「専業主婦・主夫」は19.5%、「学生」は6.6%となっています。

(2) 人権意識と人権学習

① 人権意識

- 「人権」について、3人に1人は「非常に大切なことだと認識している」(36.1%)が、半数は「大切なことだと思うが、普段はあまり意識していない」(53.2%)となっています。半面「ほとんど意識したことはない」(6.3%)や「人権という言葉を知るとやっかいなものを感じる」(2.0%)、「自分には関係がないと思っている」(0.2%)と忌避意識や無関心などは1割近くを占めています。
- 認識度が高い「非常に大切なことだと認識している」を**年齢別**にみると、「60～69歳」が42.5%、「20歳未満」が42.1%、「70～79歳」が40.7%と、「60～79歳」の年齢層、いわゆる『団塊の世代』は人権への認識の高いことが表れています。また、**人権学習の経験別**にみると、職場や学校などで、人権に関して学んだ経験が「ある」が38.9%、「ない」は26.0%と12.9ポイントの差が見られ、人権学習の経験の有無が人権に対する認識の深さに影響していることが表れています。

② 人権の学習経験と場

- 人権に関して職場や学校などで学んだ**経験**が「ある」は79.0%を占めています。**これを年齢別**でみると、年齢が高くなるほど人権学習の経験の割合は低くなっています。「20歳未満」は全員が経験するなど最も高く、年齢が高くなるほど経験が「ある」の割合は低くなり、「80歳以上」では46.0%と最も低くなっています。

- その**学習の場**は、「中学校」(62.3%)が最も多く、次いで「小学校」(48.1%)、「高等学校」(47.2%)、「職場」(35.2%)、「大学・短期大学」(19.1%)と、義務教育のなかでも「中学校」の割合が顕著に高くなっています。

2. 人権課題の認知状況と知ったきっかけ

(1) 人権課題の認知状況

- 「子どもの人権」(90.7%)と「女性の人権」(90.0%)が人権課題の中で最も多く、次いで「障がいのある人の人権」「同和問題(部落差別)」(いずれも86.8%)、「高齢者の人権」(74.9%)、「外国人の人権」(70.7%)、「ヘイトスピーチについて」(65.9%)の順になっています。
- 年齢別にみると、年齢により人権課題の認知度(人権課題を知っている割合)に違いがみられます。総じて「80歳以上」は全項目にわたり全体平均より割合が低くなっています。さらに「20歳未満」では「同和問題(部落差別)」、「ヘイトスピーチ」が、「70~79歳」では「女性の人権」、「子どもの人権」が全体平均より割合が低くなっており、人権課題へのきめ細かな対応策が求められるといえます。

(2) 人権課題を知ったきっかけと特に対応すべき人権課題

- **人権課題を知ったきっかけ**は、同和問題(部落差別)を除いて、共通して「新聞・テレビ・ラジオ」の割合が圧倒的に高くなっています。「女性」、「子ども」、「高齢者」、「障がいのある人」、「外国人」、「ヘイトスピーチ」では最も割合が多く、マスメディアは人権課題の情報源として大きな役割を担っていることが表れています。これら人権課題を知ったきっかけをマスメディアを除いてみると、その上位3位は、「女性の人権」では職場・インターネット・学校教育、「子どもの人権」では、学校教育・インターネット・職場、「高齢者の人権」ではインターネット・職場・学校教育、「障がいのある人の人権」では学校教育・職場・インターネット、「外国人の人権」では学校教育・インターネット・職場、「ヘイトスピーチについて」ではインターネット・学校教育・職場と、学校教育・インターネット・職場が上位を占めています。なかでも「学校教育」は人権課題を「知る」とともに「学ぶ」ということから重要な役割を担っていることが分かります。
- 「**同和問題(部落差別)**」を知ったきっかけは、他の人権課題とは異なった傾向を示しています。知ったきっかけは「学校教育」(54.8%)が最も多く、次いで「新聞・テレビ・ラジオ」(35.4%)、「職場」(16.9%)、「地域社会」「家族・親戚」(いずれも14.9%)「友人・知人」(12.6%)となっています。他の人権課題と比べ地域社会、家族・親戚、友人・知人など「地縁」、「血縁」などの割合が高いことが表れています。

- こうした人権課題の中で特に対応すべき人権課題は、「子どもの人権（いじめ、体罰、性被害などを含む虐待）」が70.5%と圧倒的に多く、次いで「女性の人権（セクハラ、DVなど）」(37.8%)、「障がいのある人の人権」(32.2%)、「高齢者の人権」(12.9%)、「同和問題（部落差別）」(7.3%)の順になっています。特に対応すべき人権課題別の年齢層を見ると、年齢層ごとに対応すべき人権課題への特徴がみられます。「障がいのある人の人権」「高齢者の人権」は、50歳から年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられます。「同和問題（部落差別）」では、70歳以上の高齢者ととも、20歳未満が上位を占めています。さらに「外国人の人権」は「20歳未満」と「30～49歳」の比較的若い年齢層が上位を占めています。

表.人権課題を知ったきっかけ

	女性の人権 (セクハラ、DVなど)		子どもの人権 (いじめ、体罰、性被害などを含む虐待)		高齢者の人権		障がいのある人の人権		同和問題 (部落差別)		外国人の人権		ヘイトスピーチについて	
	新聞・テレビ・ラジオ	78.6%	新聞・テレビ・ラジオ	72.8%	新聞・テレビ・ラジオ	69.4%	新聞・テレビ・ラジオ	60.7%	学校教育	54.8%	新聞・テレビ・ラジオ	69.7%	新聞・テレビ・ラジオ	77.0%
1	新聞・テレビ・ラジオ	78.6%	新聞・テレビ・ラジオ	72.8%	新聞・テレビ・ラジオ	69.4%	新聞・テレビ・ラジオ	60.7%	学校教育	54.8%	新聞・テレビ・ラジオ	69.7%	新聞・テレビ・ラジオ	77.0%
2	職場	21.4%	学校教育	30.9%	インターネット	18.6%	学校教育	30.3%	新聞・テレビ・ラジオ	35.4%	学校教育	22.1%	インターネット	21.9%
3	インターネット	20.1%	インターネット	19.9%	職場	16.6%	職場	19.7%	職場	16.9%	インターネット	19.3%	学校教育	11.9%
4	学校教育	16.3%	職場	10.2%	学校教育	16.0%	インターネット	17.7%	地域社会	14.9%	職場	14.5%	職場	10.7%
5	行政の情報(広報など)	8.9%	地域社会	10.2%	地域社会	15.0%	地域社会	13.8%	家族・親戚	14.9%	行政の情報(広報など)	7.2%	行政の情報(広報など)	6.3%
6	地域社会	8.1%	行政の情報(広報など)	9.1%	行政の情報(広報など)	12.4%	行政の情報(広報など)	12.1%	友人・知人	12.6%	地域社会	6.2%	地域社会	5.9%
7	友人・知人	7.3%	家族・親戚	6.7%	家族・親戚	9.1%	家族・親戚	9.0%	行政の情報(広報など)	10.7%	友人・知人	5.9%	友人・知人	2.2%
8	家族・親戚	4.3%	友人・知人	6.5%	友人・知人	4.9%	友人・知人	8.1%	インターネット	10.1%	家族・親戚	4.5%	家族・親戚	1.9%

3. 人権課題の意識について

① 女性の人権

「夫婦であっても暴力をふるうことは許されない」と「思う」が96.5%、「どちらともいえない」は2.4%、「思わない」は0.2%となっており、ドメスティック・バイオレンスについて「許されない」という意識が大半を占めています。「親の世話や介護は、女性の役割である」と「思わない」が66.8%、「どちらともいえない」は24.4%、「思う」は7.8%となっており、固定的な性別役割分担についての否定的意識が6割以上を占めています。「採用や昇任など、職場での男女の待遇の違いはやむを得ない」と「思わない」が56.1%、「思う」は20.5%、「どちらともいえない」は20.0%となっており、職業生活における男女共同参画についての肯定的意識が6割近くを占めています。

② 子どもの人権

「いじめは、いじめられる側にも問題がある」と「思わない」が47.3%、「どちらともいえない」は28.3%、「思う」は22.7%となっており、いじめの被害者を問題視する意識が2割を占めています。「子どもは保護者や親の意見に従えばよい」と「思わない」が62.9%、「どちらともいえない」は22.0%、「思う」は12.9%と、子どもは「守られるべき存在」「権利の主体」であることについて肯定的意識は6割の半面、否定的意識は1割を占めています。

③ 高齢者の人権

「高齢者はあまり自己主張せず、家族や周りの者の言うことを聞いた方がよい」と「思わない」が46.6%、「どちらともいえない」は27.6%、「思う」は24.2%となっています。「働く意欲や能力がある高齢者の雇用や待遇が十分に保証されていないのはおかしい」と「思う」が66.8%、「どちらともいえない」は21.0%、「思わない」は9.0%となっており、高齢者が就業をはじめ多様な社会活動に参加する機会の確保に対して肯定的意識は7割近く、否定的意識は1割を占めています。

④ 障がいのある人の人権

「障がいのある人が社会参加しやすくするために、地域住民が交流する機会を増やすべきだ」と「思う」が71.7%、「どちらともいえない」は21.5%、「思わない」は4.4%となっており、障がいのある人があらゆる分野の活動に参加する機会の確保に対する肯定的意識は7割、否定的意識はほぼ1割を占めています。「障がいのある人は、自分の行動について、自分で選択や決定する機会が制限されても仕方がない」は「思わない」が49.0%、「どちらともいえない」は32.0%、「思う」は15.6%と障がいのある人への社会的障壁の除去に対しての肯定的意識は半数の半面、否定的意識は1割以上を占めています。

⑤ 同和問題（部落差別）

「同和問題（部落差別）は過去にあったが、今は存在しない」と「思わない」は38.0%、「どちらともいえない」は31.0%、「思う」は27.4%を占め、意識が分かれていることが表れています。「自分の身内が同和地区出身者と結婚することには反対する」は、「どちらともいえない」が38.3%、「思わない」は35.4%、「思う」は22.7%を占めています。

⑥ 外国人の人権

「外国人は賃貸有宅などの入居を断られても仕方がない」は「思わない」が60.2%、「どちらともいえない」は29.3%、「思う」は6.9%を占めています。「外国の生活習慣や文化などへの理解が欠けており、地域社会への受け入れが十分でない」は、「思う」が48.5%、「どちらともいえない」が32.0%、「思わない」は13.7%を占めています。

表.人権課題の意識

	思う		思わない		どちらとも いえない
1 夫婦であっても、暴力をふるうことは許されない。	96.5%	>	0.2%	<	2.4%
2 親の世話や介護は、女性の役割である	7.8%	<	66.8%	>	24.4%
3 採用や昇任など、職場での男女の待遇の違いはやむを得ない	20.5%	<	56.1%	>	20.0%
4 いじめは、いじめられる側にも問題がある	22.7%	<	47.3%	>	28.3%
5 子どもは、保護者や大人の意見に従えばよい	12.9%	<	62.9%	>	22.0%
6 高齢者は、あまり自己主張せず、家族やまわりの者の言うことを聞いた方がよい	24.2%	<	46.6%	>	27.6%
7 働く意欲や能力がある高齢者の雇用や待遇が十分に保証されていないのはおかしい	66.8%	>	9.0%	<	21.0%
8 障がいのある人が社会参加しやすくするために、地域住民が交流する機会を増やすべきだ	71.7%	>	4.4%	<	21.5%
9 障がいのある人は、自分の行動について、自分で選択や決定する機会が制限されても仕方がない	15.6%	<	49.0%	<	32.0%
10 同和問題(部落差別)は、過去にはあったが、今は存在しない	27.4%	<	38.0%	>	31.0%
11 自分の身内が同和地区出身者と結婚することには反対する	22.7%	<	35.4%	<	38.3%
12 外国人は、賃貸住宅などの入居を断られても仕方がない	6.9%	<	60.2%	>	29.3%
13 外国の生活習慣や文化などへの理解が欠けており、地域社会の受け入れが十分でない	48.5%	>	13.7%	<	32.0%

4. 人権侵害の認知状況と知ったきっかけ

(1) 人権侵害の認知状況

- 「パワーハラスメントについて」が88.3%と最も多く、次いで「性的マイノリティの人権侵害」(79.8%)、「インターネット上の人権侵害」(79.5%)、「ハンセン病回復者への人権侵害」(73.7%)、「引きこもりに対する偏見や差別」(72.2%)の順になっています。
- 人権侵害の認知状況は年齢層によって認知度の高低差が表れています。「40～49歳」「50～59歳」「70～79歳」の年齢層では人権侵害全ての項目で認知度は全体平均を上回っています。これに対して、比較的若い「20歳未満」「20～29歳」、最も高齢の「80歳以上」では全体平均を下回る認知状況が表れています。

(2) 人権侵害を知ったきっかけ

- 「ハンセン病回復者」「刑を終えて出所した人」「犯罪被害者等」「インターネット」「性的マイノリティ」への人権侵害や「自殺や自死遺族」、「引きこもり」に対

する偏見や差別、「パワーハラスメント」について知ったきっかけは、共通して「新聞・テレビ・ラジオ」が圧倒的に多数を占めており、人権侵害や偏見・差別の情報源として、マスメディアは重要な役割を担っていることが表れています。

- 「新聞・テレビ・ラジオ」を除いて、人権侵害や偏見・差別の上位3位をみると、「インターネット」、「職場」、「学校教育」が上位を占めているのがわかります。その中で、「犯罪被害者等への人権侵害」では『地域社会』、「自殺や自死遺族に対する偏見や差別」では「地域社会」に加えて『家族・親戚』、「パワーハラスメントについて」「引きこもりに対する偏見や差別」では『友人・知人』が上位を占めています。人権侵害を知ったきっかけは、地域や家族・親戚、友人・知人により身近なところが多くみられます。

表.人権侵害を知ったきっかけ

No.	ハンセン病回復者への人権侵害		刑を終えて出所した人への人権侵害		犯罪被害者等への人権侵害		インターネット上の人権侵害		性的マイノリティ上の人権侵害		自殺や自死遺族に対する偏見や差別		パワーハラスメントについて		引きこもりに対する偏見や差別	
	新聞・テレビ・ラジオ	79.8%	新聞・テレビ・ラジオ	82.0%	新聞・テレビ・ラジオ	86.7%	新聞・テレビ・ラジオ	81.3%	新聞・テレビ・ラジオ	83.5%	新聞・テレビ・ラジオ	82.8%	新聞・テレビ・ラジオ	82.6%	新聞・テレビ・ラジオ	79.4%
1	新聞・テレビ・ラジオ	79.8%	新聞・テレビ・ラジオ	82.0%	新聞・テレビ・ラジオ	86.7%	新聞・テレビ・ラジオ	81.3%	新聞・テレビ・ラジオ	83.5%	新聞・テレビ・ラジオ	82.8%	新聞・テレビ・ラジオ	82.6%	新聞・テレビ・ラジオ	79.4%
2	学校教育	14.6%	インターネット	17.3%	インターネット	21.1%	インターネット	36.2%	インターネット	25.7%	インターネット	21.2%	職場	23.2%	インターネット	19.9%
3	インターネット	13.2%	職場	7.3%	職場	4.9%	学校教育	7.7%	学校教育	8.6%	地域社会	5.6%	インターネット	22.9%	友人・知人	9.1%
4	職場	7.0%	学校教育	5.5%	地域社会	4.9%	職場	4.9%	職場	7.0%	家族・親戚	4.8%	友人・知人	8.0%	職場	7.1%
5	家族・親戚	5.6%	地域社会	5.2%	学校教育	3.9%	友人・知人	3.4%	行政の情報(広報など)	4.6%	職場	4.8%	学校教育	6.4%	地域社会	7.1%
6	行政の情報(広報など)	5.6%	友人・知人	3.1%	行政の情報(広報など)	2.5%	家族・親戚	2.8%	地域社会	4.3%	友人・知人	4.0%	行政の情報(広報など)	4.1%	家族・親戚	6.1%
7	地域社会	3.6%	行政の情報(広報など)	3.1%	家族・親戚	2.1%	行政の情報(広報など)	2.8%	友人・知人	4.0%	行政の情報(広報など)	4.0%	地域社会	3.0%	学校教育	6.1%
8	友人・知人	3.0%	家族・親戚	1.7%	友人・知人	0.7%	地域社会	2.1%	家族・親戚	1.8%	学校教育	3.6%	家族・親戚	2.5%	行政の情報(広報など)	3.4%

5. 人権侵害についての考え方

① ハンセン病回復者について

『ハンセン病回復者とは一緒に入浴しない』は「思わない」が47.1%、「どちらともいえない」は35.6%、「思う」は12.1%となっています。

② 刑余者について

『刑を終えて出所した人に対して雇用や関わりを避ける』は「どちらともいえない」が40.2%、「思わない」は28.3%、「思う」は26.1%となっています。

③ 犯罪被害者について

『犯罪被害者やその家族が、捜査や刑事裁判で精神的負担を受けないように保護すべきだ』は「思う」が80.7%、「どちらともいえない」は10.5%、「思わない」は5.1%

となっています。

④ インターネットについて

- 『子どもたちの間で、インターネットやSNSを利用したいじめが発生している』は「思う」が78.3%、「どちらともいえない」は9.5%、「思わない」は9.5%となっています。
- 『インターネット上は、誰もが自由に書き込める場なので、他人の誹謗中傷を書き込んでも問題はない』は「思わない」が90.7%、「どちらともいえない」は3.7%、「思う」は1.7%となっています。

⑤ 同性婚について

『結婚は男性と男性、女性と女性などでも認められるべきだ』は「思う」が36.8%、「どちらともいえない」は33.9%、「思わない」は26.1%と意識が分かれています。

⑥ 性的マイノリティについて

『家族からLGBTQなどの性的マイノリティであることを打ち明けられても、意思を尊重し変わりなく受け入れられる』は「思う」が42.2%、「どちらともいえない」は37.3%、「思わない」は14.1%となっています。

⑦ 自殺について

『自殺の多くは社会的に追い込まれた末の死である』は「思う」が45.9%、「どちらともいえない」は34.6%、「思わない」は15.4%となっています。

⑧ ハラスメントについて

『人前で部下を長時間にわたり大声で叱るのはハラスメントだ』は「思う」が87.8%、「どちらともいえない」は6.8%、「思わない」は1.7%となっています。

⑨ 引きこもりについて

『引きこもりの状態になるのは、本人や家族の責任だ』は「どちらともいえない」が41.7%、「思わない」は35.9%、「思う」は18.5%となっています。

表.人権侵害についての考え方

	思う		思わない		どちらとも いえない
1 ハンセン病回復者とは、一緒に食事や入浴をしない	12.0%	<	47.1%	>	35.6%
2 刑を終えて出所した人に対して、雇用や関わりを避ける	26.1%	<	28.3%	<	40.2%
3 犯罪被害者やその家族が、捜査や刑事裁判で精神的負担を受けないように保護すべきだ	80.7%	>	5.1%	<	10.5%
4 子どもたちの間で、インターネットやSNSを利用したいじめが発生している	78.3%	>	4.9%	<	9.5%
5 インターネット上は、誰もが自由に書き込める場なので、他人の誹謗中傷を書き込んで問題はない	1.7%	<	90.7%	>	3.7%
6 結婚は、男性と男性、女性と女性などでも認められるべきだ。	36.8%	>	26.1%	<	33.9%
7 家族から、LGBTなどの性的マイノリティであることを打ち明けられても、意思を尊重し、変わりなく受け入れられる	42.2%	>	14.1%	<	37.3%
8 自殺の多くは、社会的に追い込まれた末の死である	45.9%	>	15.4%	<	34.6%
9 人前で部下を長時間にわたり大声で叱るのはハラスメントだ	87.8%	>	1.7%	<	6.8%
10 引きこもりの状態になるのは、本人や家族の責任だ	18.5%	<	35.9%	<	41.7%

注)『思う』は「そう思う」「ややそう思う」の合計割合

『思わない』は「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計割合

6. 今の社会についての意識

(1) 「努力をしない人を社会が面倒を見るのはおかしい」

「思う」は53.4%と半数を占め、次いで「どちらともいえない」は27.8%、「思わない」は15.4%となっています。

(2) 「貧困はその人の責任だから、救う必要はない」

「思わない」は55.1%と半数を占め、次いで「どちらともいえない」は33.7%、「思う」は8.3%となっています。

(3) 「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」

「思う」は70.7%、次いで「どちらともいえない」は22.0%、「思わない」は3.7%となっています。

表.今の社会についての意識

	思う		思わない		どちらとも いえない
1 努力しない人を社会が面倒を見るのはおかしい	53.4%	>	15.4%	<	27.8%
2 貧困はその人の責任だから、救う必要はない	8.3%	<	55.1%	>	33.7%
3 人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた	70.7%	>	3.7%	<	22.0%

7. 人権に関する法律や条例の認知状況

人権に関する法律や条例の認知度の上位5位は、①世界人権宣言（65.1%）②部落差別解消推進法（46.6%）③障害者差別解消法（35.9%）④ヘイトスピーチ解消法（34.6%）⑤大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例（21.0%）と、世界人権宣言の認知度が顕著に高く、また法律の認知度が条例よりも高くなっています。法律・条例の中で最も認知度が低いのは大阪府性の多様性理解増進条例となっています。

8. 太子町や太子町人権協会が行う事業の認知状況と太子町人権啓発推進大会など4つの大会や講演会などの参加経験

(1) 認知状況

人権に関する事業の上位5位は、①広報太子 人権コーナー「気づく」（37.1%）②太子町人権協会子どもの人権を守る部会 夏の親子映画会（32.7%）③太子町人権尊重のまちづくり条例（27.6%）④人権相談（25.6%）⑤太子町人権啓発推進大会、太子町人権協会子どもの人権を守る部会コンサートなど（いずれも22.4%）となっています。総じて条例や計画以上に映画会、講演会などイベントの認知度の高さが表れています。

(2) 参加経験

- ・太子町人権啓発推進大会の「参加」は33.7%
- ・太子町人権協会子どもの人権を守る部会 夏の親子映画会の「参加」は55.2%
- ・太子町人権協会子どもの人権を守る部会 コンサートなどの「参加」は50.0%
- ・南河内男女共同参画社会研究会講演会の「参加」は42.0%

9. 人権課題から見る太子町の「人権が尊重されるまち」であるかどうかの意識

① 男女共同参画

- 『男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである』は、「どちらともいえない」が42.2%、「思う」は33.2%、「思わない」は14.6%となっています。
- 『配偶者・パートナーなどからの暴力（DV）の相談が受けられ、安心して暮らせるまちである』は、「どちらともいえない」が51.5%、「思う」は26.8%、「思わない」は8.0%となっています。

② 子ども・子育て

- 『子ども各々の個性を発揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである』は、「思う」が41.5%、「どちらともいえない」は35.1%、「思わない」は

12.9%となっています。

- 『子育て家庭が安心して子どもを産み育てられるまちである』は、「思う」が58.5%、「どちらともいえない」は23.2%、「思わない」は9.8%となっています。

③ 高齢者

- 『高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである』は「思う」が60.2%、「どちらともいえない」は22.4%、「思わない」は10.7%となっています。
- 『高齢者がさまざまな活動の場に恵まれ、社会参加を通じ、生きがいを持って暮らせるまちである』は「思う」が45.6%、「どちらともいえない」は34.6%、「思わない」は11.2%となっています。

④ 障がいのある人

- 『障がいのある人が就労の機会に恵まれ、自立した生活を営めるまちである』は「どちらともいえない」が45.6%、「思う」は22.0%、「思わない」は19.3%となっています。
- 『障がいのある人がさまざまな相談ができ、安心して生活を営めるまちである』は「どちらともいえない」が49.0%、「思う」は23.7%、「思わない」は14.1%となっています。

⑤ 外国人

『外国人が地域社会の一員として、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまちである』は「どちらともいえない」が52.2%、「思う」は17.1%、「思わない」は16.8%となっています。

⑥ 犯罪被害者やその家族

『犯罪被害者やその家族が再び平穩に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまちである』は「どちらともいえない」が55.1%、「思わない」は17.6%、「思う」は13.2%と、「どちらともいえない」が最も多く、「思わない」が「思う」よりも4.4ポイント高くなっています。

⑦ 性的マイノリティ

『LGBTQなど性的マイノリティの人が差別を受けることなく、自分らしく生きることができるまちである』は「どちらともいえない」が53.9%、「思わない」は17.8%、「思う」は13.7%と、「どちらともいえない」が最も多く、「思わない」が「思う」よりも4.1ポイント高くなっています。

表.人権課題から見る太子町の「人権が尊重されるまち」であるかどうかの意識

	思う		思わない		どちらとも いえない
1 男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである	33.2%	>	14.6%	<	42.2%
2 配偶者・パートナーなどからの暴力(DV)の相談が受けられ、安心して暮らせるまちである	26.8%	>	8.0%	<	51.5%
3 子どもが各々の個性を発揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである	41.5%	>	12.9%	<	35.1%
4 子育て家庭が安心して子どもを産み育てられるまちである	58.5%	>	9.8%	<	23.2%
5 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである	60.2%	>	10.7%	<	22.4%
6 高齢者がさまざまな活動の場に恵まれ、社会参加を通じ、生きがいを持って暮らせるまちである	45.6%	>	11.2%	<	34.6%
7 障がいのある人が就労の機会に恵まれ、自立した生活を営めるまちである	22.0%	>	19.3%	<	45.6%
8 障がいのある人がさまざまな相談ができ、安心して生活を営めるまちである	23.7%	>	14.1%	<	49.0%
9 外国人が地域社会の一員として、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまちである	17.1%	>	16.8%	<	52.2%
10 犯罪被害者やその家族が再び平穏に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまちである	13.2%	<	17.6%	<	55.1%
11 L G B T Qなど性的マイノリティの人が差別を受けることなく、自分らしく生きることができるまちである	13.7%	<	17.8%	<	53.9%

注)『思う』は「そう思う」「ややそう思う」の合計割合
『思わない』は「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計割合

10. 人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動について

(1) 最近5年間で見聞きした経験は

「ある」は32.4%、「ない」は63.2%とほぼ3人に1人は人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動を見聞きしています。

(2) どのような人権問題に関するものか

人権を尊重する立場から見て問題と思われる人権問題の上位5位は、①「パワーハラスメント」(14.3%)、②子ども(13.5%)、③女性(11.3%)、④インターネット(9.0%)、⑤障がいのある人(7.5%)となっています。

(3) どのような内容か

人権問題の内容の上位5位は、①あらぬ噂、悪口、かげ口(18.0%)、②名誉棄損、侮辱、暴言(13.5%)、③不平等、不利益な扱い(12.8%)、④いじめ(8.3%)、⑤嫌がらせ(5.3%)となっています。

11. あなた自身に対する「人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」に対してどのような対応をしたか

(1) 対応

「我慢した」が43.8%と最も多く、次いで「相談した」(37.5%)、「抗議・反論した」(25.0%)、「訴えた」(12.5%)となっています。

(2) 対応についての具体的内容

1. 「相談した」…6件

- ・職場の上司/職場の先輩/労基局/市役所相談窓口(無料相談)に行ったが解決できなかった/近所で仲の良い方/友人

2. 「訴えた」……2件

3. 「我慢した」…5件

- ・めんどくさいから、人の悪口を言うのがその人の楽しみのようなので…
- ・上司に反論すると職場にいづらくなると思ったから
- ・こんな人を相手にしても自分が損するだけと思った
- ・いつもと同じ
- ・自分も同じ事をするのが嫌だった

4. 「その他」……2件

- ・相手にするのが時間のムダ
- ・営業をしている中で、この問題が再度

(3) その問題は解決しましたか

「解決しなかった」が68.8%、「解決した」はありませんでした。

ただ、「その他」では次のようなことが示されています。

- ・私に対しては無くなったが、代わりに他の人が被害を受け、再び上司に報告した
- ・そんな人の集まっているところに行かないようにした
- ・一度しか顔をみたことがないので分かりづらい
- ・町に訴えているが返事がない(連絡するとのこと)

12. あなたが見聞きした、あなた以外の方への「人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」に対してどのような対応をしたか

(1) どのように対応したか

「何もしなかった」は41.6%、「何らかの対応をした」は半数近くを占めています。その対応は、「いけないことと指摘した」が15.9%と最も多く、次いで、「いけないことと分かってもらおうとした」(15.0%)、「相談した」(8.8%)、「同調した」(6.2%)、「話をそらした」(5.3%)となっています。

- **どこに・誰に 相談した**

- ・ 1～4のすべてが必要だろうと思う
- ・ まず家族で話し合い、行動する
- ・ 自分の言動が他人の人権を侵害しているということに気づかせるためにできるだけ多くの人の倫理感を養い行政や教育機関、団体、企業などあらゆる集団が人権侵害の防止に努める
- ・ 監視、制限
- ・ いじめをしたら重い罰をあたえる
- ・ 地域のボス的存在は減って来ているが未だ一部には残っている。狭い地域での民主化が不徹底な所がある
- ・ 本人が声をあげる

(2) **そのような問題(事案)についてどうしたらよいと思うか**

- 「特に何もしなくてよい」がわずかにみられますが、**4人に1人は「相談窓口の拡充」「学校教育・社会教育の充実」が必要であるとしています。**「相談窓口を拡充する」(26.5%)が最も多く、次いで「学校教育・社会教育を充実する」(25.7%)、「行政が啓発に努める」(16.8%)、「当事者自らが解決策を講じる」(12.4%)の順になっています。
- **人権学習の経験の有無による人権問題事案の対応策**をみると、「人権学習の経験がある」では、人権学習や相談機能の充実や行政の啓発を求めています。これに対し「人権学習の経験がない」は、総じて対応策の検討より当事者自らの解決策を講じることを重視しています。「人権学習の経験がある」では①学校教育・社会教育の充実(26.5%)②相談窓口を拡充(25.5%)③行政の啓発(18.6%)④当事者自らが解決策を講じる(9.8%)と、人権問題事象に対して人権学習や相談機能の充実や行政の啓発を求めています。「人権学習の経験がない」では①当事者自らが解決策を講じる(50.0%)②相談窓口を拡充(25.0%)③学校教育・社会教育の充実(12.5%)と、2人に1人が当事者による解決を求めています。また、「何もしない」は12.5%を占めています。

Ⅲ 調査結果

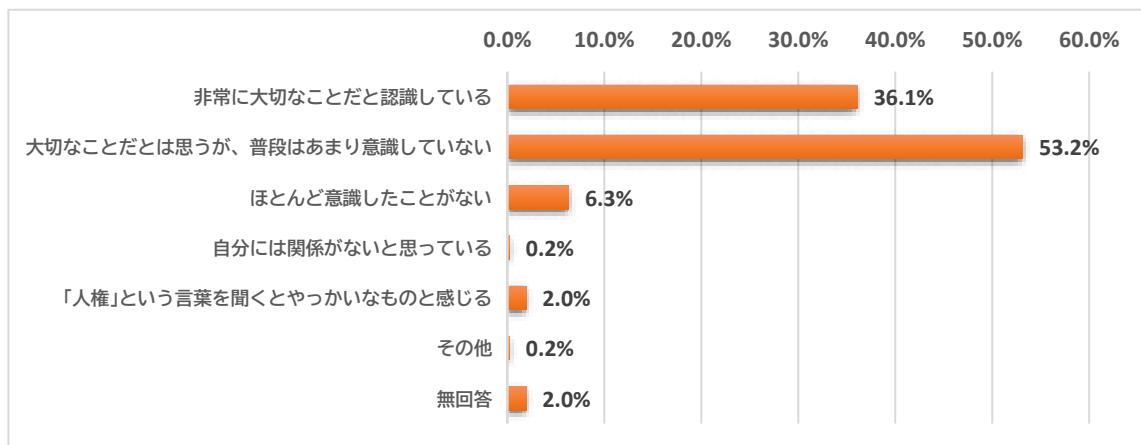
問1 あなたは、「人権」について普段どのように意識していますか

- 「人権」について、ほぼ9割の回答者は「大切なことだ」と思っていますが、半数は「普段はあまり意識していない」となっています。「非常に大切なことだと思うが、普段はあまり意識していない」が53.2%（218件）と最も多く、次いで「非常に大切なことだと認識している」（36.1%・148件）、「ほとんど意識したことはない」（6.3%・26件）、「人権」という言葉を聞くとやっかいなものと感じる」（2.0%・8件）、「自分には関係がないと思っている」（0.2%・1件）の順になっています。

その他：その事を問題にする事が意識させるのではと思う。皆な同じ人間なのですから

- 認識度が高い「非常に大切なことだと認識している」を**年齢別**にみると、「60～69歳」が42.5%、「20歳未満」が42.1%、「70～79歳」が40.7%と、「60～79歳」の年齢層、いわゆる『団塊の世代』は人権への認識の高いことが表れています。
- **人権学習の経験別**にみると、職場や学校などで、人権に関して学んだ経験が「ある」が38.9%、「ない」は26.0%と12.9ポイントの差が見られ、人権学習の経験の有無が人権の認識に影響していることが表れています。

図表.人権意識(N=410)



項目	件数	構成比(%)
非常に大切なことだと認識している	148	36.1%
大切なことだとは思いますが、普段はあまり意識していない	218	53.2%
ほとんど意識したことがない	26	6.3%
自分には関係がないと思っている	1	0.2%
「人権」という言葉を聞くとやっかいなものと感じる	8	2.0%
その他	1	0.2%
無回答	8	2.0%
合計	410	100.0%

表.年齢別人権意識

項目	件数	構成比(%)	20未満	20未満(%)	20-29	20-29(%)	30-39	30-39(%)	40-49	40-49(%)	50-59	50-59(%)	60-69	60-69(%)	70-79	70-79(%)	80以上	80以上(%)	無回答	無回答(%)
非常に大切なことだと認識している	148	36.1%	8	42.1%	11	36.7%	4	18.2%	21	35.0%	22	34.4%	31	42.5%	37	40.7%	14	28.0%	0	0.0%
大切なことだとは思いますが、普段はあまり意識していない	218	53.2%	8	42.1%	14	46.7%	16	72.7%	35	58.3%	39	60.9%	35	47.9%	43	47.3%	28	56.0%	0	0.0%
ほとんど意識したことがない	26	6.3%	3	15.8%	3	10.0%	1	4.5%	2	3.3%	2	3.1%	3	4.1%	9	9.9%	3	6.0%	0	0.0%
自分には関係がないと思っている	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%
「人権」という言葉を聞くとやっかいなものと感じる	8	2.0%	0	0.0%	2	6.7%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.6%	2	2.7%	1	1.1%	1	2.0%	0	0.0%
その他	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	8	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	1	1.7%	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%	3	6.0%	1	100.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

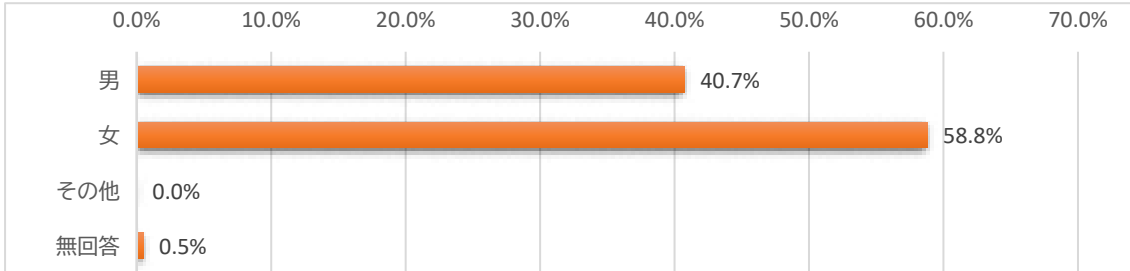
表.人権学習経験別人権意識

	件数	構成比(%)	ある	ある(%)	ない	ない(%)	その他	その他(%)	無回答	無回答(%)
非常に大切なことだと認識している	148	36.1%	126	38.9%	20	26.0%	0	0.0%	2	25.0%
大切なことだとは思いますが、普段はあまり意識していない	218	53.2%	168	51.9%	46	59.7%	1	100.0%	3	37.5%
ほとんど意識したことがない	26	6.3%	19	5.9%	7	9.1%	0	0.0%	0	0.0%
自分には関係がないと思っている	1	0.2%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
「人権」という言葉を聞くとやっかいなものと感じる	8	2.0%	7	2.2%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1	0.2%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	8	2.0%	2	0.6%	3	3.9%	0	0.0%	3	37.5%
合計	410	100.0%	324	100.0%	77	100.0%	1	100.0%	8	100.0%

問2 あなたの性別は

「男性」は40.7%（167件）、「女性」は58.8%（241件）と女性が18.1ポイント高くなっています。

図表. 性別(N=410)

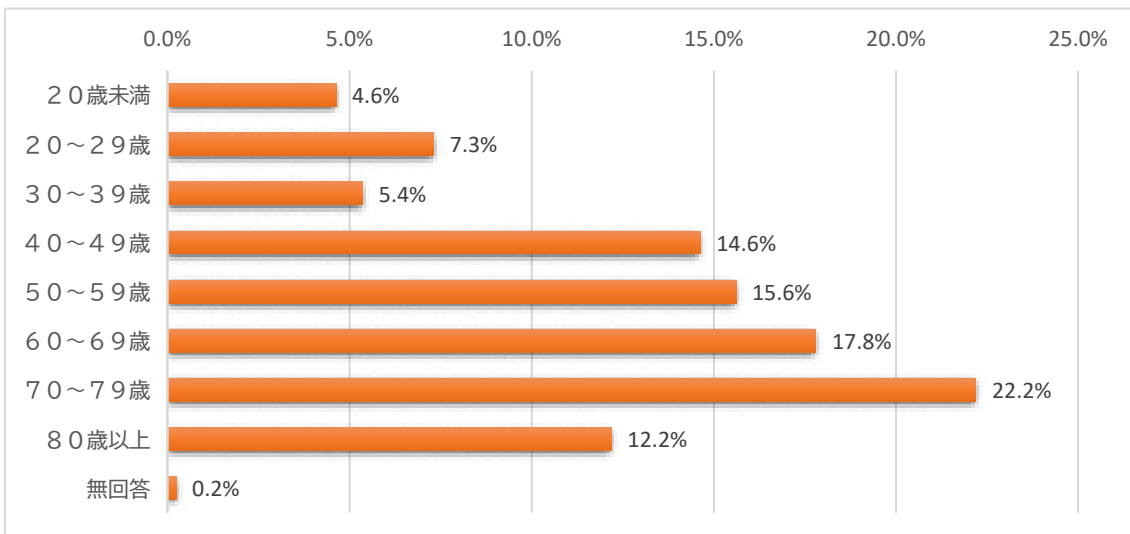


項目	件数	構成比(%)
男	167	40.7%
女	241	58.8%
その他	0	0.0%
無回答	2	0.5%
合計	410	100.0%

問3 令和2年5月1日現在のあなたの年齢は

2人に1人が60歳以上の高齢者となっています。「70～79歳」が22.2%（91件）と最も多く、次いで「60～69歳」（17.8%・73件）、「50～59歳」（15.6%・64件）、「40～49歳」（14.6%・60件）、「80歳以上」（12.2%・50件）、「20～29歳」（7.3%・30件）、「30～39歳」（5.4%・22件）、「20歳未満」（4.6%・19件）の順になっています。

図表. 年齢(N=410)



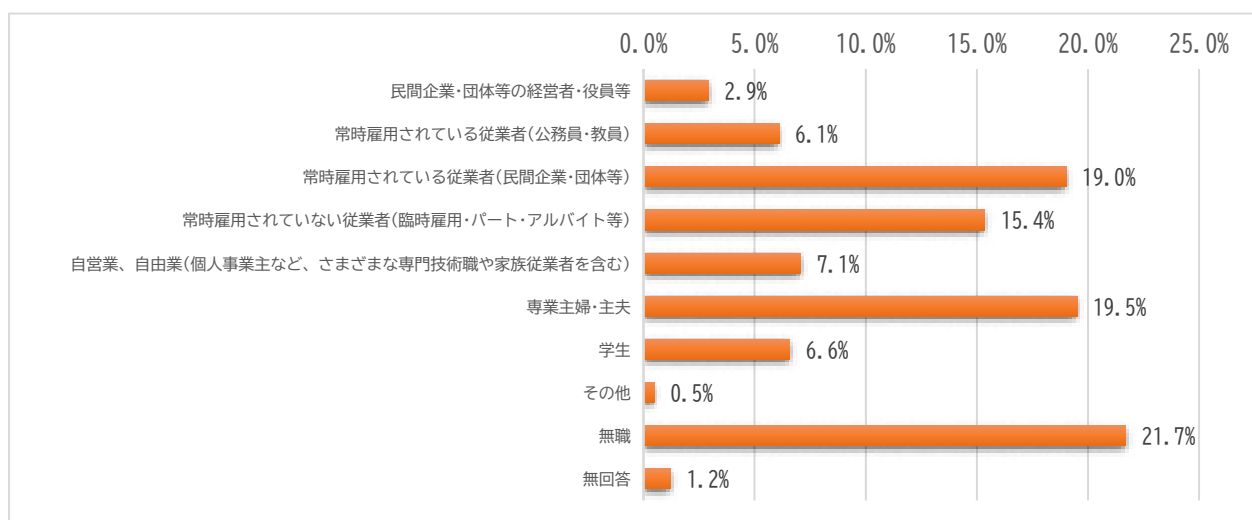
項目	件数	構成比(%)
20歳未満	19	4.6%
20～29歳	30	7.3%
30～39歳	22	5.4%
40～49歳	60	14.6%
50～59歳	64	15.6%
60～69歳	73	17.8%
70～79歳	91	22.2%
80歳以上	50	12.2%
無回答	1	0.2%
合計	410	100.0%

問4 あなたの職業等は

- 職業は「無職」が21.7%（89件）と最も多く、次いで「専業主婦・主夫」（19.5%・80件）となっており、これらに「学生」（6.6%・27件）を加えると47.8%が職業を有していないことが表れています。有職では「常時雇用されている従業者（民間企業・団体等）」が19.0%（78件）と最も多く、次いで「常時雇用されていない従業者（臨時雇用・パート・アルバイト等）」（15.4%・63件）、「常時雇用されている従業者（公務員・教員）」（6.1%・25件）、「民間企業・団体等の経営者・役員等」（2.9%・12件）の順になっています。常時雇用従業者は25.1%と非常時雇用従業者より9.7ポイント高くなっています。

その他：農業

図表.職業(N=410)

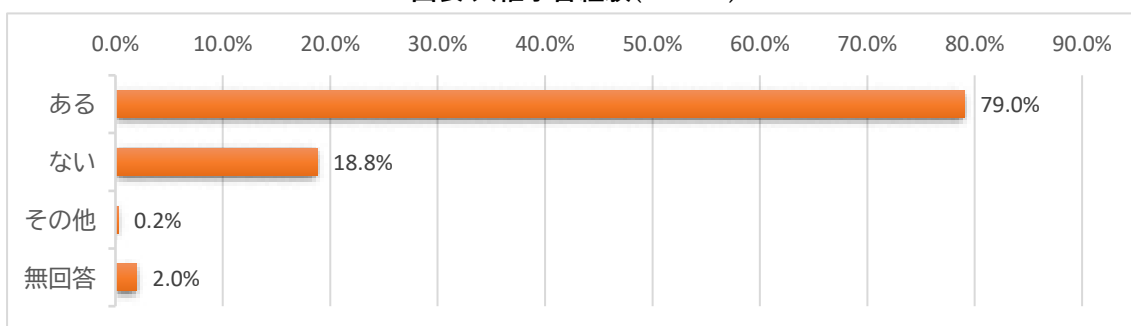


項目	件数	構成比(%)
民間企業・団体等の経営者・役員等	12	2.9%
常時雇用されている従業者(公務員・教員)	25	6.1%
常時雇用されている従業者(民間企業・団体等)	78	19.0%
常時雇用されていない従業者(臨時雇用・パート・アルバイトなど)	63	15.4%
自営業、自由業(個人事業主など、さまざまな専門技術職や家族従業者を含む)	29	7.1%
専業主婦・主夫	80	19.5%
学生	27	6.6%
その他	2	0.5%
無職	89	21.7%
無回答	5	1.2%
合計	410	100.0%

問5 あなたは職場や学校などで、人権に関して学んだ経験はありますか

- 「ある」は79.0% (324件)、「ない」は18.8%(77件)とほぼ8割が人権に関して学んだ経験を有しています。
 その他：昔はあまり言わなかった
- **年齢別**に人権学習の経験をみると、経験が「ある」は、「20歳未満」「20～29歳」は100%、次いで「40～49歳」(96.7%)、「30～39歳」(90.9%)、「50～59歳」(89.1%)、「60～69歳」(78.1%)、「70～79歳」(65.9%)、「80歳以上」(46.0%)と、年齢が高くなるほど人権学習の経験の割合は低くなっています。

図表.人権学習経験(N=410)



項目	件数	構成比(%)
ある	324	79.0%
ない	77	18.8%
その他	1	0.2%
無回答	8	2.0%
合計	410	100.0%

表.年齢別人権学習経験

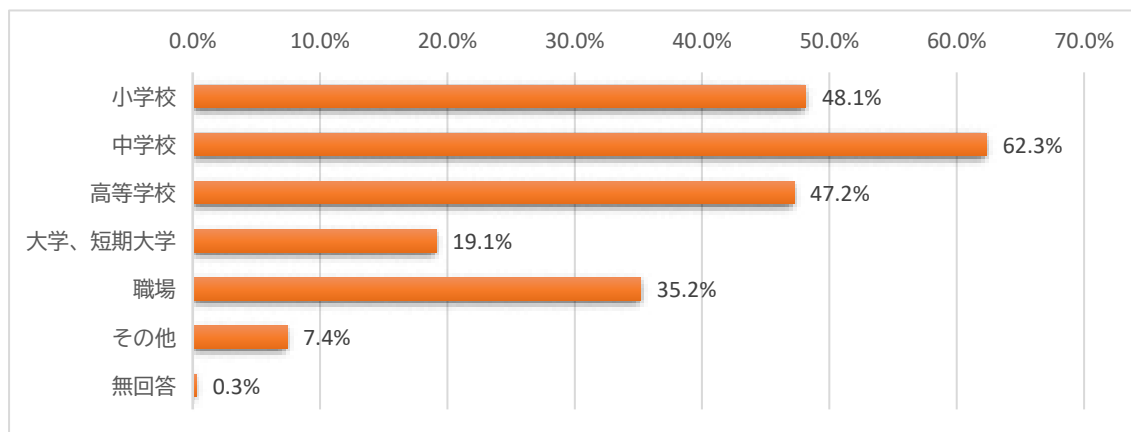
	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
ある	324	79.0%	19	100.0%	30	100.0%	20	90.9%	58	96.7%	57	89.1%	57	78.1%	60	65.9%	23	46.0%	0	0.0%
ない	77	18.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	2	3.3%	7	10.9%	16	21.9%	29	31.9%	22	44.0%	0	0.0%
その他	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	8	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	5	10.0%	1	100.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

問 5-1 人権に関してどこで学びましたか

- 人権学習の場は、「中学校」が62.3%（202件）と最も多く、次いで「小学校」（48.1%・156件）、「高等学校」（47.2%・153件）、「職場」（35.2%・114件）、「大学・短期大学」（19.1%・62件）の順になっており、なかでも「中学校」の割合は顕著に高くなっています。

その他：町内の集い等/映画(本)・書物/講演会(2)/研修会/専門学校(2)/労働組合・労働組合員として/PTA(3)/独学/ 家族(家庭)・新聞(3)/人権大学/親・友人/太子町婦人会活動/仕事の関係/HRC

図表.人権学習の場(N=324 複数回答)



項目	件数	構成比(%)
小学校	156	48.1%
中学校	202	62.3%
高等学校	153	47.2%
大学、短期大学	62	19.1%
職場	114	35.2%
その他	24	7.4%
無回答	1	0.3%
合計	712	

- 年齢別にみると、20歳未満～69歳までの幅広い年代で中学校となっており、義務教育期に多くが学んでいることとなります。ただ50歳以上の年齢層ではその割合が減少し、職場の割合が増加しています。

表.年齢別人権学習の場

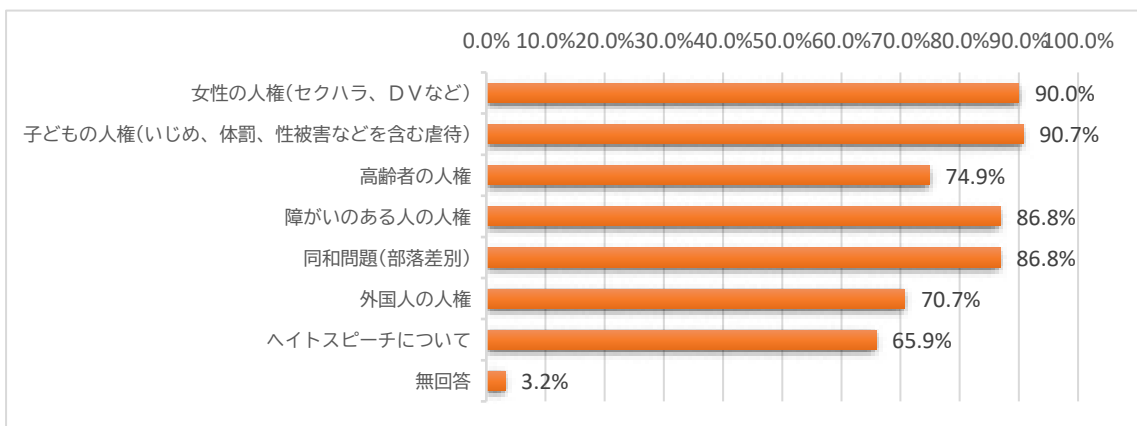
	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
小学校	156	48.1%	13	68.4%	19	63.3%	12	60.0%	48	82.8%	37	64.9%	20	35.1%	6	10.0%	1	4.3%	0	0.0%
中学校	202	62.3%	18	94.7%	22	73.3%	16	80.0%	49	84.5%	38	66.7%	30	52.6%	23	38.3%	6	26.1%	0	0.0%
高等学校	153	47.2%	14	73.7%	15	50.0%	11	55.0%	34	58.6%	31	54.4%	24	42.1%	22	36.7%	2	8.7%	0	0.0%
大学、短期大学	62	19.1%	1	5.3%	12	40.0%	4	20.0%	15	25.9%	12	21.1%	10	17.5%	7	11.7%	1	4.3%	0	0.0%
職場	114	35.2%	0	0.0%	3	10.0%	5	25.0%	24	41.4%	25	43.9%	22	38.6%	29	48.3%	6	26.1%	0	0.0%
その他	24	7.4%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	3	5.2%	2	3.5%	4	7.0%	8	13.3%	6	26.1%	0	0.0%
無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%
合計	712		46		72		48		173		145		110		95		23		0	

問6 あなたは、人権課題について知っていますか。また、それをどのようなきっかけで知りましたか

問6 人権課題について知っていますか

- 「子どもの人権」が90.7%（372件）と最も多く、次いで「女性の人権」（90.0%・369件）、「障がいのある人の人権」「同和問題（部落差別）」（いずれも86.8%・356件）、「高齢者の人権」（74.9%・307件）、「外国人の人権」（70.7%・290件）、「ヘイトスピーチについて」（65.9%・270件）の順になっています。

図表.人権課題の認知度(N=410 複数回答)



項目	件数	構成比(%)
女性の人権(セクハラ、DVなど)	369	90.0%
子どもの人権(いじめ、体罰、性被害などを含む虐待)	372	90.7%
高齢者の人権	307	74.9%
障がいのある人の人権	356	86.8%
同和問題(部落差別)	356	86.8%
外国人の人権	290	70.7%
ヘイトスピーチについて	270	65.9%
無回答	13	3.2%
合計	2,333	

- 性別でみると、各人権課題の認知度は総じて男性よりも女性の割合が顕著に高くなっており、それだけ女性は人権課題への関心が高いと考えられます。
- 年齢層でみると、大きくは20歳未満から69歳の幅広い年齢層で「女性の人権」の認知度が最も高く、60歳以上の高齢者では「子どもの人権」となっています。
-

表.人権課題別の男女の認知状況

	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
女性の人権(セクハラ、DVなど)	369	100.0%	151	40.9%	218	59.1%	0	0.0%	0	0.0%
子どもの人権(いじめ、体罰、性被害などを含む虐待)	372	100.0%	149	40.1%	222	59.7%	0	0.0%	1	0.3%
高齢者の人権	307	100.0%	121	39.4%	186	60.6%	0	0.0%	0	0.0%
障がいのある人の人権	356	100.0%	147	41.3%	209	58.7%	0	0.0%	0	0.0%
同和問題(部落差別)	356	100.0%	143	40.2%	213	59.8%	0	0.0%	0	0.0%
外国人の人権	290	100.0%	117	40.3%	173	59.7%	0	0.0%	0	0.0%
ヘイトスピーチについて	270	100.0%	116	43.0%	154	57.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	13	100.0%	5	38.5%	7	53.8%	0	0.0%	1	7.7%
合計	2,333	100.0%	949	40.7%	1,382	59.2%	0	0.0%	2	0.1%

表.人権課題別年齢層

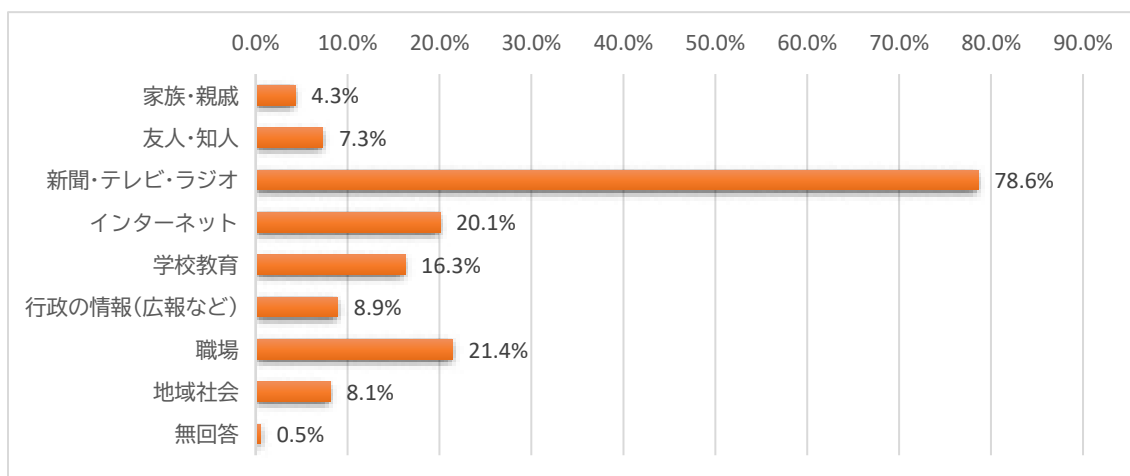
	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
女性の人権(セクハラ、DVなど)	369	90.0%	19	100.0%	29	96.7%	21	95.5%	59	98.3%	63	98.4%	68	93.2%	77	84.6%	33	66.0%	0	0.0%
子どもの人権(いじめ、体罰、性被害などを含む虐待)	372	90.7%	18	94.7%	29	96.7%	21	95.5%	58	96.7%	61	95.3%	71	97.3%	78	85.7%	36	72.0%	0	0.0%
高齢者の人権	307	74.9%	14	73.7%	23	76.7%	18	81.8%	44	73.3%	50	78.1%	60	82.2%	70	76.9%	28	56.0%	0	0.0%
障がいのある人の人権	356	86.8%	16	84.2%	28	93.3%	21	95.5%	59	98.3%	59	92.2%	66	90.4%	76	83.5%	31	62.0%	0	0.0%
同和問題(部落差別)	356	86.8%	15	78.9%	25	83.3%	19	86.4%	56	93.3%	61	95.3%	65	89.0%	79	86.8%	36	72.0%	0	0.0%
外国人の人権	290	70.7%	14	73.7%	22	73.3%	19	86.4%	49	81.7%	54	84.4%	53	72.6%	60	65.9%	19	38.0%	0	0.0%
ヘイトスピーチについて	270	65.9%	10	52.6%	20	66.7%	15	68.2%	45	75.0%	48	75.0%	50	68.5%	62	68.1%	20	40.0%	0	0.0%
無回答	13	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	5.5%	6	12.0%	1	100.0%
合計	2,333		106		176		135		370		396		433		507		209		1	

問6 それをどのようなきっかけで知りましたか

(1) 女性の人権（セクハラ、DVなど）

「新聞・テレビ・ラジオ」が78.6%（290件）と最も多く、次いで「職場」（21.4%・79件）、「インターネット」（20.1%・74件）、「学校教育」（16.3%・60件）、「行政の情報（広報など）」（8.9%・33件）の順になっています。

図表.女性の人権(N=369 複数回答)

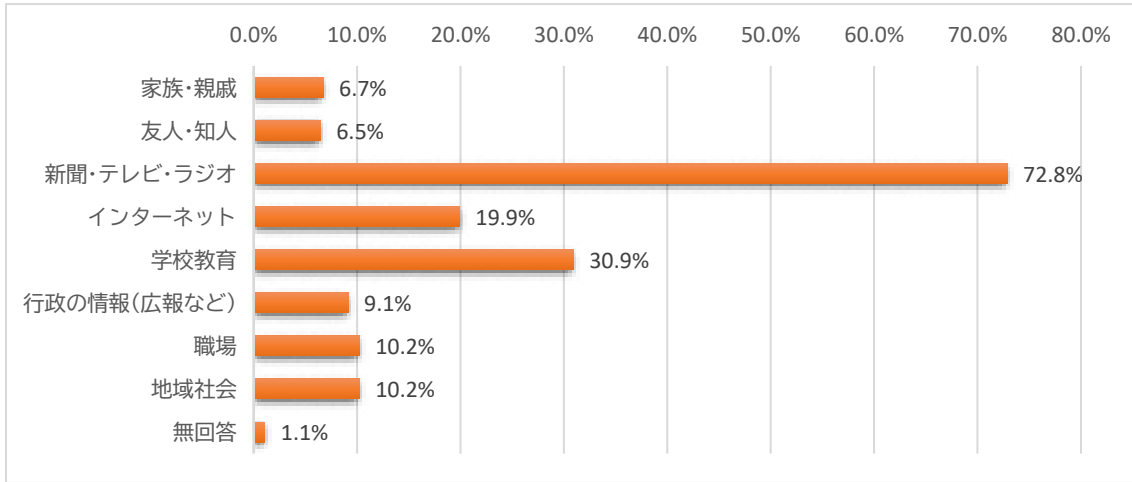


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	16	4.3%
友人・知人	27	7.3%
新聞・テレビ・ラジオ	290	78.6%
インターネット	74	20.1%
学校教育	60	16.3%
行政の情報(広報など)	33	8.9%
職場	79	21.4%
地域社会	30	8.1%
無回答	2	0.5%
合計	611	

(2) 子どもの人権（いじめ、体罰、性被害などを含む虐待）

「新聞・テレビ・ラジオ」が72.8%（271件）と最も多く、次いで「学校教育」（30.9%・115件）、「インターネット」（19.9%・74件）、「職場」「地域社会」（いずれも10.2%・38件）、「行政の情報（広報など）」（9.1%・34件）の順になっています。

図表.子どもの人権(N=372 複数回答)

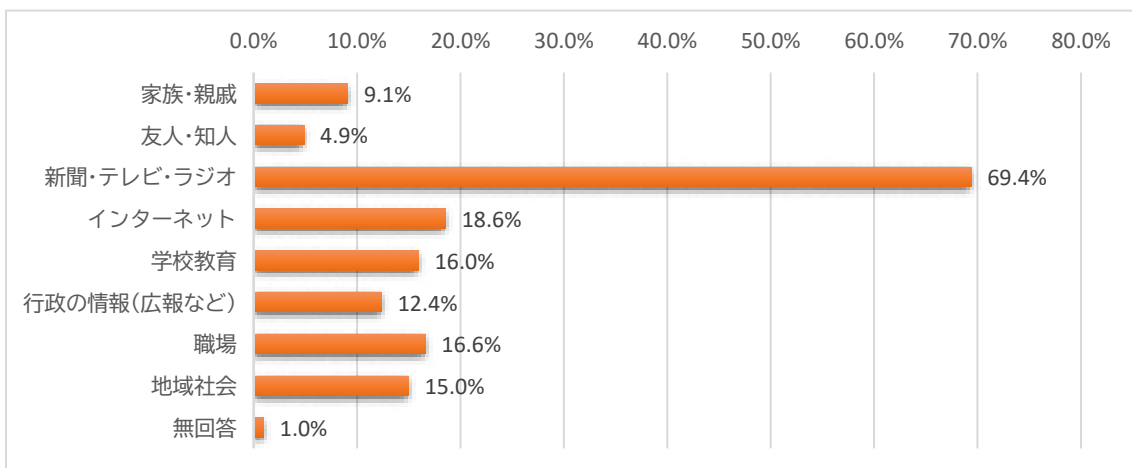


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	25	6.7%
友人・知人	24	6.5%
新聞・テレビ・ラジオ	271	72.8%
インターネット	74	19.9%
学校教育	115	30.9%
行政の情報(広報など)	34	9.1%
職場	38	10.2%
地域社会	38	10.2%
無回答	4	1.1%
合計	623	

(3) 高齢者の人権

「新聞・テレビ・ラジオ」が69.4% (213件)と最も多く、次いで「インターネット」(18.6%・57件)、「職場」(16.6%・51件)、「学校教育」(16.0%・49件)、「地域社会」(15.0%・46件)の順になっています。

図表.高齢者の人権(N=307 複数回答)

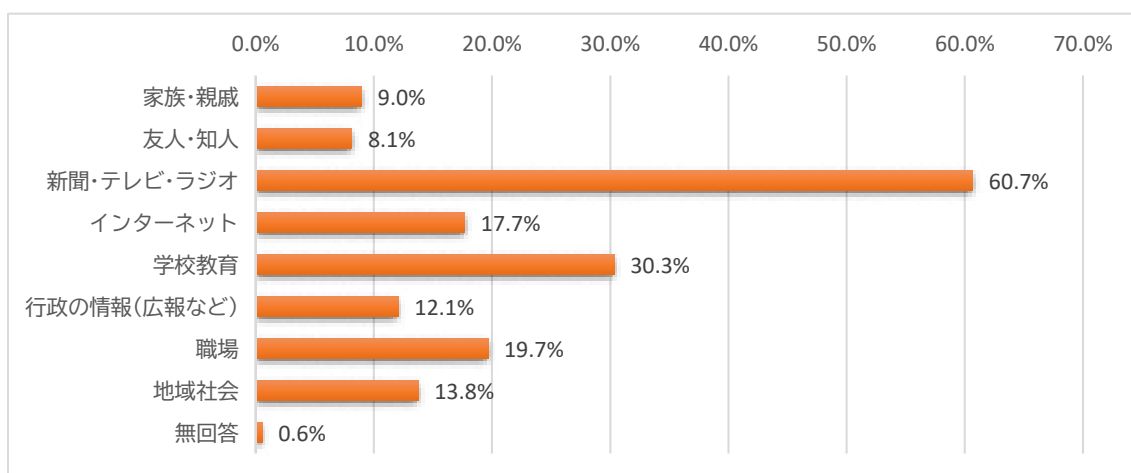


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	28	9.1%
友人・知人	15	4.9%
新聞・テレビ・ラジオ	213	69.4%
インターネット	57	18.6%
学校教育	49	16.0%
行政の情報(広報など)	38	12.4%
職場	51	16.6%
地域社会	46	15.0%
無回答	3	1.0%
合計	500	

(4) 障がいのある人の人権

「新聞・テレビ・ラジオ」が60.7% (216件)と圧倒的に多く、次いで「学校教育」(30.3%・108件)、「職場」(19.7%・70件)、「インターネット」(17.7%・63件)、「地域社会」(13.8%・49件)の順になっています。

図表.障がい者の人権(N=356 複数回答)

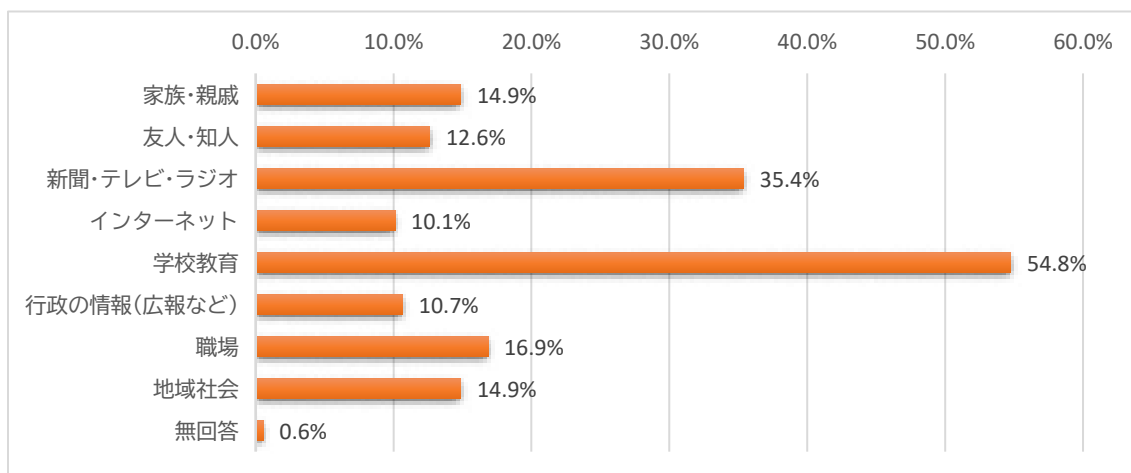


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	32	9.0%
友人・知人	29	8.1%
新聞・テレビ・ラジオ	216	60.7%
インターネット	63	17.7%
学校教育	108	30.3%
行政の情報(広報など)	43	12.1%
職場	70	19.7%
地域社会	49	13.8%
無回答	2	0.6%
合計	612	

(5) 同和問題（部落差別）

「学校教育」が54.8%（195件）と最も多く、次いで「新聞・テレビ・ラジオ」（35.4%・126件）、「職場」（16.9%・60件）、「家族・親戚」「地域社会」（いずれも14.9%・53件）、「知人・友人」（12.6%・45件）の順になっており、「学校教育」が同和問題に重要な役割を果たしていることが表れています。

図表.同和問題(部落差別)(N=356 複数回答)

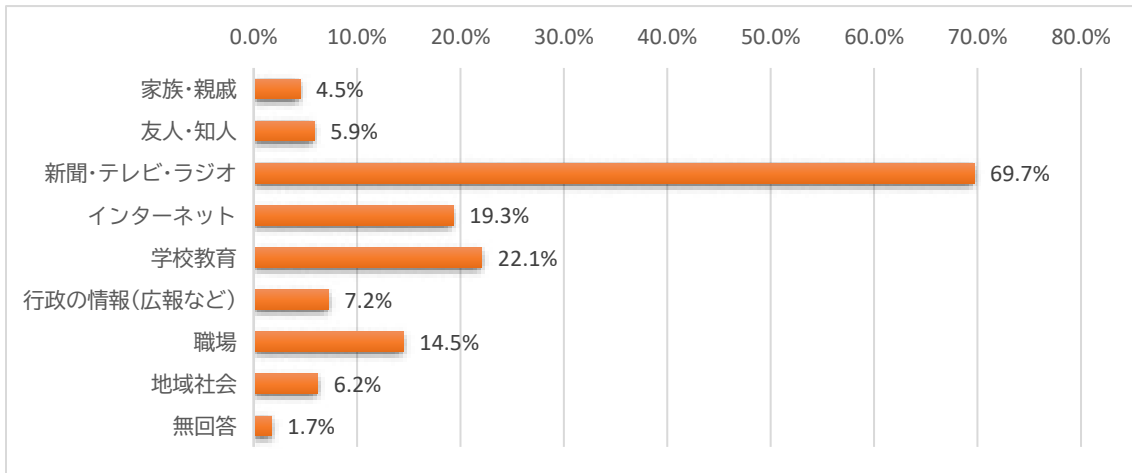


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	53	14.9%
友人・知人	45	12.6%
新聞・テレビ・ラジオ	126	35.4%
インターネット	36	10.1%
学校教育	195	54.8%
行政の情報(広報など)	38	10.7%
職場	60	16.9%
地域社会	53	14.9%
無回答	2	0.6%
合計	608	

(6) 外国人の人権

「新聞・テレビ・ラジオ」が69.7%（202件）と最も多く、次いで「学校教育」（22.1%・64件）、「インターネット」（19.3%・56件）、「職場」（14.5%・42件）、「行政の情報（広報など）」（7.2%・21件）の順になっています。

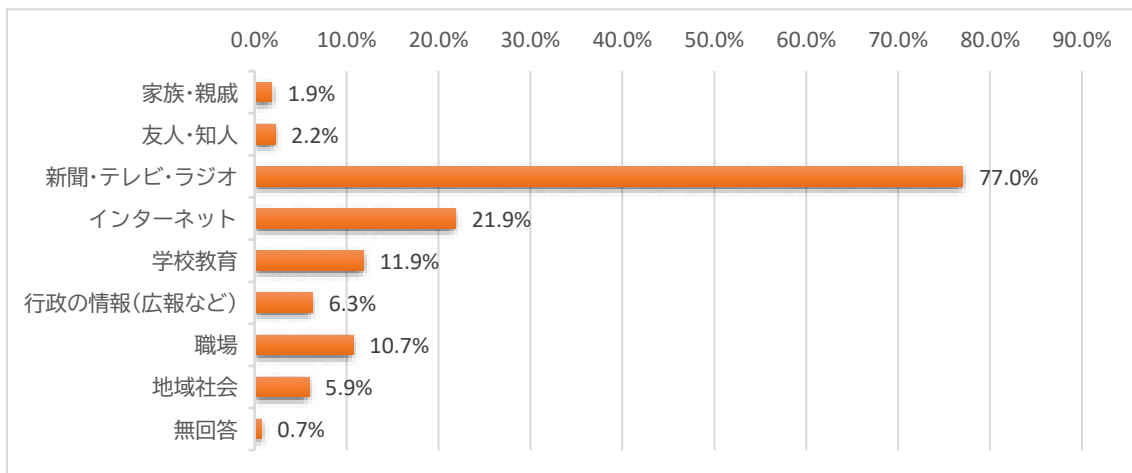
図表.外国人の人権(N=290 複数回答)



項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	13	4.5%
友人・知人	17	5.9%
新聞・テレビ・ラジオ	202	69.7%
インターネット	56	19.3%
学校教育	64	22.1%
行政の情報(広報など)	21	7.2%
職場	42	14.5%
地域社会	18	6.2%
無回答	5	1.7%
合計	438	

(7) ヘイトスピーチについて

「新聞・テレビ・ラジオ」が77.0% (208件)と最も多く、次いで「インターネット」(21.9%・59件)、「学校教育」(11.9%・32件)、「職場」(10.7%・29件)、「行政の情報(広報など)」(6.3%・17件)の順になっています。

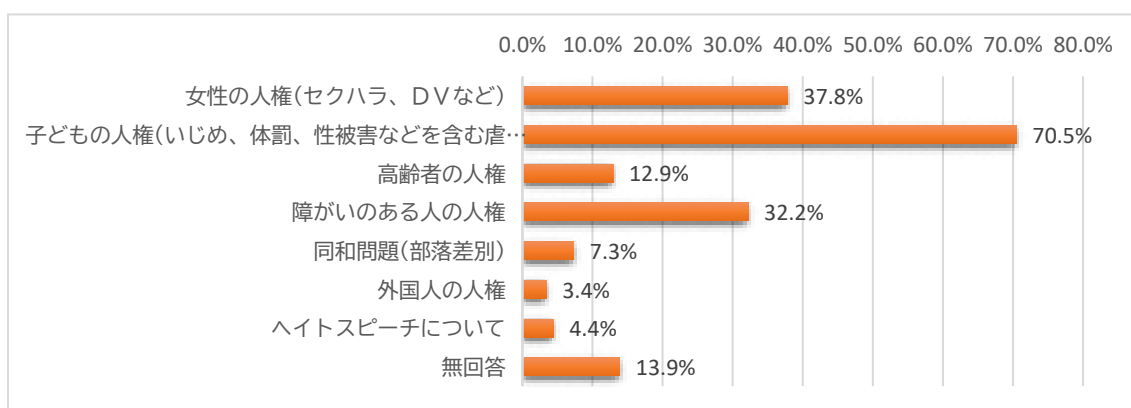


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	5	1.9%
友人・知人	6	2.2%
新聞・テレビ・ラジオ	208	77.0%
インターネット	59	21.9%
学校教育	32	11.9%
行政の情報(広報など)	17	6.3%
職場	29	10.7%
地域社会	16	5.9%
無回答	2	0.7%
合計	374	

問6-1 問6の(1)から(7)のうち、特に対応すべき人権課題はどれだと思いますか

- 「子どもの人権(いじめ、体罰、性被害などを含む虐待)」が70.5%(289件)と圧倒的に多く、次いで「女性の人権(セクハラ、DVなど)」(37.8%・155件)、「障がいのある人の人権」(32.2%・132件)、「高齢者の人権」(12.9%・53件)、「同和問題(部落差別)」(7.3%・30件)、「ヘイトスピーチ」(4.4%・18件)、「外国人の人権」(3.4%・14件)の順になっています。

図表.特に対応すべき人権課題(N=410 2LA)



項目	件数	構成比(%)
女性の人権(セクハラ、DVなど)	155	37.8%
子どもの人権(いじめ、体罰、性被害などを含む虐待)	289	70.5%
高齢者の人権	53	12.9%
障がいのある人の人権	132	32.2%
同和問題(部落差別)	30	7.3%
外国人の人権	14	3.4%
ヘイトスピーチについて	18	4.4%
無回答	57	13.9%
合計	748	

- 認知状況(知っている)と順位を比較すると、①「子どもの人権」②「女性の人権」③「障がいのある人の人権」の順位は変わらず、「高齢者の人権」が⑤→④、「同和問題(部落差別)」が④→⑤と関心度が上昇したのに対し、「外国人の人権」が⑥→⑦、「ヘイトスピーチ」が⑦→⑥と下降しています。
- 年齢層でみると、各年齢層とも「子どもの人権」の割合が最も高くなっています。

表.年齢層別特に対応すべき人権課題

	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
女性の人権(セクハラ、DVなど)	155	37.8%	7	36.8%	11	36.7%	11	50.0%	27	45.0%	31	48.4%	32	43.8%	25	27.5%	11	22.0%	0	0.0%
子どもの人権(いじめ、体罰、性被害などを含む虐待)	289	70.5%	11	57.9%	26	86.7%	16	72.7%	50	83.3%	45	70.3%	60	82.2%	56	61.5%	25	50.0%	0	0.0%
高齢者の人権	53	12.9%	1	5.3%	6	20.0%	2	9.1%	5	8.3%	8	12.5%	10	13.7%	15	16.5%	6	12.0%	0	0.0%
障がいのある人の人権	132	32.2%	5	26.3%	10	33.3%	5	22.7%	18	30.0%	20	31.3%	23	31.5%	38	41.8%	13	26.0%	0	0.0%
同和問題(部落差別)	30	7.3%	4	21.1%	1	3.3%	0	0.0%	2	3.3%	4	6.3%	2	2.7%	11	12.1%	6	12.0%	0	0.0%
外国人の人権	14	3.4%	2	10.5%	0	0.0%	3	13.6%	3	5.0%	2	3.1%	1	1.4%	3	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
ヘイトスピーチについて	18	4.4%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.3%	5	7.8%	3	4.1%	4	4.4%	2	4.0%	0	0.0%
無回答	57	13.9%	2	10.5%	3	10.0%	3	13.6%	6	10.0%	5	7.8%	7	9.6%	12	13.2%	18	36.0%	1	100.0%
合計	748		34		57		40		113		120		138		164		81		1	

問7 あなたは、次の考え方に対してどのように思いますか

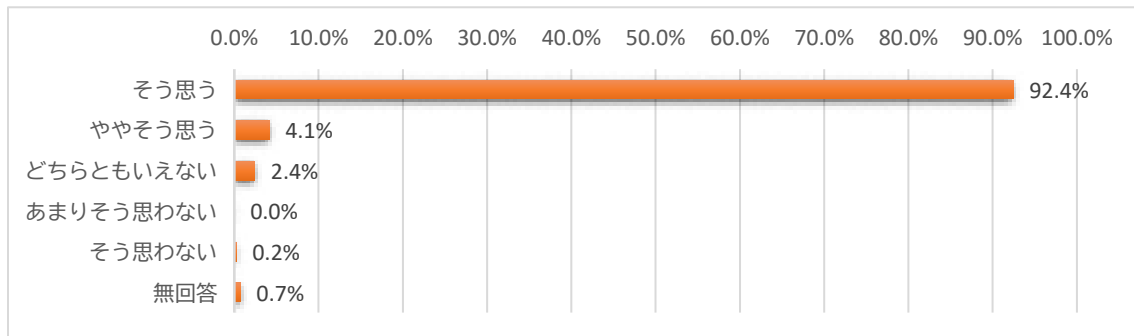
※回答者の主な傾向をみるため、『思う』を「そう思う」と「ややそう思う」の合計割合で、『思わない』を「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計割合でみています。

【男女共同参画】

(1) 夫婦の間であっても、暴力をふるうことは許されない

- 『思う』は96.5%、『思わない』は0.2%となっています。「そう思う」が92.4%（379件）と最も多く、次いで「ややそう思う」（4.1%・17件）、「どちらともいえない」（2.4%・10件）、「そう思わない」（0.2%・1件）の順になっています。夫婦における“暴力”に対して否定的意識の割合が圧倒的に高くなっています。
- 夫婦間の暴力についての否定的意識は性別及び年齢層においても圧倒的多数を占めています。

図表.考え方（N=410）

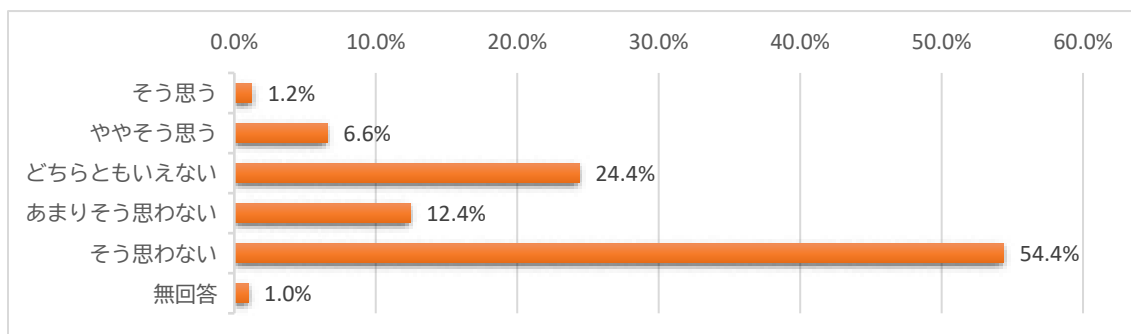


項目	件数	構成比(%)
そう思う	379	92.4%
ややそう思う	17	4.1%
どちらともいえない	10	2.4%
あまりそう思わない	0	0.0%
そう思わない	1	0.2%
無回答	3	0.7%
合計	410	100.0%

(2) 親の世話や介護は、女性の役割である

- 『思わない』は66.8%、『思う』は7.8%となっています。「そう思わない」が54.4%（223件）が最も多く、次いで「どちらともいえない」（24.4%・100件）、「あまりそう思わない」（12.4%・51件）、「ややそう思う」（6.6%・27件）、「そう思う」（1.2%・5件）の順になっています。
- 性別で見ると、「思わない」、「思う」とも性差による大きな違いはありませんが、年齢層で見ると、50歳以上から肯定的意識の割合が高くなる傾向が見られます。

図表.考え方 (N=410)

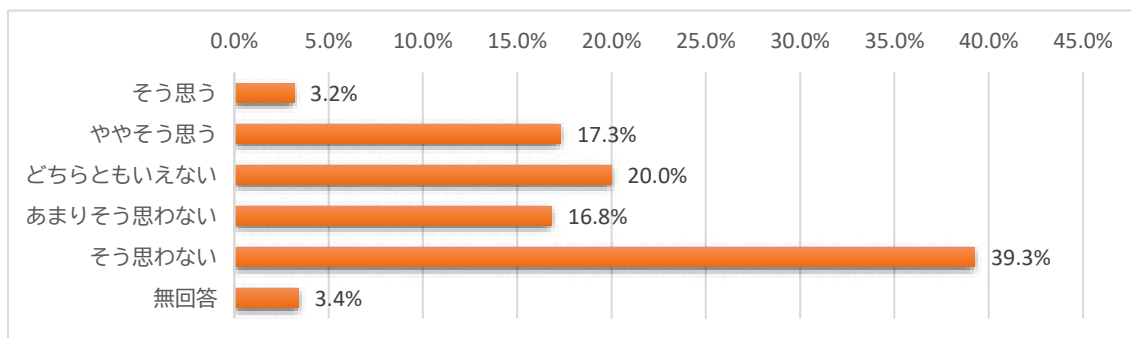


項目	件数	構成比(%)
そう思う	5	1.2%
ややそう思う	27	6.6%
どちらともいえない	100	24.4%
あまりそう思わない	51	12.4%
そう思わない	223	54.4%
無回答	4	1.0%
合計	410	100.0%

(3) 採用や昇任など、職場での男女の待遇の違いはやむを得ない

- 『思わない』は56.1%、『思う』は20.5%となっています。「そう思わない」が39.3% (161件)と最も多く、次いで「どちらともいえない」(20.0%・82件)、「ややそう思う」(17.3%・71件)、「あまりそう思わない」(16.8%・69件)、「そう思う」(3.2%・13件)の順になっています。雇用・就労に関して前問の夫婦間の暴力、固定的役割分担以上に『思う』の肯定的認識の割合が高くなっています。
- 性別でみると雇用に対する男女の認識の相違が明確に表れています。『思う』は男性が26.4%、女性が16.6%と男性が9.8ポイント高くなっています。年齢層でみると、20歳以上の年齢層では肯定的認識が高く、なかでも20歳以上59歳の稼働年齢層では他の年齢層に比べ肯定的認識の割合が若干高い傾向がみられます。

図表.考え方 (N=410)

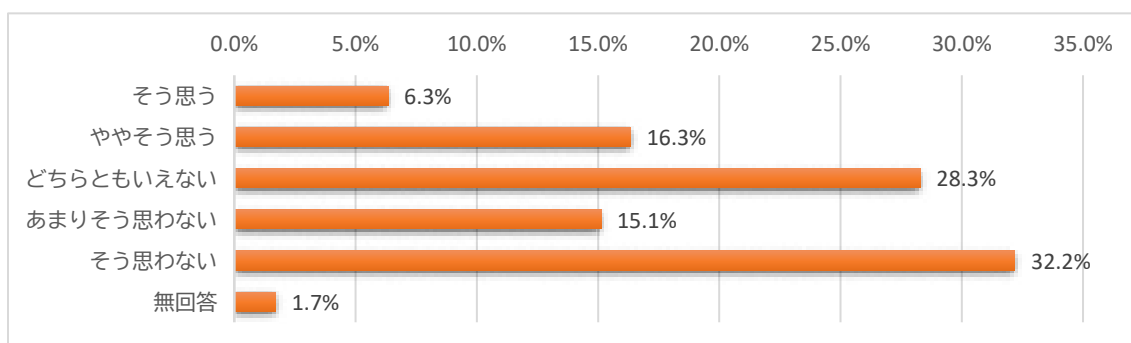


項目	件数	構成比(%)
そう思う	13	3.2%
ややそう思う	71	17.3%
どちらともいえない	82	20.0%
あまりそう思わない	69	16.8%
そう思わない	161	39.3%
無回答	14	3.4%
合計	410	100.0%

(4) いじめは、いじめられる側にも問題がある

- 『思わない』は47.3%、『思う』は22.6%となっています。「そう思わない」が32.2% (132件)と最も多く、次いで「どちらともいえない」(28.3%・116件)、「ややそう思う」(16.3%・67件)、「あまりそう思わない」(15.1%・62件)、「そう思う」(6.3%・26件)の順になっています。
- 性別では男性が女性よりも『思う』の肯定的認識の割合が若干高くなっています。年齢層でみると、「20歳未満」(26.3%)、「20歳～29歳」(36.6%)の若年層で肯定的認識が高くなっています。

図表.考え方 (N=410)

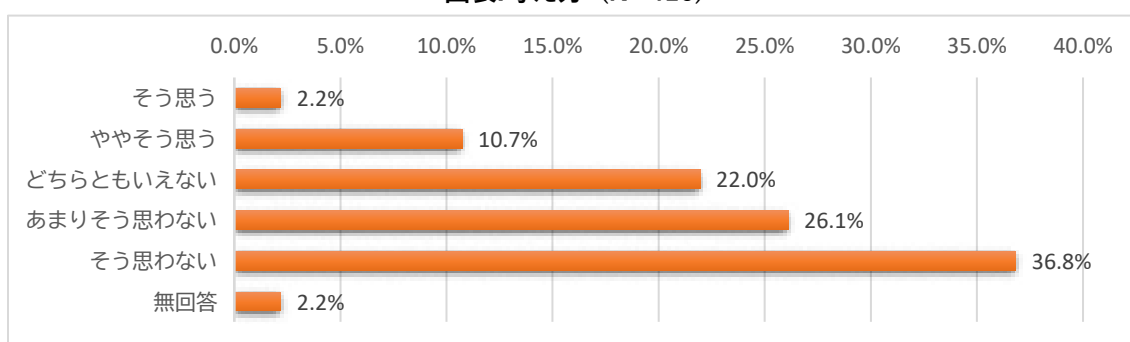


項目	件数	構成比(%)
そう思う	26	6.3%
ややそう思う	67	16.3%
どちらともいえない	116	28.3%
あまりそう思わない	62	15.1%
そう思わない	132	32.2%
無回答	7	1.7%
合計	410	100.0%

(5) 子どもは、保護者や大人の意見に従えばよい

- 『思わない』は62.9%、『思う』は12.9%となっています。「そう思わない」が36.8%（151件）と最も多く、次いで「あまりそう思わない」（26.1%・107件）、「どちらともいえない」（22.0%・90件）、「ややそう思う」（10.7%・44件）、「そう思う」（2.2%・9件）の順になっています。
- 性別でみると、『思う』は男性が17.4%、女性が9.6%と男性の肯定的認識の割合が7.8ポイント高く、子どもの権利に対する認識が低くなっています。年齢層でみると、60歳以上の高齢者層は総じて肯定的認識の割合が高い傾向が表れています。ただ、子育て世代と考えられる「20歳～29歳」は20.0%と他の年齢層よりも高くなっていることに留意する必要があります。

図表.考え方 (N=410)



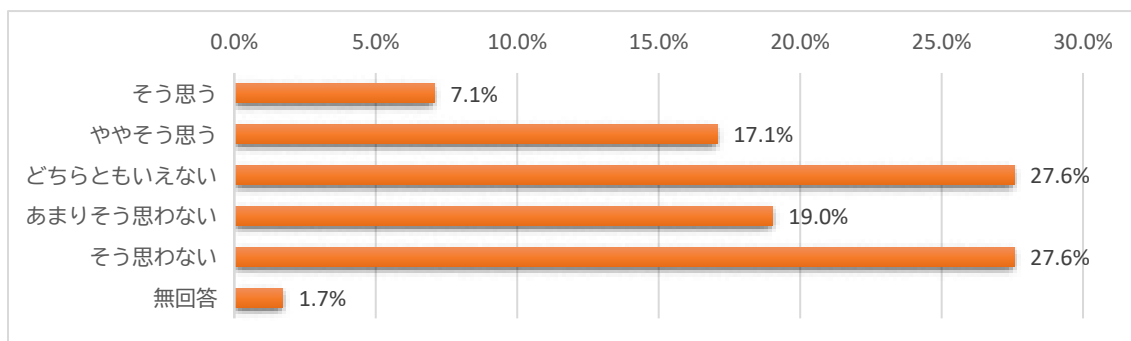
項目	件数	構成比 (%)
そう思う	9	2.2%
ややそう思う	44	10.7%
どちらともいえない	90	22.0%
あまりそう思わない	107	26.1%
そう思わない	151	36.8%
無回答	9	2.2%
合計	410	100.0%

【高齢者】

(6) 高齢者は、あまり自己主張せず、家族やまわりの者の言うことを聞いた方がよい

- 『思わない』は46.6%、『思う』は24.2%となっています。「そう思わない」「どちらともいえない」（いずれも27.6%・113件）が最も多く、次いで「あまりそう思わない」（19.0%・78件）、「ややそう思う」（17.1%・70件）、「そう思う」（7.1%・29件）の順になっています。
- 年齢層でみると、60歳以上の高齢者層に『思う』の肯定的認識の割合が高い傾向が表れています。「60歳～69歳」（26.0%）、「70歳～79歳」（33.0%）、「80歳以上」（38.0%）と高齢者自身が加齢に伴い、「自己主張せず、家族や周りの者の言うことを聞いた方がよい」と考えています。

図表.考え方 (N=410)

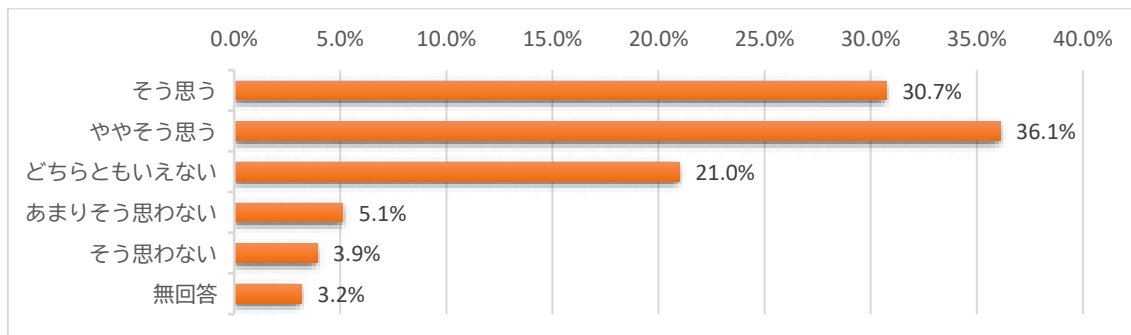


項目	件数	構成比(%)
そう思う	29	7.1%
ややそう思う	70	17.1%
どちらともいえない	113	27.6%
あまりそう思わない	78	19.0%
そう思わない	113	27.6%
無回答	7	1.7%
合計	410	100.0%

(7) 働く意欲や能力がある高齢者の雇用や待遇が十分に保障されていないのはおかしい

- 『思う』は66.8%、『思わない』は9.0%と、7割近くが働く意欲や能力がある高齢者の雇用や待遇の保障を求めています。「ややそう思う」が36.1%（148件）と最も多く、次いで「そう思う」（30.7%・126件）、「どちらともいえない」（21.0%・86件）、「あまりそう思わない」（5.1%・21件）、「そう思わない」（3.9%・16件）の順になっています。
- 年齢層で見ると、『思う』の肯定的認識は、60歳以上の高齢者の6割を占めるとともに、30歳～59歳の稼働年齢層も7割以上が肯定的認識を有しています。

図表.考え方 (N=410)



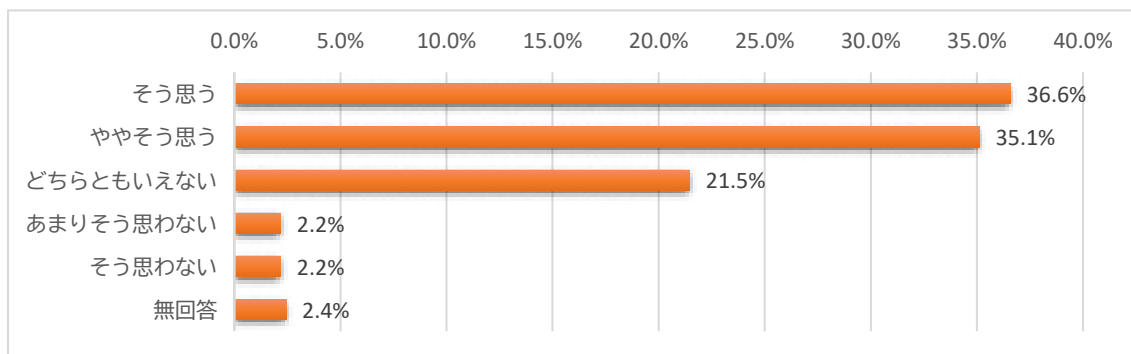
項目	件数	構成比(%)
そう思う	126	30.7%
ややそう思う	148	36.1%
どちらともいえない	86	21.0%
あまりそう思わない	21	5.1%
そう思わない	16	3.9%
無回答	13	3.2%
合計	410	100.0%

【障がいのある人】

(8) 障がいのある人が社会参加しやすくするために、地域住民が交流する機会を増やすべきだ

- 『思う』は71.7%、『思わない』は4.4%となっています。「そう思う」が36.6%（150件）と最も多く、次いで「ややそう思う」（35.1%・144件）、「どちらともいえない」（21.5%・88件）、「あまりそう思わない」「そう思わない」（いずれも2.2%・9件）の順になっています。
- 『思う』の肯定的認識は、性別では女性が男性より若干割合が高く、年齢層では「20歳未満」と「20歳～29歳」では8割を占めており、他の年齢層に比べ若年層の割合が顕著に高くなっています。

図表.考え方 (N=410)

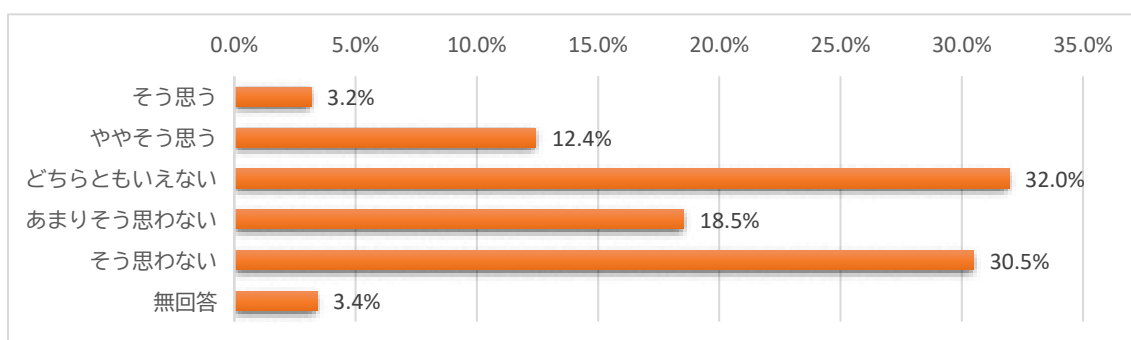


項目	件数	構成比(%)
そう思う	150	36.6%
ややそう思う	144	35.1%
どちらともいえない	88	21.5%
あまりそう思わない	9	2.2%
そう思わない	9	2.2%
無回答	10	2.4%
合計	410	100.0%

(9) 障がいのある人は、自分の行動について、自分で選択や決定する機会が制限されても仕方がない

- 『思わない』は49.0%、『思う』は15.6%となっています。「どちらともいえない」が32.0%（131件）と最も多く、次いで「そう思わない」（30.5%・125件）、「あまりそう思わない」（18.5%・76件）、「ややそう思う」（12.4%・51件）、「そう思う」（3.2%・13件）の順になっています。
- 性別では男性が女性よりも『思う』の肯定的認識の割合が若干高くなっています。年齢層では年齢層による割合の高低差が若干あるものの、顕著な違いは表れていません。障がい者の人権について、2割近くの人が理解していないことが表れているといえます。
- 人権の学習経験の有無でみると、『思う』の肯定的認識は、人権学習経験が「ある」では14.5%、「ない」は19.5%となっている一方、『思わない』の否定的認識では「ある」が53.1%と半数以上を占め、「ない」は33.8%となっています。人権学習の重要性がここに表れています。

図表.考え方 (N=410)



項目	件数	構成比(%)
そう思う	13	3.2%
ややそう思う	51	12.4%
どちらともいえない	131	32.0%
あまりそう思わない	76	18.5%
そう思わない	125	30.5%
無回答	14	3.4%
合計	410	100.0%

表.人権学習経験の有無別人権の考え方

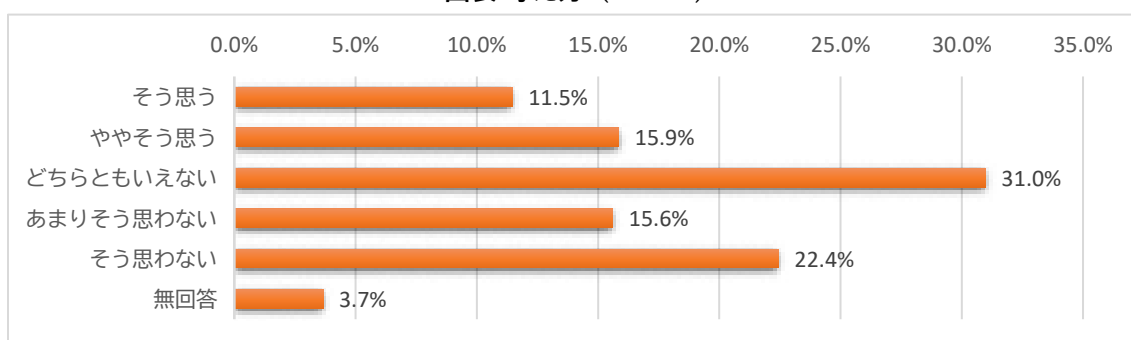
(9) 障がいのある人は、自分の行動について、自分で選択や決定する機会が制限されても仕方がない。	全体		人権の学習経験・有		人権の学習経験・無		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	13	3.2%	9	2.8%	4	5.2%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	51	12.4%	38	11.7%	11	14.3%	1	100.0%	1	12.5%
思う	64	15.6%	47	14.5%	15	19.5%	1	100.0%	1	12.5%
どちらともいえない	131	32.0%	100	30.9%	30	39.0%	0	0.0%	1	12.5%
あまりそう思わない	76	18.5%	65	20.1%	9	11.7%	0	0.0%	2	25.0%
そう思わない	125	30.5%	107	33.0%	17	22.1%	0	0.0%	1	12.5%
思わない	201	49.0%	172	53.1%	26	33.8%	0	0.0%	3	37.5%
無回答	14	3.4%	5	1.5%	6	7.8%	0	0.0%	3	37.5%
合計	410	100.0%	324	100.0%	77	100.0%	1	100.0%	8	100.0%

【同和問題（部落差別）】

(10) 同和問題（部落差別）は過去にはあったが、今は存在しない

- 『思わない』は38.0%、『思う』は27.4%、「どちらともいえない」が31.0%と4人に1人は同和問題が「今は存在しない」となっています。「どちらともいえない」が31.0%（127件）と最も多く、次いで「そう思わない」（22.4%・92件）、「ややそう思う」（15.9%・65件）、「あまりそう思わない」（15.6%・64件）、「そう思う」（11.5%・47件）の順になっています。
- 性別でみると、『思う』の肯定的認識は男性（25.2%）より女性（28.6%）の割合が若干高くなっています。年齢層では「20歳未満」（5.3%）が最も少なく、年齢層が高くなるほど割合が高くなっています。なかでも「50～59歳」（29.7%）、「60歳～69歳」（28.8%）、「70歳～79歳」（39.6%）、「80歳以上」（40.0%）と高齢者になるほど肯定的認識の割合が高くなる傾向が表れています。
- 人権学習の経験有・無でみると、『思う』の肯定的認識は人権学習の経験が「ある」が25.3%、「ない」が35.1%、『思わない』の否定的認識では「ある」は42.3%、「ない」は24.7%と人権学習の経験のより明確な認識の違いが表れています。高齢者層については、人権学習の経験が「ある」の割合が他の年齢に比べ低く、そのことが少なからず反映していると考えられます。

図表.考え方（N=410）



項目	件数	構成比(%)
そう思う	47	11.5%
ややそう思う	65	15.9%
どちらともいえない	127	31.0%
あまりそう思わない	64	15.6%
そう思わない	92	22.4%
無回答	15	3.7%
合計	410	100.0%

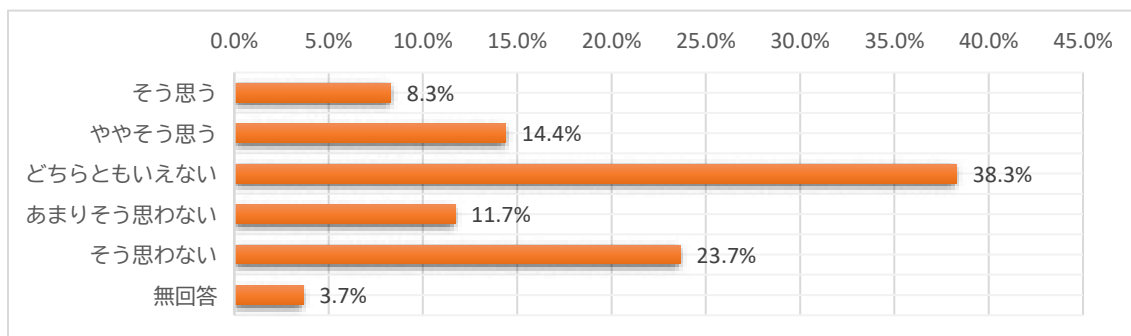
表.人権学習経験の有無別人権の考え方

(10) 同和問題(部落差別)は、過去にはあったが、今は存在しない。	全体		人権の学習経験・有		人権の学習経験・無		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	47	11.5%	31	9.6%	14	18.2%	0	0.0%	2	25.0%
ややそう思う	65	15.9%	51	15.7%	13	16.9%	0	0.0%	1	12.5%
思う	112	27.4%	82	25.3%	27	35.1%	0	0.0%	3	37.5%
どちらともいえない	127	31.0%	99	30.6%	25	32.5%	1	100.0%	2	25.0%
あまりそう思わない	64	15.6%	54	16.7%	10	13.0%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	92	22.4%	83	25.6%	9	11.7%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	156	38.0%	137	42.3%	19	24.7%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	15	9.0%	6	1.9%	6	7.8%	0	0.0%	3	37.5%
合計	410	228.8%	324	100.0%	77	100.0%	1	100.0%	8	100.0%

(11) 自分の身内が同和地区出身者と結婚することには反対する

- 『思わない』は35.4%、『思う』は22.7%、「どちらともいえない」は38.3%となっています。「どちらともいえない」(157件)が最も多く、次いで「そう思わない」(23.7%・97件)、「ややそう思う」(14.4%・59件)、「あまりそう思わない」(11.7%・48件)、「そう思う」(8.3%・34件)の順になっています。
- 性別では、『思う』の肯定的認識は男性が19.8%、女性が24.9%と女性の割合が高く、『思わない』の否定的認識では男性が41.9%、女性は30.7%と男性が11.2ポイントと顕著に割合が高くなっています。年齢層で見ると肯定的認識は「20歳未満」「20歳～29歳」で10%前後を占めていますが、「30歳～39歳」で22.7%と2倍に増加し、「40歳～49歳」では26.7%と最も高くなり、その後も20%前後で推移しています。

図表.考え方 (N=410)

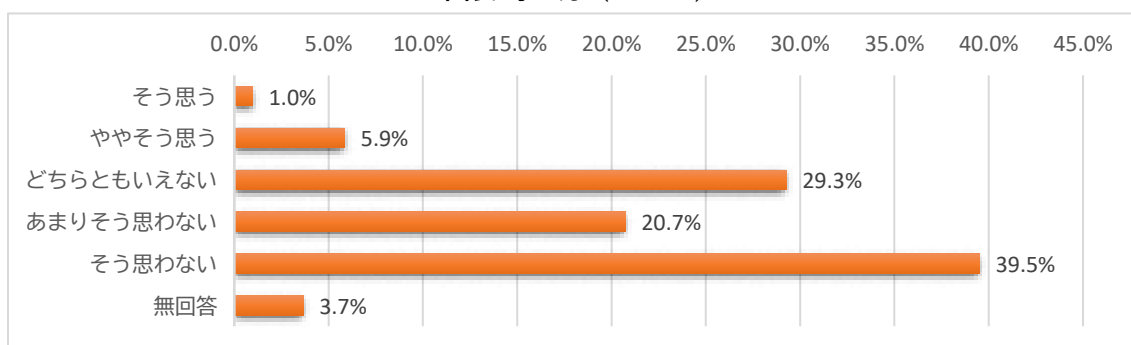


項目	件数	構成比(%)
そう思う	34	8.3%
ややそう思う	59	14.4%
どちらともいえない	157	38.3%
あまりそう思わない	48	11.7%
そう思わない	97	23.7%
無回答	15	3.7%
合計	410	100.0%

(12) 外国人は、賃貸住宅等の入居を断られても仕方がない

- 『思わない』は60.2%、『思う』は6.9%となっています。「そう思わない」が39.5% (162件)と最も多く、次いで「どちらともいえない」(29.3%・120件)、「あまりそう思わない」(20.7%・85件)、「ややそう思う」(5.9%・24件)、「そう思う」(1.0%・4件)の順になっています。
- 性別では性差による違いはあまりありません。年齢層では『思う』の肯定的認識は、「20歳未満」、「20歳～29歳」の若年層は1割未満と比較的割合が低くなっていますが、30歳以上の年齢層は1割前後で推移しています。『思わない』の否定的認識は若年層ほど高く、中高年層、高齢者層と年齢層が高くなる割合が低くなっている傾向が見られます。
- 人権学習の経験の有・無でみると、『思う』の肯定的認識は人権の学習経験が「あり」は6.5%、「なし」は9.1%とわずかな差が見られますが、否定的認識では「あり」が65.4%、「なし」は41.6%と23.8ポイントと大きな差が見られます。

図表.考え方 (N=410)



項目	件数	構成比(%)
そう思う	4	1.0%
ややそう思う	24	5.9%
どちらともいえない	120	29.3%
あまりそう思わない	85	20.7%
そう思わない	162	39.5%
無回答	15	3.7%
合計	410	100.0%

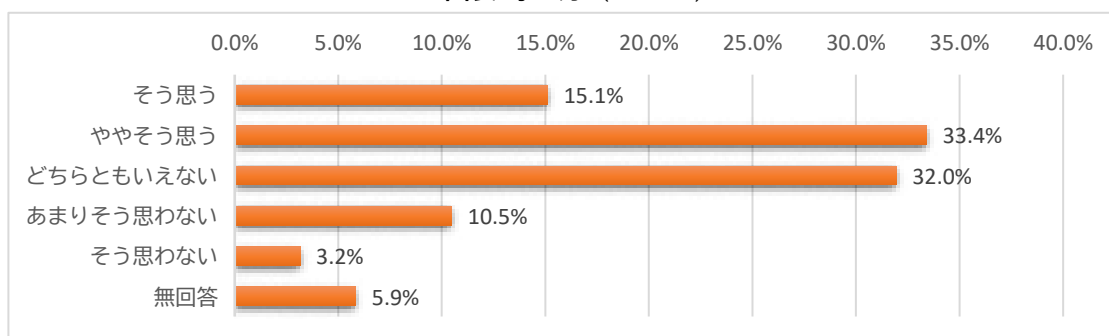
表.人権学習経験の有無別人権の考え方

(12) 外国人は、賃貸住宅などの入居を断られても仕方がない	全体		人権の学習経験・有		人権の学習経験・無		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	4	1.0%	3	0.9%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	24	5.9%	18	5.6%	6	7.8%	0	0.0%	0	0.0%
思う	28	6.9%	21	6.5%	7	9.1%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	120	29.3%	85	26.2%	32	41.6%	1	100.0%	2	25.0%
あまりそう思わない	85	20.7%	75	23.1%	10	13.0%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	162	39.5%	137	42.3%	22	28.6%	0	0.0%	3	37.5%
思わない	247	60.2%	212	65.4%	32	41.6%	0	0.0%	3	37.5%
無回答	15	3.7%	6	1.9%	6	7.8%	0	0.0%	3	37.5%
合計	410	100.0%	324	100.0%	77	100.0%	1	100.0%	8	100.0%

(13) 外国の生活習慣や文化などへの理解が欠けており、地域社会への受け入れが十分でない

- 『思う』は48.5%、『思わない』は13.7%となっています。「ややそう思う」が33.4% (137件)と最も多く、次いで「どちらともいえない」(32.0%・131件)、「そう思う」(15.1%・62件)、「あまりそう思わない」(10.5%・43件)、「そう思わない」(3.2%・13件)の順になっています。
- 性別では『思う』の肯定的認識は男性が54.5%、女性は44.8%と9.7ポイント男性の割合が高くなっています。年齢層では「20歳未満」が31.6%と最も低くなっていますが「20歳～29歳」が50.0%を占めており、それ以上の年齢層では60%前後で推移しています。

図表.考え方 (N=410)



項目	件数	構成比(%)
そう思う	62	15.1%
ややそう思う	137	33.4%
どちらともいえない	131	32.0%
あまりそう思わない	43	10.5%
そう思わない	13	3.2%
無回答	24	5.9%
合計	410	100.0%

表.性別考え方

(1) 夫婦の間であっても、暴力をふるうことは許されない。	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	379	92.4%	150	89.8%	227	94.2%	0	0.0%	2	100.0%
ややそう思う	17	4.1%	7	4.2%	10	4.1%	0	0.0%	0	0.0%
思う	396	96.5%	157	94.0%	237	98.3%	0	0%	2	100.0%
どちらともいえない	10	2.4%	8	4.8%	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	1	0.2%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	1	0.2%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	3	0.7%	1	0.6%	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(2) 親の世話や介護は、女性の役割である。	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	5	1.2%	1	0.6%	4	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	27	6.6%	13	7.8%	14	5.8%	0	0.0%	0	0.0%
思う	32	7.8%	14	8.4%	18	7.5%	0	0%	0	0.0%
どちらともいえない	100	24.4%	40	24.0%	60	24.9%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	51	12.4%	23	13.8%	27	11.2%	0	0.0%	1	50.0%
そう思わない	223	54.4%	87	52.1%	135	56.0%	0	0.0%	1	50.0%
思わない	274	66.8%	110	65.9%	162	67.2%	0	0.0%	2	100.0%
無回答	4	1.0%	3	1.8%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(3) 採用や昇任など、職場での男女の待遇の違いはやむを得ない。	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	13	3.2%	8	4.8%	5	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	71	17.3%	36	21.6%	35	14.5%	0	0.0%	0	0.0%
思う	84	20.5%	44	26.4%	40	16.6%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	82	20.0%	23	13.8%	59	24.5%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	69	16.8%	27	16.2%	42	17.4%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	161	39.3%	67	40.1%	94	39.0%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	230	56.1%	94	56.3%	136	56.4%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	14	3.4%	6	3.6%	6	2.5%	0	0.0%	2	100.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(4) いじめは、いじめられる側にも問題がある。	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	26	6.3%	11	6.6%	15	6.2%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	67	16.3%	31	18.6%	36	14.9%	0	0.0%	0	0.0%
思う	93	22.6%	42	25.2%	51	21.1%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	116	28.3%	45	26.9%	71	29.5%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	62	15.1%	22	13.2%	39	16.2%	0	0.0%	1	50.0%
そう思わない	132	32.2%	55	32.9%	77	32.0%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	194	47.3%	77	46.1%	116	48.2%	0	0.0%	1	50.0%
無回答	7	1.7%	3	1.8%	3	1.2%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(5) 子どもは、保護者や大人の意見に従えばよい。	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	9	2.2%	4	2.4%	4	1.7%	0	0.0%	1	50.0%
ややそう思う	44	10.7%	25	15.0%	19	7.9%	0	0.0%	0	0.0%
思う	53	12.9%	29	17.4%	23	9.6%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	90	22.0%	36	21.6%	53	22.0%	0	0.0%	1	50.0%
あまりそう思わない	107	26.1%	46	27.5%	61	25.3%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	151	36.8%	53	31.7%	98	40.7%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	258	62.9%	99	59.2%	159	66.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	9	2.2%	3	1.8%	6	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(6) 高齢者は、あまり自己主張せず、家族やまわりの者の言うことを聞いた方がよい。	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	29	7.1%	14	8.4%	15	6.2%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	70	17.1%	33	19.8%	37	15.4%	0	0.0%	0	0.0%
思う	99	24.2%	47	28.2%	52	21.6%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	113	27.6%	48	28.7%	64	26.6%	0	0.0%	1	50.0%
あまりそう思わない	78	19.0%	29	17.4%	49	20.3%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	113	27.6%	40	24.0%	72	29.9%	0	0.0%	1	50.0%
思わない	191	46.6%	69	41.4%	121	50.2%	0	0.0%	1	50.0%
無回答	7	1.7%	3	1.8%	4	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(7) 働く意欲や能力がある高齢者の雇用や待遇が十分に保証されていないのはおかしい。	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	126	30.7%	57	34.1%	69	28.6%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	148	36.1%	54	32.3%	92	38.2%	0	0.0%	2	100.0%
思う	274	66.8%	111	66.4%	161	66.8%	0	0.0%	2	100.0%
どちらともいえない	86	21.0%	36	21.6%	50	20.7%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	21	5.1%	9	5.4%	12	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	16	3.9%	6	3.6%	10	4.1%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	37	9.0%	15	9.0%	22	9.1%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	13	3.2%	5	3.0%	8	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(8) 障がいのある人が社会参加しやすくするために、地域住民が交流する機会を増やすべきだ。	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	150	36.6%	61	36.5%	88	36.5%	0	0.0%	1	50.0%
ややそう思う	144	35.1%	54	32.3%	90	37.3%	0	0.0%	0	0.0%
思う	294	71.7%	115	68.8%	178	73.8%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	88	21.5%	37	22.2%	50	20.7%	0	0.0%	1	50.0%
あまりそう思わない	9	2.2%	6	3.6%	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	9	2.2%	5	3.0%	4	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	18	4.4%	11	6.6%	7	2.9%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	10	2.4%	4	2.4%	6	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(9) 障がいのある人は、自分の行動について、自分で選択や決定する機会が制限されても仕方ない。	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	13	3.2%	7	4.2%	6	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	51	12.4%	21	12.6%	29	12.0%	0	0.0%	1	50.0%
思う	64	15.6%	28	16.8%	35	14.5%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	131	32.0%	46	27.5%	85	35.3%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	76	18.5%	31	18.6%	45	18.7%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	125	30.5%	56	33.5%	69	28.6%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	201	49.0%	87	52.1%	114	47.3%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	14	3.4%	6	3.6%	7	2.9%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(10) 同和問題(部落差別)は、過去にはあったが、今は存在しない	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	47	11.5%	19	11.4%	27	11.2%	0	0.0%	1	50.0%
ややそう思う	65	15.9%	23	13.8%	42	17.4%	0	0.0%	0	0.0%
思う	112	27.4%	42	25.2%	69	28.6%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	127	31.0%	43	25.7%	84	34.9%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	64	15.6%	31	18.6%	33	13.7%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	92	22.4%	42	25.1%	50	20.7%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	156	38.0%	73	43.7%	83	34.4%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	15	3.7%	9	5.4%	5	2.1%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(11) 自分の身内が同和地区出身者と結婚することには反対する	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	34	8.3%	14	8.4%	20	8.3%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	59	14.4%	19	11.4%	40	16.6%	0	0.0%	0	0.0%
思う	93	22.7%	33	19.8%	60	24.9%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	157	38.3%	57	34.1%	100	41.5%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	48	11.7%	20	12.0%	28	11.6%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	97	23.7%	50	29.9%	46	19.1%	0	0.0%	1	50.0%
思わない	145	35.4%	70	41.9%	74	30.7%	0	0.0%	1	50.0%
無回答	15	3.7%	7	4.2%	7	2.9%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(12) 外国人は、賃貸住宅などの入居を断られても仕方ない	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	4	1.0%	2	1.2%	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	24	5.9%	10	6.0%	14	5.8%	0	0.0%	0	0.0%
思う	28	6.9%	12	7.2%	16	6.6%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	120	29.3%	41	24.6%	79	32.8%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	85	20.7%	34	20.4%	51	21.2%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	162	39.5%	73	43.7%	88	36.5%	0	0.0%	1	50.0%
思わない	247	60.2%	107	64.1%	139	57.7%	0	0.0%	1	50.0%
無回答	15	3.7%	7	4.2%	7	2.9%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

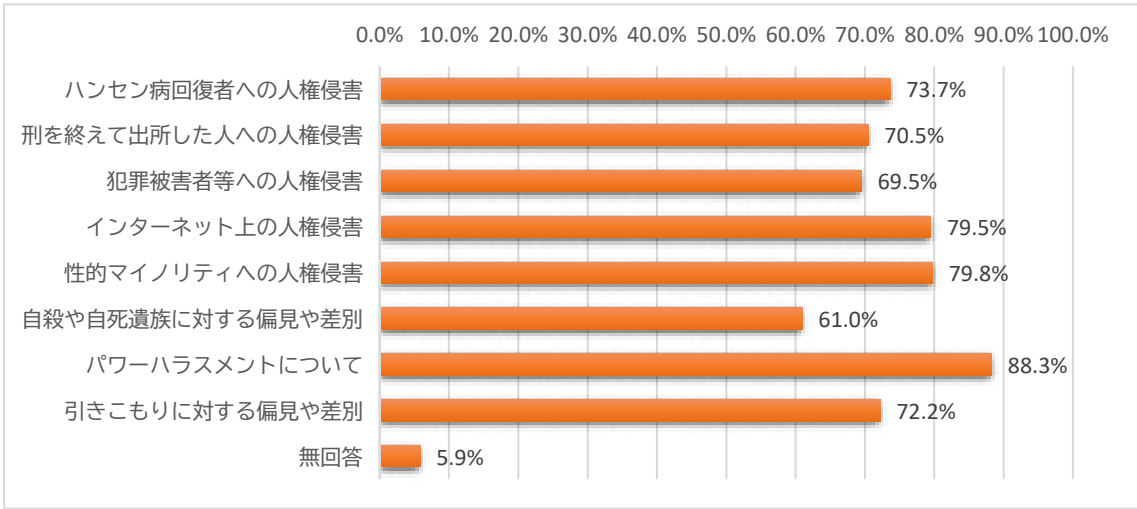
(13) 外国の生活習慣や文化などへの理解が欠けており、地域社会の受け入れが十分でない	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	62	15.1%	32	19.2%	30	12.4%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	137	33.4%	59	35.3%	78	32.4%	0	0.0%	0	0.0%
思う	199	48.5%	91	54.5%	108	44.8%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	131	32.0%	43	25.7%	88	36.5%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	43	10.5%	18	10.8%	25	10.4%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	13	3.2%	6	3.6%	7	2.9%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	56	13.7%	24	14.4%	32	13.3%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	24	5.9%	9	5.4%	13	5.4%	0	0.0%	2	100.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

問8 あなたは、次の人権課題について知っていますか。また、それをどのようなきっかけで知りましたか

問8 人権課題について知っていますか

- 「パワーハラスメントについて」が88.3%（362件）と最も多く、次いで「性的マイノリティへの人権侵害」（79.8%・327件）、「インターネット上の人権侵害」（79.5%・326件）、「ハンセン病回復者への人権侵害」（73.7%・302件）、「引きこもりに対する偏見や差別」（72.2%・296件）の順になっています。
- **性別**では、女性に比べ総じて男性の認知率が高くなっています。ただ、「性的マイノリティの人権侵害」では、女性（82.6%）が男性（76.6%）を唯一上回っており、その関心の深さが表れています。
- **年齢層別**では、各年齢層に共通して「パワーハラスメントについて」が最も割合が高くなっています。これに加えて、「20歳未満」「30歳～39歳」では「インターネット上の人権侵害」、「70歳～79歳」「80歳以上」では「ハンセン病回復者への人権侵害」が最も割合が高くなっています。

図表.人権課題（N=410 複数回答）



項目	件数	構成比(%)
ハンセン病回復者への人権侵害	302	73.7%
刑を終えて出所した人への人権侵害	289	70.5%
犯罪被害者等への人権侵害	285	69.5%
インターネット上の人権侵害	326	79.5%
性的マイノリティへの人権侵害	327	79.8%
自殺や自死遺族に対する偏見や差別	250	61.0%
パワーハラスメントについて	362	88.3%
引きこもりに対する偏見や差別	296	72.2%
無回答	24	5.9%
合計	2,461	

表.性別別人権侵害の認知状況

	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
ハンセン病回復者への人権侵害	302	73.7%	125	74.9%	176	73.0%	0	0.0%	1	50.0%
刑を終えて出所した人への人権侵害	289	70.5%	126	75.4%	163	67.6%	0	0.0%	0	0.0%
犯罪被害者等への人権侵害	285	69.5%	120	71.9%	165	68.5%	0	0.0%	0	0.0%
インターネット上の人権侵害	326	79.5%	137	82.0%	188	78.0%	0	0.0%	1	50.0%
性的マイノリティへの人権侵害	327	79.8%	128	76.6%	199	82.6%	0	0.0%	0	0.0%
自殺や自死遺族に対する偏見や差別	250	61.0%	108	64.7%	142	58.9%	0	0.0%	0	0.0%
パワーハラスメントについて	362	88.3%	148	88.6%	213	88.4%	0	0.0%	1	50.0%
引きこもりに対する偏見や差別	296	72.2%	126	75.4%	170	70.5%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	24	5.9%	8	4.8%	15	6.2%	0	0.0%	1	50.0%
合計	2,461		1,026		1,431		0		4	

表.年齢別人権侵害の認知状況

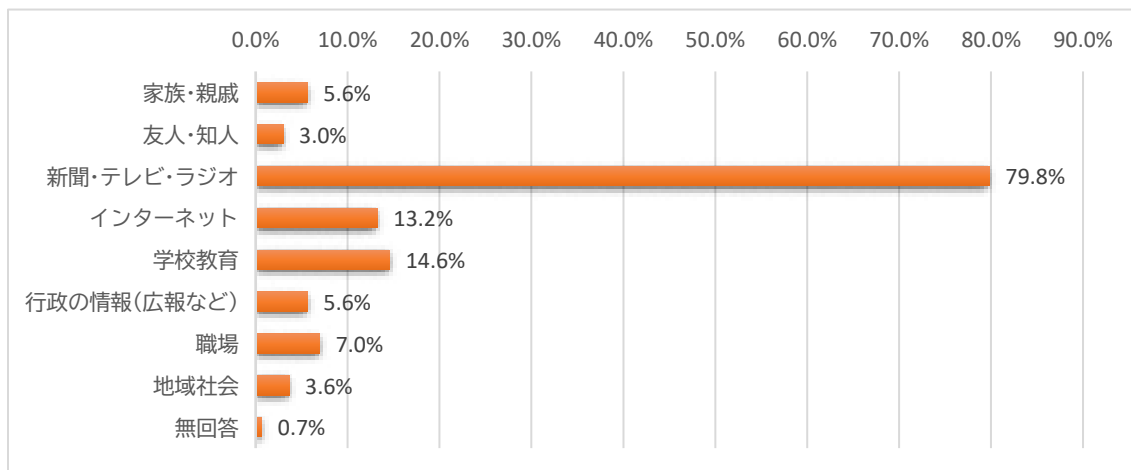
	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
ハンセン病回復者への人権侵害	302	73.7%	3	15.8%	14	46.7%	13	59.1%	51	85.0%	42	65.6%	61	83.6%	81	89.0%	36	72.0%	1	100.0%
刑を終えて出所した人への人権侵害	289	70.5%	10	52.6%	13	43.3%	12	54.5%	47	78.3%	47	73.4%	59	80.8%	72	79.1%	29	58.0%	0	0.0%
犯罪被害者等への人権侵害	285	69.5%	9	47.4%	17	56.7%	15	68.2%	51	85.0%	41	64.1%	57	78.1%	68	74.7%	27	54.0%	0	0.0%
インターネット上の人権侵害	326	79.5%	15	78.9%	26	86.7%	20	90.9%	56	93.3%	54	84.4%	61	83.6%	69	75.8%	24	48.0%	1	100.0%
性的マイノリティへの人権侵害	327	79.8%	12	63.2%	22	73.3%	19	86.4%	55	91.7%	56	87.5%	59	80.8%	77	84.6%	27	54.0%	0	0.0%
自殺や自死遺族に対する偏見や差別	250	61.0%	7	36.8%	13	43.3%	12	54.5%	40	66.7%	38	59.4%	49	67.1%	66	72.5%	25	50.0%	0	0.0%
パワーハラスメントについて	362	88.3%	15	78.9%	28	93.3%	20	90.9%	57	95.0%	61	95.3%	66	90.4%	81	89.0%	33	66.0%	1	100.0%
引きこもりに対する偏見や差別	296	72.2%	12	63.2%	17	56.7%	18	81.8%	48	80.0%	42	65.6%	60	82.2%	72	79.1%	27	54.0%	0	0.0%
無回答	24	5.9%	3	15.8%	1	3.3%	1	4.5%	0	0.0%	2	3.1%	4	5.5%	4	4.4%	9	18.0%	0	0.0%
合計	2,461		86		151		130		405		383		476		590		237		3	

問8 それをどのようなきっかけで知りましたか

(1) ハンセン病回復者への人権侵害

- 「新聞・テレビ・ラジオ」が79.8% (241件)と最も多く、次いで「学校教育」(14.6%・44件)、「インターネット」(13.2%・40件)、「職場」(7.0%・21件)、「行政の情報(広報など)」 「家族・親戚」(いずれも5.6%・17件)の順になっています。

図表.ハンセン病回復者への人権侵害(N=302 複数回答)

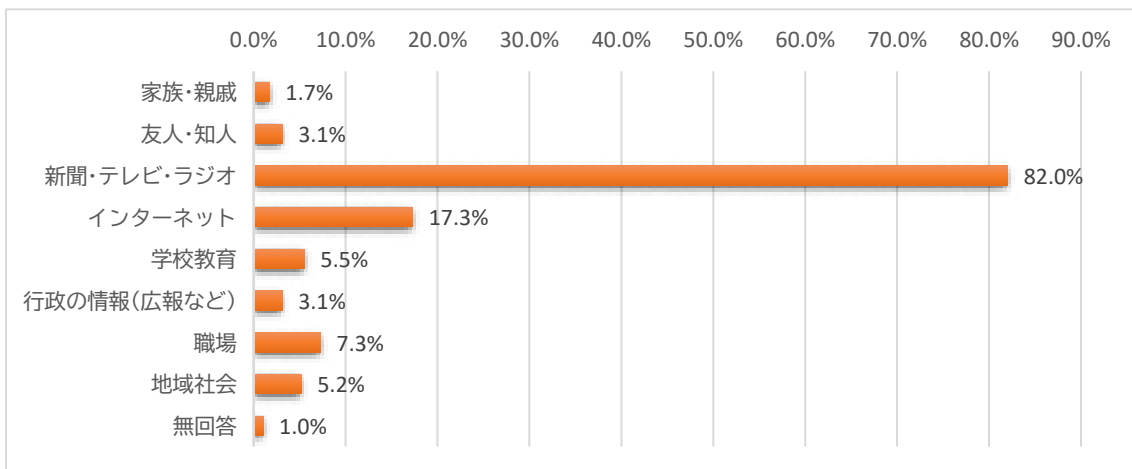


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	17	5.6%
友人・知人	9	3.0%
新聞・テレビ・ラジオ	241	79.8%
インターネット	40	13.2%
学校教育	44	14.6%
行政の情報(広報など)	17	5.6%
職場	21	7.0%
地域社会	11	3.6%
無回答	2	0.7%
合計	402	

(2) 刑を終えて出所した人への人権侵害

「新聞・テレビ・ラジオ」が82.0% (237件) と最も多く、次いで「インターネット」(17.3%・50件)、「職場」(7.3%・21件)、「学校教育」(5.5%・16件)、「地域社会」(5.2%・15件) の順になっています。

図表.刑余者への人権侵害 (N=289 複数回答)

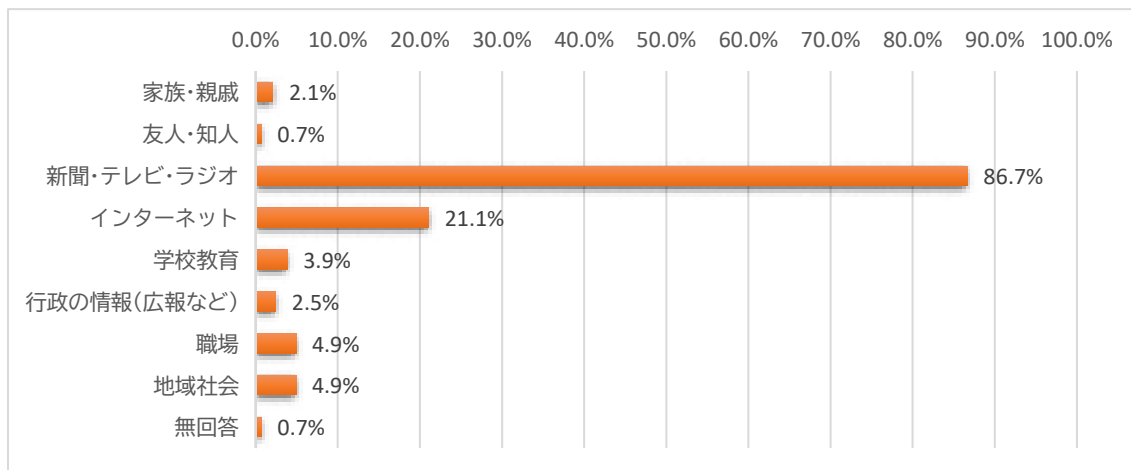


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	5	1.7%
友人・知人	9	3.1%
新聞・テレビ・ラジオ	237	82.0%
インターネット	50	17.3%
学校教育	16	5.5%
行政の情報(広報など)	9	3.1%
職場	21	7.3%
地域社会	15	5.2%
無回答	3	1.0%
合計	365	

(3) 犯罪被害者等への人権侵害

「新聞・テレビ・ラジオ」が86.7% (247件) と最も多く、次いで「インターネット」(21.1%・60件)、「職場」「地域社会」(いずれも4.9%・14件)、「学校教育」(3.9%・11件)、「行政の情報(広報など)」(2.5%・7件)の順になっています。

図表.犯罪被害者等への人権侵害(N=285 複数回答)

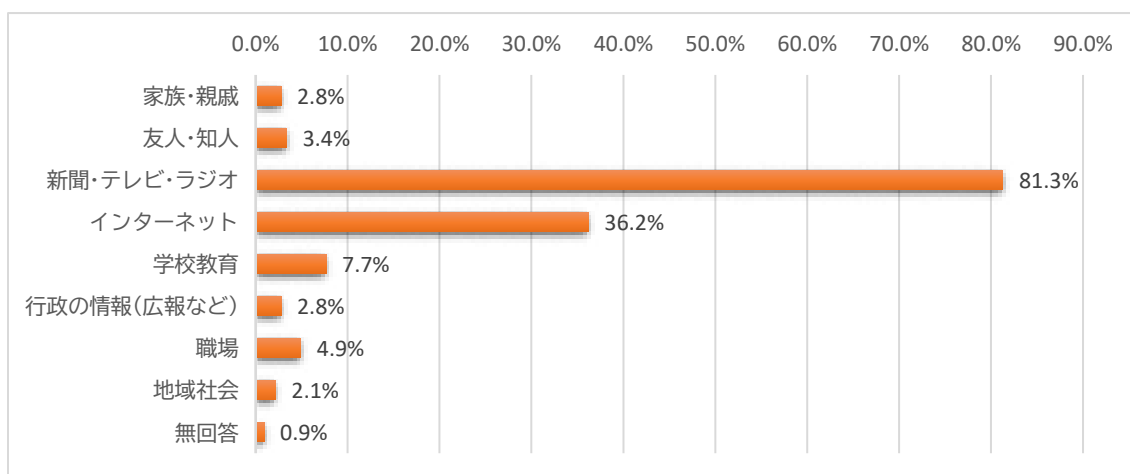


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	6	2.1%
友人・知人	2	0.7%
新聞・テレビ・ラジオ	247	86.7%
インターネット	60	21.1%
学校教育	11	3.9%
行政の情報(広報など)	7	2.5%
職場	14	4.9%
地域社会	14	4.9%
無回答	2	0.7%
合計	363	

(4) インターネット上の人権侵害

「新聞・テレビ・ラジオ」が81.3% (265件) と最も多く、次いで「インターネット」(36.2%・118件)、「学校教育」(7.7%・25件)、「職場」(4.9%・16件)、「友人・知人」(3.4%・11件)の順になっています。

図表. インターネット上の人権侵害(N=326 複数回答)

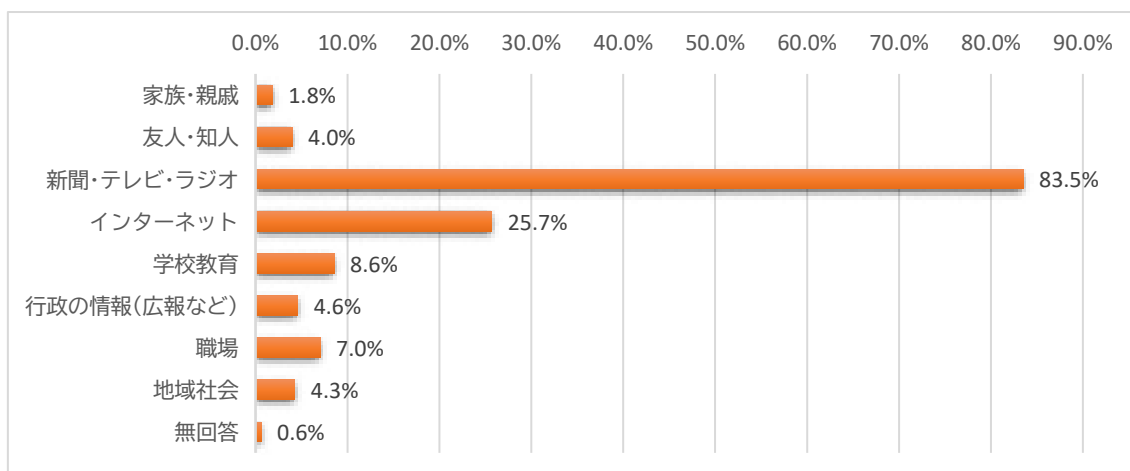


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	9	2.8%
友人・知人	11	3.4%
新聞・テレビ・ラジオ	265	81.3%
インターネット	118	36.2%
学校教育	25	7.7%
行政の情報(広報など)	9	2.8%
職場	16	4.9%
地域社会	7	2.1%
無回答	3	0.9%
合計	463	

(5) 性的マイノリティへの人権侵害

「新聞・テレビ・ラジオ」が83.5% (273件)と最も多く、次いで「インターネット」(25.7%・84件)、「学校教育」(8.6%・28件)、「職場」(7.0%・23件)、「行政の情報(広報など)」(4.6%・15件)の順になっています。

図表. 性的マイノリティへの人権侵害(N=327 複数回答)

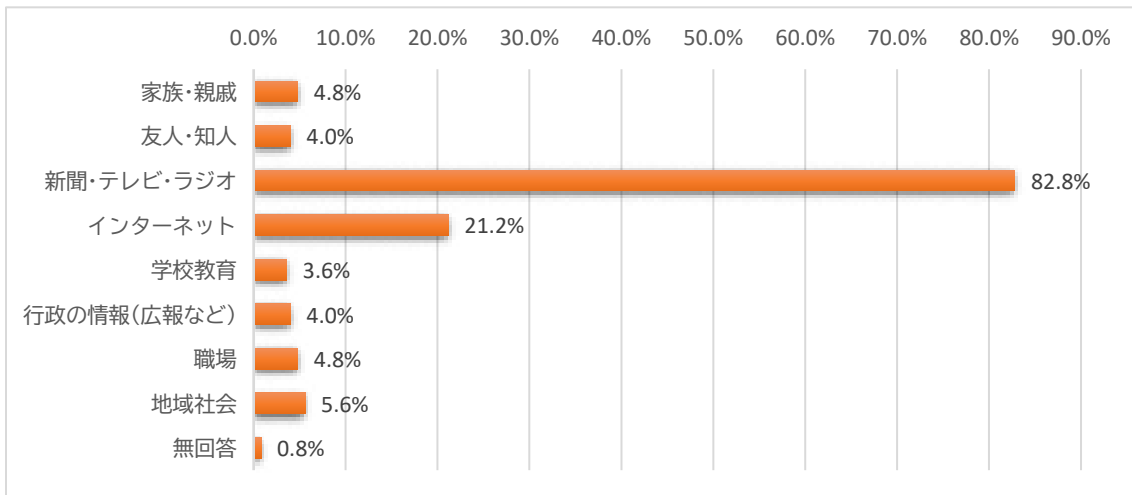


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	6	1.8%
友人・知人	13	4.0%
新聞・テレビ・ラジオ	273	83.5%
インターネット	84	25.7%
学校教育	28	8.6%
行政の情報(広報など)	15	4.6%
職場	23	7.0%
地域社会	14	4.3%
無回答	2	0.6%
合計	458	

(6) 自殺や自死遺族に対する偏見や差別

「新聞・テレビ・ラジオ」が82.8% (207件) と最も多く、次いで「インターネット」(21.2%・53件)、「地域社会」(5.6%・14件)、「家族・親戚」「職場」(いずれも4.8%・12件)、「友人・知人」「行政の情報(広報など)」(いずれも4.0%・10件)の順になっています。

図表. 自殺や自死遺族に対する偏見や差別(N=250 複数回答)

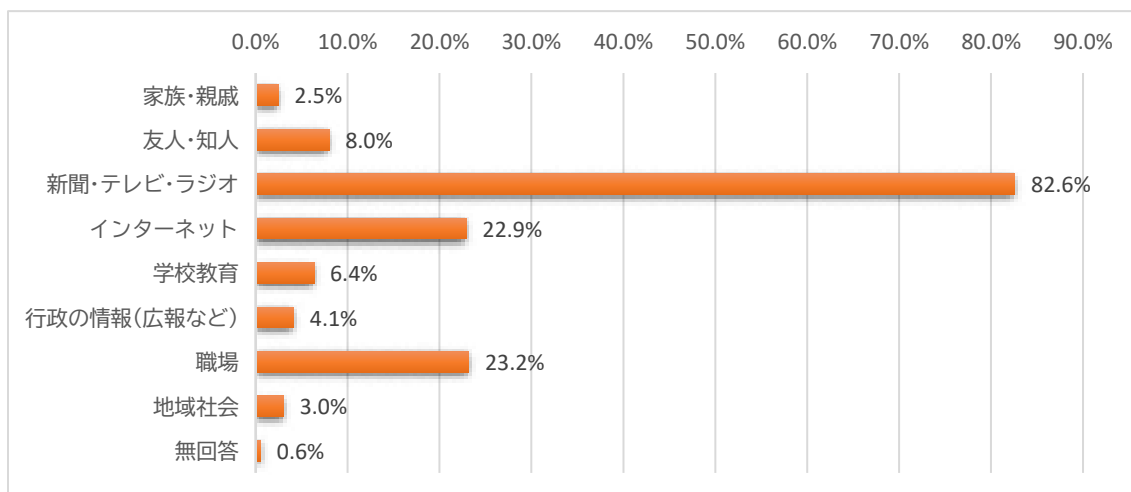


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	12	4.8%
友人・知人	10	4.0%
新聞・テレビ・ラジオ	207	82.8%
インターネット	53	21.2%
学校教育	9	3.6%
行政の情報(広報など)	10	4.0%
職場	12	4.8%
地域社会	14	5.6%
無回答	2	0.8%
合計	329	

(7) パワーハラスメントについて

「新聞・テレビ・ラジオ」が82.6%（299件）と最も多く、次いで「職場」（23.2%・84件）、「インターネット」（22.9%・83件）、「友人・知人」（8.0%・29件）、「学校教育」（6.4%・23件）の順になっています。

図表. パワーハラスメントについて（N=362 複数回答）

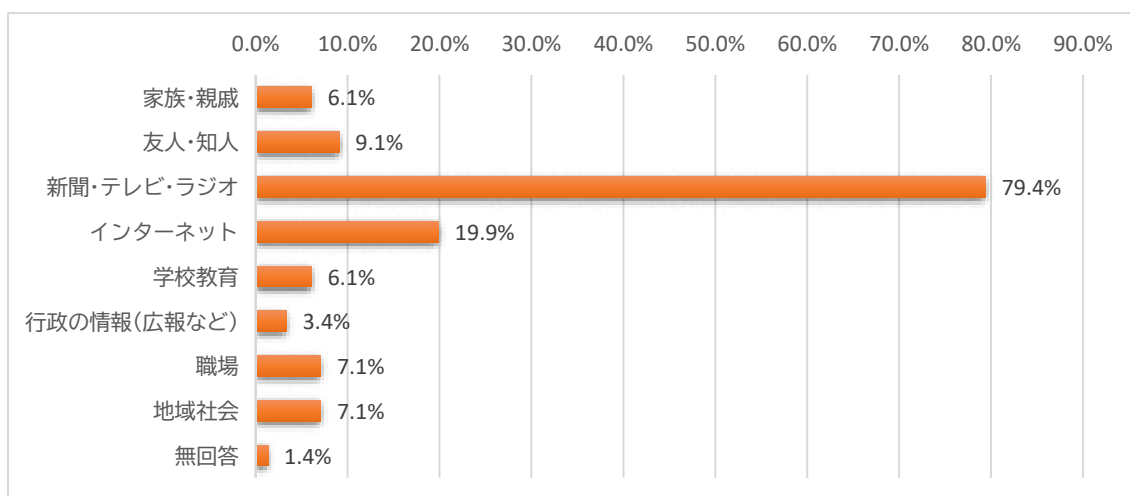


項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	9	2.5%
友人・知人	29	8.0%
新聞・テレビ・ラジオ	299	82.6%
インターネット	83	22.9%
学校教育	23	6.4%
行政の情報(広報など)	15	4.1%
職場	84	23.2%
地域社会	11	3.0%
無回答	2	0.6%
合計	555	

(8) 引きこもりに対する偏見や差別

「新聞・テレビ・ラジオ」が79.4%（235件）と最も多く、次いで「インターネット」（19.9%・59件）、「友人・知人」（9.1%・27件）、「職場」「地域社会」（いずれも7.1%・21件）の順になっています。

図表. 引きこもりに対する偏見や差別(N=296 複数回答)



項目	件数	構成比(%)
家族・親戚	18	6.1%
友人・知人	27	9.1%
新聞・テレビ・ラジオ	235	79.4%
インターネット	59	19.9%
学校教育	18	6.1%
行政の情報(広報など)	10	3.4%
職場	21	7.1%
地域社会	21	7.1%
無回答	4	1.4%
合計	413	

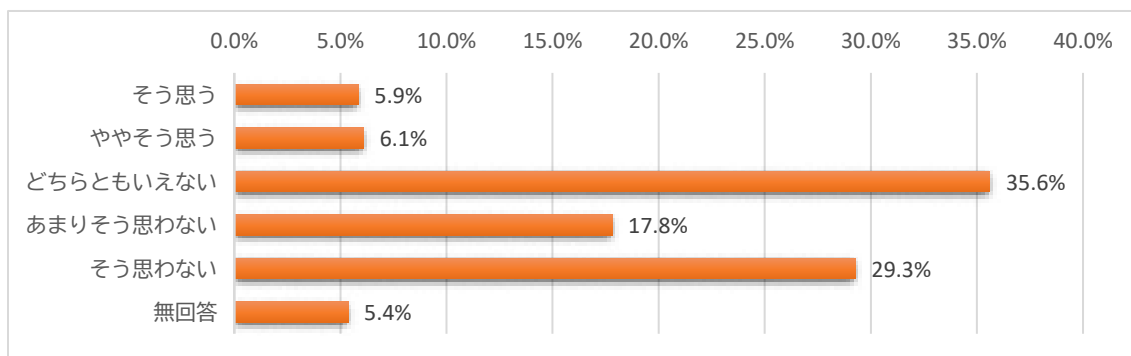
問9 あなたは、次の考え方に対してどのように思いますか

※回答者の主な傾向をみるため、『思う』を「そう思う」と「ややそう思う」の合計割合で、『思わない』を「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計割合でみています。

(1) ハンセン病回復者とは、一緒に食事や入浴はしない

- 『思わない』は47.1%、『思う』は12.0%と、1割がハンセン病回復者に対する忌避意識をもっています。「どちらともいえない」が35.6% (146件) と最も多く、次いで「そう思わない」(29.3%・120件)、「あまりそう思わない」(17.8%・73件)、「ややそう思う」(6.1%・25件)、「そう思う」(5.9%・24件)の順になっています。

図表.考え方 (N=410)



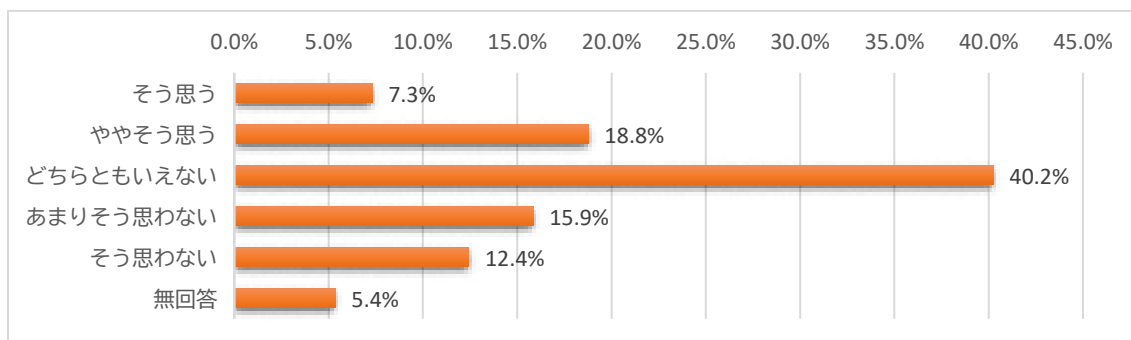
項目	件数	構成比 (%)
そう思う	24	5.9%
ややそう思う	25	6.1%
どちらともいえない	146	35.6%
あまりそう思わない	73	17.8%
そう思わない	120	29.3%
無回答	22	5.4%
合計	410	100.0%

- **性別**では、『思う』の肯定的認識は男性が16.8%、女性が8.7%と男性が女性より8.1ポイント上回る2倍を占め、ハンセン病回復者への忌避意識は強く表れています。**年齢層**では、総じて60歳以上の高齢者に忌避意識の割合が高く、「80歳以上」(22.0%)では5人に1人がハンセン病回復者とは一緒に食事や入浴はしない、となっています。

(2) 刑を終えて出所した人に対して、雇用や関わりを避ける

- 『**思わない**』は28.3%、『**思う**』は26.1%と、4人に1人は刑余者に対する忌避意識を有しています。「**どちらともいえない**」が40.2% (165件) と最も多く、次いで「**ややそう思う**」(18.8%・77件)、「**あまりそう思わない**」(15.9%・65件)、「**そう思わない**」(12.4%・51件)、「**そう思う**」(7.3%・30件)の順になっています。

図表.考え方 (N=410)



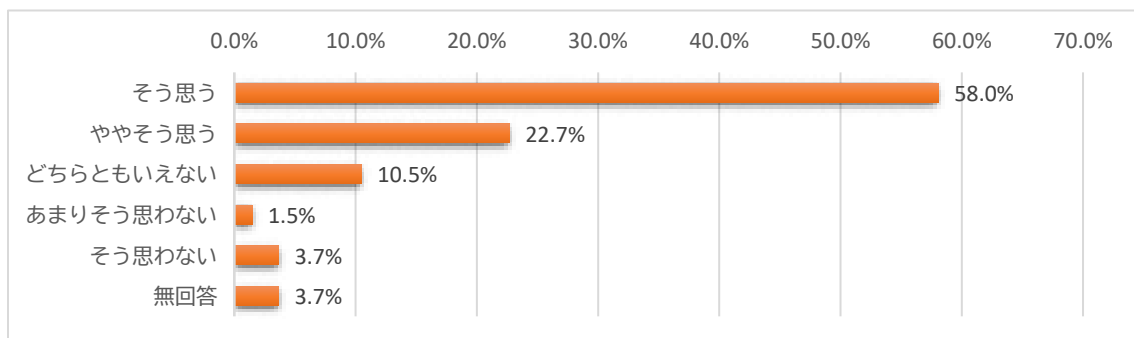
項目	件数	構成比(%)
そう思う	30	7.3%
ややそう思う	77	18.8%
どちらともいえない	165	40.2%
あまりそう思わない	65	15.9%
そう思わない	51	12.4%
無回答	22	5.4%
合計	410	100.0%

- **性別**では、『思う』の肯定的認識では、性差はみられませが、「思わない」の否定的認識では男性が女性よりも若干割合が高くなっています。**年齢層**では肯定的認識は「30歳～39歳」「40歳～49歳」「50歳～59歳」の中高齢層から若干割合が高くなっている傾向がみられます。『思わない』の否定的認識は「20歳未満」「20歳～29歳」の若年層が他の年齢層に比べ割合が高くなっています。

(3) 犯罪被害者やその家族が、捜査や刑事裁判で精神的負担を受けないように保護すべきだ

- 『思う』は**80.7%**、『思わない』は**5.2%**となっています。「そう思う」が58.0%（238件）と最も多く、次いで「ややそう思う」（22.7%・93件）、「どちらともいえない」（10.5%・43件）、「そう思わない」（3.7%・15件）、「あまりそう思わない」（1.5%・6件）の順になっています。
- **性別**では、『思う』の肯定的認識の性差があまりみられません。**年齢層**では、「50歳～59歳」（90.0%）の割合が最も高く、「80歳以上」（68.0%）が最も低いという年齢層による認識の相違がみられます。

図表.考え方 (N=410)

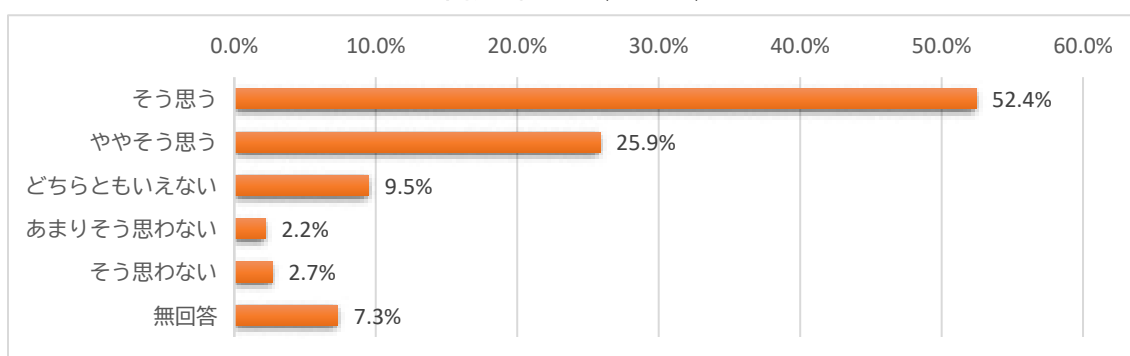


項目	件数	構成比(%)
そう思う	238	58.0%
ややそう思う	93	22.7%
どちらともいえない	43	10.5%
あまりそう思わない	6	1.5%
そう思わない	15	3.7%
無回答	15	3.7%
合計	410	100.0%

(4) 子どもたちの間で、インターネットやSNSを利用したいじめが発生している

- 『思う』は78.3%、『思わない』は4.9%と、インターネットやSNSの利用による「いじめ」が発生していると認識しています。「そう思う」が52.4%（215件）と最も多く、次いで「ややそう思う」（25.9%・106件）、「どちらともいえない」（9.5%・39件）、「そう思わない」（2.7%・11件）、「あまりそう思わない」（2.2%・9件）の順になっています。
- 性別では、『思う』の肯定的認識は性差が余りみられません。年齢層では肯定的認識は「20歳未満」から「70歳～79歳」の各年齢層で8割を占めており、インターネットやSNSの利用による「いじめ」が発生しているとしています。年齢層の中でも、とりわけ「20歳～29歳」「40歳～49歳」では9割を占め、「いじめ」の発生に対する危機感を表しています。

図表.考え方 (N=410)



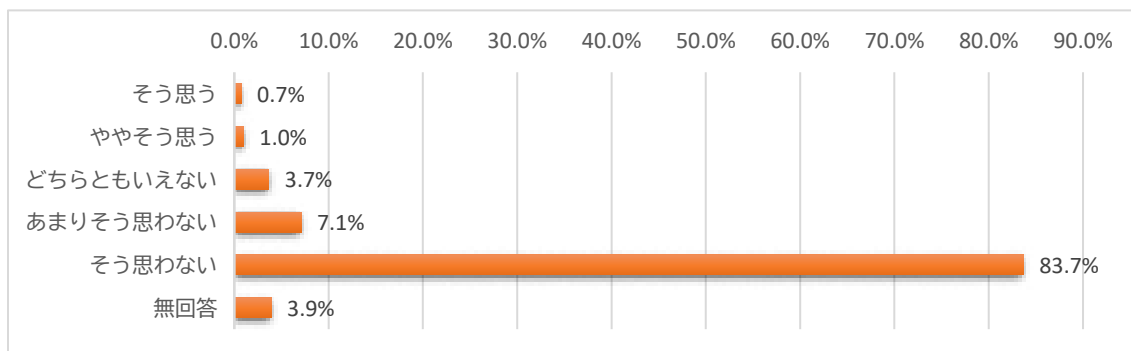
項目	件数	構成比(%)
そう思う	215	52.4%
ややそう思う	106	25.9%
どちらともいえない	39	9.5%
あまりそう思わない	9	2.2%
そう思わない	11	2.7%
無回答	30	7.3%
合計	410	100.0%

(5) インターネット上は、誰もが自由に書き込める場なので、他人の誹謗中傷を書き込んでも問題はない

- 『思わない』は90.8%、『思う』は1.7%と、肯定的認識が9割を占めています。「そう思わない」が83.7%（343件）と最も多く、次いで「あまりそう思わない」（7.1%・29件）、「どちらともいえない」（3.7%・15件）、「ややそう思う」（1.0%・4件）、「そう思う」（0.7%・3件）の順になっています。
- 性別では、『思う』の肯定的認識は性別、年齢層でも大きな違いがみられません。ただ、年齢層では、「30歳～39歳」が「思わない」のうち「そう思わない」（63.6%）

の割合が各年齢層の中で最も少なく、インターネット上の個人のプライバシー問題に対する意思表示の不明確さが表れています。

図表.考え方 (N=410)

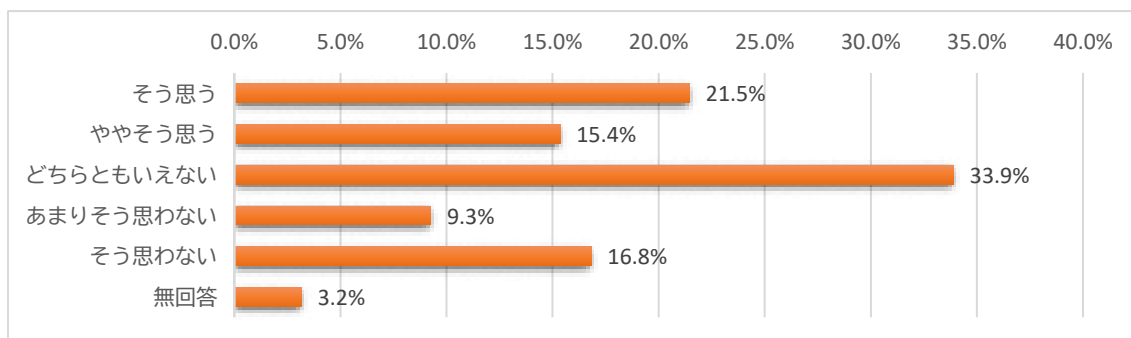


項目	件数	構成比(%)
そう思う	3	0.7%
ややそう思う	4	1.0%
どちらともいえない	15	3.7%
あまりそう思わない	29	7.1%
そう思わない	343	83.7%
無回答	16	3.9%
合計	410	100.0%

(6) 結婚は、男性と男性、女性と女性などでも認められるべきだ

- 『思う』は36.9%、『思わない』は26.1%と同性婚に対して3人に1人が肯定的認識を示しています。「どちらともいえない」が33.9% (139件)と最も多く、次いで「そう思う」(21.5%・88件)、「そう思わない」(16.8%・69件)、「ややそう思う」(15.4%・63件)、「あまりそう思わない」(9.3%・38件)の順になっています。
- 性別では、『思う』の肯定的認識は男性が30.6%、女性が41.5%と女性が10.9ポイント高くなっています。『思わない』の否定的認識は、男性が31.2%、女性が22.4%と男性のほうが忌避意識の強いことが表れています。ただ、男女の肯定的認識と否定的認識を比較すると男性は意見が二分されていますが、女性は男性より同性婚に対する肯定的認識が強いことが表れています。年齢層では、若年層では肯定的認識が高く、年齢層が高くなるほどその割合が低くなるという傾向がみられます。「20歳未満」(73.7%)、「20歳～29歳」(63.3%)、「30歳～39歳」(77.3%)となっていますが、「40歳～49歳」(51.7%)から年齢層が高くなるほど、肯定的認識の割合が低下し、「80歳以上」では最も低い18.7%となっています。

図表.考え方 (N=410)

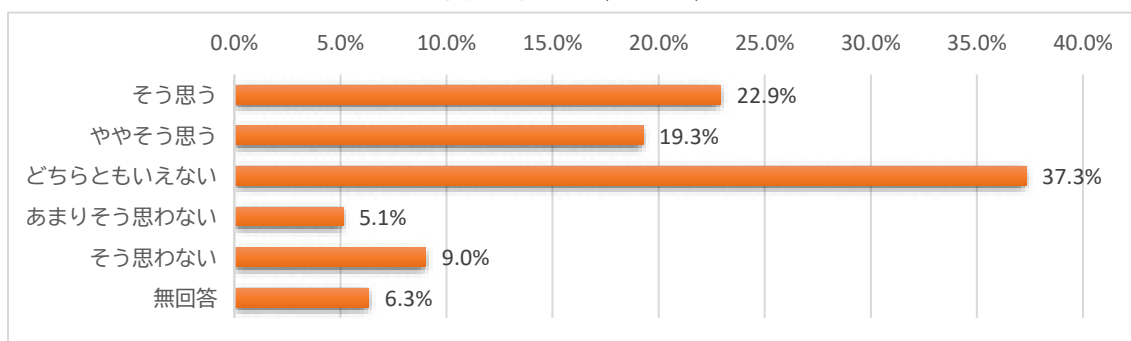


項目	件数	構成比 (%)
そう思う	88	21.5%
ややそう思う	63	15.4%
どちらともいえない	139	33.9%
あまりそう思わない	38	9.3%
そう思わない	69	16.8%
無回答	13	3.2%
合計	410	100.0%

(7) 家族から、LGBTQなどの性的マイノリティであることを打ち明けられても、意思を尊重し、変わりなく受け入れられる

- 『思う』は42.2%、『思わない』は14.1%と性的マイノリティに対する肯定的認識は4割を占めています。「どちらともいえない」が37.3% (153件)と最も多く、次いで「そう思う」(22.9%・94件)、「ややそう思う」(19.3%・79件)、「そう思わない」(9.0%・37件)、「あまりそう思わない」(5.1%・21件)の順になっています。
- 性別では『思う』の肯定的認識は男性が34.8%、女性が47.7%と女性が12.9ポイント男性を上回っているとともに、女性のほぼ2人に1人が肯定的認識となっています。年齢層では肯定的認識が「20歳未満」で89.5%と割合が顕著に高くなっています。この年齢層から年齢層が高くなるほど、肯定的認識は低下傾向を示し、「80歳以上」では14.0%となっています。

図表.考え方 (N=410)

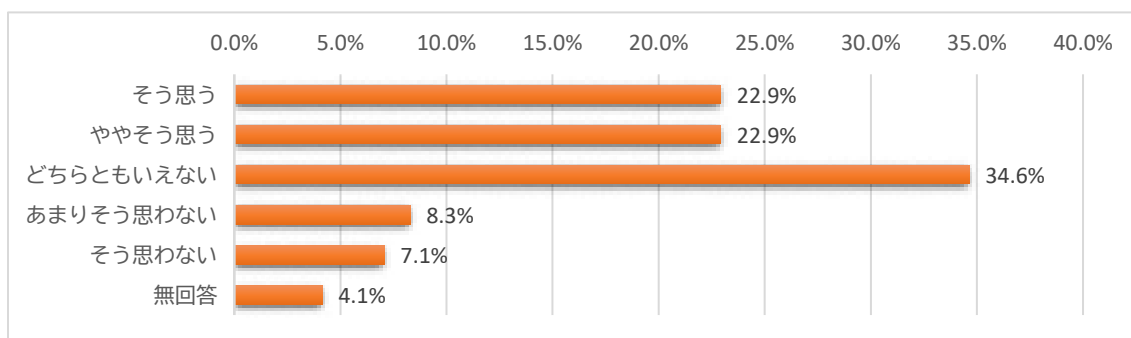


項目	件数	構成比(%)
そう思う	94	22.9%
ややそう思う	79	19.3%
どちらともいえない	153	37.3%
あまりそう思わない	21	5.1%
そう思わない	37	9.0%
無回答	26	6.3%
合計	410	100.0%

(8) 自殺の多くは、社会的に追い込まれた末の死である

- 『思う』は45.8%、『思わない』は15.4%となっています。「どちらともいえない」が34.6% (142件)と最も多く、次いで「そう思う」「ややそう思う」(いずれも22.9%・94件)、「あまりそう思わない」(8.3%・34件)、「そう思わない」(7.1%・29件)の順になっています。
- 性別では、『思う』の肯定的認識は、女性が男性よりも若干割合が高くなっていますが、大きな違いはみられません。年齢層では「20歳未満」から「50歳～59歳」の年齢層では肯定的認識が半数を超えています。60歳以上の高齢者では年齢層が高くなるほど割合は低下する傾向を示しています。

図表.考え方 (N=410)

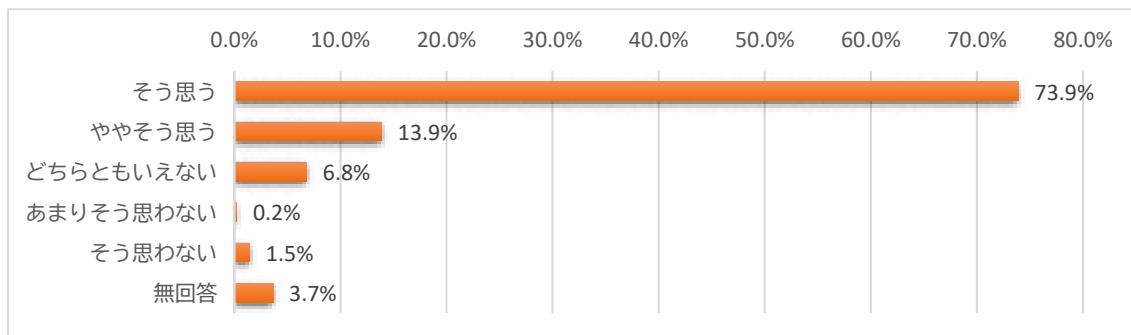


項目	件数	構成比(%)
そう思う	94	22.9%
ややそう思う	94	22.9%
どちらともいえない	142	34.6%
あまりそう思わない	34	8.3%
そう思わない	29	7.1%
無回答	17	4.1%
合計	410	100.0%

(9) 人前で部下を長時間にわたり大声で叱るのはハラスメントだ

- 『思う』は87.8%、『思わない』は1.7%となっています。「そう思う」が73.9% (303件) で最も多く、次いで「ややそう思う」(13.9%・57件)、「どちらともいえない」(6.8%・28件)、「そう思わない」(1.5%・6件)、「あまりそう思わない」(0.2%・1件)の順になっています。
- 性別では、『思う』の肯定的認識は男性が83.3%、女性が91.2%と女性の割合が若干高くなっています。年齢層でも肯定的認識は各年齢層とも8割以上を占め、大きな差はみられません。
- 就労形態では、すべての就労形態において、肯定的認識はほぼ8割以上を占めています。常雇用従業者(公務員・教員)、常雇用従業者(民間企業・団体等)と非常雇用者(臨時雇用・パート・アルバイト等)でみると、8割以上が肯定的認識を占めています。

図表.考え方 (N=410)



項目	件数	構成比(%)
そう思う	303	73.9%
ややそう思う	57	13.9%
どちらともいえない	28	6.8%
あまりそう思わない	1	0.2%
そう思わない	6	1.5%
無回答	15	3.7%
合計	410	100.0%

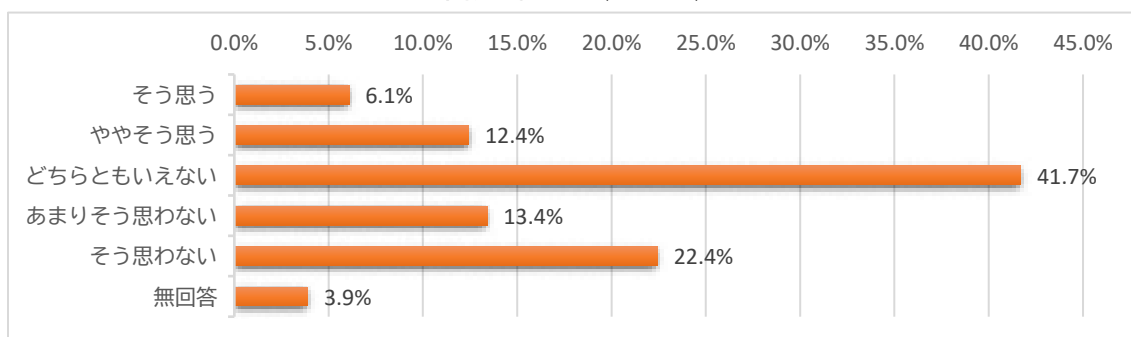
表. 就労形態別考え方

(9) 人前で部下を長時間にわたり大声で叱るのはハラスメントだ	全体		経営者・役員など		常時雇用(公務員等)		常時雇用(企業等)		非常時雇用		自営業等		専業主婦・主夫		学生		その他		無職		無回答	
	件数	構成比(%)	民役	民役(%)	(常)公	(常)公(%)	(常)民	(常)民(%)	非常勤	非常勤(%)	自営業	自営業(%)	専主	専主(%)	学生	学生(%)	その他	その他(%)	無職	無職(%)	無回答	無回答(%)
そう思う	303	73.9%	9	75.0%	19	76.0%	60	76.9%	49	77.8%	21	72.4%	63	78.8%	16	59.3%	0	0.0%	63	70.8%	3	60.0%
ややそう思う	57	13.9%	1	8.3%	2	8.0%	11	14.1%	6	9.5%	4	13.8%	11	13.8%	6	22.2%	2	100.0%	13	14.6%	1	20.0%
どちらともいえない	28	6.8%	1	8.3%	2	8.0%	3	3.8%	7	11.1%	3	10.3%	3	3.8%	4	14.8%	0	0.0%	5	5.6%	0	0.0%
あまりそう思わない	1	0.2%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	6	1.5%	0	0.0%	1	4.0%	3	3.8%	1	1.6%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	7	1.7%	1	8.3%	1	4.0%	3	3.8%	1	1.6%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	15	3.7%	0	0.0%	1	4.0%	1	1.3%	0	0.0%	1	3.4%	2	2.5%	1	3.7%	0	0.0%	8	9.0%	1	20.0%
合計	410	100.0%	12	100.0%	25	100.0%	78	100.0%	63	100.0%	29	100.0%	80	100.0%	27	100.0%	2	100.0%	89	100.0%	5	100.0%

(10) 引きこもりの状態になるのは、本人や家族の責任だ

- 『思わない』は 35.8%、『思う』は 18.5%となっています。「どちらともいえない」が 41.7% (171 件) と最も多く、次いで「そう思わない」(22.4%・92 件)、「あまりそう思わない」(13.4%・55 件)、「ややそう思う」(12.4%・51 件)、「そう思う」(6.1%・25 件) の順になっています。
- 性別では、『思う』の肯定的認識は、男性は 27.6%、女性は 12.4%と男性が女性よりも 15.2 ポイント高く、男性の引きこもりは自己責任や家族の責任という意識が強く表れています。年齢層では、肯定的認識が「20 歳未満」(10.5%) の割合が最も低く、「20 歳～29 歳」(23.4%) が最も高くなっており、若年層の二極化が表れています。

図表.考え方 (N=410)



項目	件数	構成比(%)
そう思う	25	6.1%
ややそう思う	51	12.4%
どちらともいえない	171	41.7%
あまりそう思わない	55	13.4%
そう思わない	92	22.4%
無回答	16	3.9%
合計	410	100.0%

表.性別考え方

(1) ハンセン病回復者とは、一緒に食事や入浴をしない	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	24	5.9%	13	7.8%	11	4.6%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	25	6.1%	15	9.0%	10	4.1%	0	0.0%	0	0.0%
思う	49	12.0%	28	16.8%	21	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	146	35.6%	55	32.9%	91	37.8%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	73	17.8%	31	18.6%	42	17.4%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	120	29.3%	45	26.9%	74	30.7%	0	0.0%	1	50.0%
思わない	193	47.1%	76	45.5%	116	48.1%	0	0.0%	1	50.0%
無回答	22	5.4%	8	4.8%	13	5.4%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(2) 刑を終えて出所した人に対して、雇用や関わりを避ける	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	30	7.3%	14	8.4%	16	6.6%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	77	18.8%	30	18.0%	47	19.5%	0	0.0%	0	0.0%
思う	107	26.1%	44	26.4%	63	26.1%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	165	40.2%	57	34.1%	107	44.4%	0	0.0%	1	50.0%
あまりそう思わない	65	15.9%	28	16.8%	37	15.4%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	51	12.4%	27	16.2%	24	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	116	28.3%	55	33.0%	61	25.4%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	22	5.4%	11	6.6%	10	4.1%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(3) 犯罪被害者やその家族が、捜査や刑事裁判で精神的負担を受けないように保護するべきだ	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	238	58.0%	99	59.3%	139	57.7%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	93	22.7%	34	20.4%	58	24.1%	0	0.0%	1	50.0%
思う	331	80.7%	133	79.7%	197	81.8%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	43	10.5%	20	12.0%	23	9.5%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	6	1.5%	2	1.2%	4	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	15	3.7%	6	3.6%	9	3.7%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	21	5.2%	8	4.8%	13	5.4%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	15	3.7%	6	3.6%	8	3.3%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(4) 子どもたちの間で、インターネットやSNSを利用したい じめが発生している	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	215	52.4%	82	49.1%	133	55.2%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	106	25.9%	45	26.9%	61	25.3%	0	0.0%	0	0.0%
思う	321	78.3%	127	76.0%	194	80.5%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	39	9.5%	22	13.2%	17	7.1%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	9	2.2%	3	1.8%	5	2.1%	0	0.0%	1	50.0%
そう思わない	11	2.7%	5	3.0%	6	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	20	4.9%	8	4.8%	11	4.6%	0	0.0%	1	50.0%
無回答	30	7.3%	10	6.0%	19	7.9%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(5) インターネット上は、誰もが自由に書き込める場なので、 他人の誹謗中傷を書き込んでも問題はない	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	3	0.7%	1	0.6%	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	4	1.0%	2	1.2%	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
思う	7	1.7%	3	1.8%	4	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	15	3.7%	9	5.4%	6	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	29	7.1%	13	7.8%	16	6.6%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	343	83.7%	134	80.2%	208	86.3%	0	0.0%	1	50.0%
思わない	372	90.8%	147	88.0%	224	92.9%	0	0.0%	1	50.0%
無回答	16	3.9%	8	4.8%	7	2.9%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

表.性別考え方

(6) 結婚は、男性と男性、女性と女性などでも認められるべきだ	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	88	21.5%	29	17.4%	59	24.5%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	63	15.4%	22	13.2%	41	17.0%	0	0.0%	0	0.0%
思う	151	36.9%	51	30.6%	100	41.5%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	139	33.9%	58	34.7%	81	33.6%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	38	9.3%	14	8.4%	24	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	69	16.8%	38	22.8%	30	12.4%	0	0.0%	1	50.0%
思わない	107	26.1%	52	31.2%	54	22.4%	0	0.0%	1	50.0%
無回答	13	3.2%	6	3.6%	6	2.5%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(7) 家族から、LGBTQなどの性的マイノリティであることを打ち明けられても、意思を尊重し、変わりなく受け入れられる	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	94	22.9%	28	16.8%	66	27.4%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	79	19.3%	30	18.0%	49	20.3%	0	0.0%	0	0.0%
思う	173	42.2%	58	34.8%	115	47.7%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	153	37.3%	66	39.5%	87	36.1%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	21	5.1%	11	6.6%	10	4.1%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	37	9.0%	23	13.8%	13	5.4%	0	0.0%	1	50.0%
思わない	58	14.1%	34	20.4%	23	9.5%	0	0.0%	1	50.0%
無回答	26	6.3%	9	5.4%	16	6.6%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(8) 自殺の多くは、社会的に追い込まれた末の死である	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	94	22.9%	41	24.6%	52	21.6%	0	0.0%	1	50.0%
ややそう思う	94	22.9%	32	19.2%	62	25.7%	0	0.0%	0	0.0%
思う	188	45.8%	73	43.8%	114	47.3%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	142	34.6%	55	32.9%	87	36.1%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	34	8.3%	16	9.6%	18	7.5%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	29	7.1%	14	8.4%	15	6.2%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	63	15.4%	30	18.0%	33	13.7%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	17	4.1%	9	5.4%	7	2.9%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(9) 人前で部下を長時間にわたり大声で叱るのはハラスメントだ	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	303	73.9%	118	70.7%	184	76.3%	0	0.0%	1	50.0%
ややそう思う	57	13.9%	21	12.6%	36	14.9%	0	0.0%	0	0.0%
思う	360	87.8%	139	83.3%	220	91.2%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	28	6.8%	16	9.6%	12	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	1	0.2%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	6	1.5%	4	2.4%	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	7	1.7%	5	3.0%	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	15	3.7%	7	4.2%	7	2.9%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(10) 引きこもりの状態になるのは、本人や家族の責任だ	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	25	6.1%	16	9.6%	9	3.7%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	51	12.4%	30	18.0%	21	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
思う	76	18.5%	46	27.6%	30	12.4%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	171	41.7%	63	37.7%	108	44.8%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	55	13.4%	14	8.4%	41	17.0%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	92	22.4%	36	21.6%	55	22.8%	0	0.0%	1	50.0%
思わない	147	35.8%	50	30.0%	96	29.8%	0	0.0%	1	50.0%
無回答	16	3.9%	8	4.8%	7	2.9%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

表.年齢層別考え方

(1) ハンセン病回復者とは、一緒に食事や入浴をしない	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	24	5.9%	0	0.0%	2	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.7%	4	5.5%	10	11.0%	5	10.0%	0	0.0%
ややそう思う	25	6.1%	2	10.5%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	4	6.3%	7	9.6%	5	5.5%	6	12.0%	0	0.0%
思う	49	12.0%	2	10.5%	2	6.7%	1	4.5%	0	0.0%	7	10.9%	11	15.1%	15	16.5%	11	22.0%	0	0.0%
どちらともいえない	146	35.6%	11	57.9%	8	26.7%	9	40.9%	18	30.0%	23	35.9%	31	42.5%	34	37.4%	12	24.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	73	17.8%	2	10.5%	5	16.7%	5	22.7%	11	18.3%	10	15.6%	9	12.3%	24	26.4%	7	14.0%	0	0.0%
そう思わない	120	29.3%	4	21.1%	13	43.3%	5	22.7%	29	48.3%	22	34.4%	20	27.4%	15	16.5%	11	22.0%	1	100.0%
思わない	193	47.1%	6	31.6%	18	60.0%	10	45.4%	40	66.6%	32	50.0%	29	39.7%	39	42.9%	18	36.0%	1	100.0%
無回答	22	5.4%	0	0.0%	2	6.7%	2	9.1%	2	3.3%	2	3.1%	2	2.7%	3	3.3%	9	18.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(2) 刑を終えて出所した人に対して、雇用や関わりを避ける	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	30	7.3%	0	0.0%	1	3.3%	2	9.1%	5	8.3%	6	9.4%	4	5.5%	8	8.8%	4	8.0%	0	0.0%
ややそう思う	77	18.8%	4	21.1%	6	20.0%	5	22.7%	12	20.0%	12	18.8%	14	19.2%	17	18.7%	7	14.0%	0	0.0%
思う	107	26.1%	4	21.1%	7	23.3%	7	31.8%	17	28.3%	18	28.1%	18	24.7%	25	27.5%	11	22.0%	0	0.0%
どちらともいえない	165	40.2%	9	47.4%	10	33.3%	9	40.9%	30	50.0%	26	40.6%	29	39.7%	36	39.6%	15	30.0%	1	100.0%
あまりそう思わない	65	15.9%	5	26.3%	6	20.0%	2	9.1%	5	8.3%	10	15.6%	18	19.8%	9	18.0%	0	0.0%		
そう思わない	51	12.4%	1	5.3%	5	16.7%	3	13.6%	7	11.7%	9	14.1%	12	16.4%	9	9.9%	5	10.0%	0	0.0%
思わない	116	28.3%	6	31.6%	11	36.7%	5	22.7%	12	20.0%	19	29.7%	22	30.1%	27	29.7%	14	28.0%	0	0.0%
無回答	22	5.4%	0	0.0%	2	6.7%	1	4.5%	1	1.7%	1	1.6%	4	5.5%	3	3.3%	10	20.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(3) 犯罪被害者やその家族が、捜査や刑事裁判で精神的負担を受けないように保護するべきだ	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	238	58.0%	13	68.4%	20	66.7%	9	40.9%	37	61.7%	39	60.9%	38	52.1%	57	62.6%	25	50.0%	0	0.0%
ややそう思う	93	22.7%	3	15.8%	5	16.7%	8	36.4%	14	23.3%	18	28.1%	23	31.5%	12	13.2%	9	18.0%	1	100.0%
思う	331	80.7%	16	84.2%	25	83.4%	17	77.3%	51	85.0%	57	90.0%	61	83.6%	69	75.8%	34	68.0%	1	100.0%
どちらともいえない	43	10.5%	3	15.8%	1	3.3%	3	13.6%	5	8.3%	6	9.4%	7	9.6%	13	14.3%	5	10.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	6	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	3	3.3%	2	4.0%	0	0.0%
そう思わない	15	3.7%	0	0.0%	2	6.7%	1	4.5%	4	6.7%	1	1.6%	2	2.7%	4	4.4%	1	2.0%	0	0.0%
思わない	21	5.2%	0	0.0%	2	6.7%	1	4.5%	4	6.7%	1	1.6%	3	4.1%	7	7.7%	3	6.0%	0	0.0%
無回答	15	3.7%	0	0.0%	2	6.7%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.7%	2	2.2%	8	16.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(4) 子どもたちの間で、インターネットやSNSを利用したいいじめが発生している	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	215	52.4%	9	47.4%	18	60.0%	14	63.6%	38	63.3%	46	71.9%	41	56.2%	38	41.8%	11	22.0%	0	0.0%
ややそう思う	106	25.9%	6	31.6%	9	30.0%	3	13.6%	17	28.3%	9	14.1%	17	23.3%	36	39.6%	9	18.0%	0	0.0%
思う	321	78.3%	15	79.0%	27	90.0%	17	77.2%	55	91.6%	55	86.0%	58	79.5%	74	81.4%	20	40.0%	0	0.0%
どちらともいえない	39	9.5%	4	21.1%	1	3.3%	2	9.1%	3	5.0%	8	12.5%	8	11.0%	6	6.6%	7	14.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	9	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.1%	1	1.1%	4	8.0%	1	100.0%
そう思わない	11	2.7%	0	0.0%	1	3.3%	1	4.5%	2	3.3%	0	0.0%	2	2.7%	4	4.4%	1	2.0%	0	0.0%
思わない	20	4.9%	0	0.0%	1	3.3%	1	4.5%	2	3.3%	0	0.0%	5	6.8%	5	5.5%	5	10.0%	1	100.0%
無回答	30	7.3%	0	0.0%	1	3.3%	2	9.1%	0	0.0%	1	1.6%	2	2.7%	6	6.6%	18	36.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(5) インターネット上は、誰もが自由に書き込める場なので、他人の誹謗中傷を書き込んでも問題はない	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	3	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	1	1.1%	1	2.0%	0	0.0%
ややそう思う	4	1.0%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	1	1.7%	2	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
思う	7	1.7%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	1	1.7%	2	3.1%	1	1.4%	1	1.1%	1	2.0%	0	0.0%
どちらともいえない	15	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.1%	0	0.0%	1	1.6%	4	5.5%	5	5.5%	3	6.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	29	7.1%	2	10.5%	1	3.3%	5	22.7%	4	6.7%	5	7.8%	6	8.2%	3	3.3%	3	6.0%	0	0.0%
そう思わない	343	83.7%	17	89.5%	27	90.0%	14	63.6%	55	91.7%	56	87.5%	61	83.6%	79	86.8%	33	66.0%	1	100.0%
思わない	372	90.8%	19	100.0%	28	93.3%	19	86.3%	59	98.4%	61	95.3%	67	91.8%	82	90.1%	36	72.0%	1	100.0%
無回答	16	3.9%	0	0.0%	1	3.3%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	3	3.3%	10	20.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

表.年齢層別考え方

(6) 結婚は、男性と男性、女性と女性などでも認められるべきだ	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	88	21.5%	12	63.2%	13	43.3%	9	40.9%	15	25.0%	14	21.9%	16	21.9%	5	5.5%	4	8.0%	0	0.0%
ややそう思う	63	15.4%	2	10.5%	6	20.0%	8	36.4%	16	26.7%	7	10.9%	7	9.6%	12	13.2%	5	10.0%	0	0.0%
思う	151	36.9%	14	73.7%	19	63.3%	17	77.3%	31	51.7%	21	32.8%	23	31.5%	17	18.7%	9	18.0%	0	0.0%
どちらともいえない	139	33.9%	3	15.8%	6	20.0%	2	9.1%	20	33.3%	26	40.6%	31	42.5%	38	41.8%	13	26.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	38	9.3%	1	5.3%	1	3.3%	0	0.0%	2	3.3%	10	15.6%	4	5.5%	12	13.2%	8	16.0%	0	0.0%
そう思わない	69	16.8%	1	5.3%	3	10.0%	2	9.1%	7	11.7%	6	9.4%	14	19.2%	22	24.2%	13	26.0%	1	100.0%
思わない	107	26.1%	2	10.6%	4	13.3%	2	9.1%	9	15.0%	16	25.0%	18	24.7%	34	37.4%	21	42.0%	1	100.0%
無回答	13	3.2%	0	0.0%	1	3.3%	1	4.5%	0	0.0%	1	1.6%	1	1.4%	2	2.2%	7	14.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(7) 家族から、LGBTQなどの性的マイノリティであることを打ち明けられても、意思を尊重し、変わりなく受け入れられる	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	94	22.9%	14	73.7%	13	43.3%	6	27.3%	16	26.7%	15	23.4%	12	16.4%	13	14.3%	5	10.0%	0	0.0%
ややそう思う	79	19.3%	3	15.8%	7	23.3%	8	36.4%	18	30.0%	13	20.3%	13	17.8%	15	16.5%	2	4.0%	0	0.0%
思う	173	42.2%	17	89.5%	20	66.6%	14	63.7%	34	56.7%	28	43.7%	25	34.2%	28	30.8%	7	14.0%	0	0.0%
どちらともいえない	153	37.3%	1	5.3%	7	23.3%	5	22.7%	18	30.0%	29	45.3%	33	45.2%	42	46.2%	18	36.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	21	5.1%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	5.0%	3	4.7%	6	8.2%	4	4.4%	4	8.0%	0	0.0%
そう思わない	37	9.0%	0	0.0%	2	6.7%	2	9.1%	5	8.3%	2	3.1%	6	8.2%	12	13.2%	7	14.0%	1	100.0%
思わない	58	14.1%	1	5.3%	2	6.7%	2	9.1%	8	13.3%	5	7.8%	12	16.4%	16	17.6%	11	22.0%	1	100.0%
無回答	26	6.3%	0	0.0%	1	3.3%	1	4.5%	0	0.0%	2	3.1%	3	4.1%	5	5.5%	14	28.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(8) 自殺の多くは、社会的に追い込まれた末の死である	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	94	22.9%	3	15.8%	9	30.0%	5	22.7%	12	20.0%	16	25.0%	15	20.5%	23	25.3%	10	20.0%	1	100.0%
ややそう思う	94	22.9%	8	42.1%	8	26.7%	7	31.8%	18	30.0%	14	21.9%	12	16.4%	16	17.6%	11	22.0%	0	0.0%
思う	188	45.8%	11	57.9%	17	56.7%	12	54.5%	30	50.0%	30	46.9%	27	36.9%	39	42.9%	21	42.0%	1	100.0%
どちらともいえない	142	34.6%	8	42.1%	6	20.0%	7	31.8%	19	31.7%	25	39.1%	29	39.7%	35	38.5%	13	26.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	34	8.3%	0	0.0%	3	10.0%	1	4.5%	4	6.7%	5	7.8%	9	12.3%	8	8.8%	4	8.0%	0	0.0%
そう思わない	29	7.1%	0	0.0%	2	6.7%	1	4.5%	6	10.0%	4	6.3%	6	8.2%	6	6.6%	4	8.0%	0	0.0%
思わない	63	15.4%	0	0.0%	5	16.7%	2	9.0%	10	16.7%	9	14.1%	15	20.5%	14	15.4%	8	16.0%	0	0.0%
無回答	17	4.1%	0	0.0%	2	6.7%	1	4.5%	1	1.7%	0	0.0%	2	2.7%	3	3.3%	8	16.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(9) 人前で部下を長時間にわたり大声で叱るのはハラスメントだ	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	303	73.9%	12	63.2%	21	70.0%	16	72.7%	46	76.7%	52	81.3%	56	76.7%	69	75.8%	30	60.0%	1	100.0%
ややそう思う	57	13.9%	4	21.1%	6	20.0%	4	18.2%	9	15.0%	2	3.1%	10	13.7%	14	15.4%	8	16.0%	0	0.0%
思う	360	87.8%	16	84.3%	27	90.0%	20	90.9%	55	91.7%	54	84.4%	66	90.4%	83	91.2%	38	76.0%	1	100.0%
どちらともいえない	28	6.8%	3	15.8%	1	3.3%	0	0.0%	3	5.0%	7	10.9%	4	5.5%	6	6.6%	4	8.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	6	1.5%	0	0.0%	1	3.3%	1	4.5%	1	1.7%	2	3.1%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	7	1.7%	0	0.0%	1	3.3%	1	4.5%	1	1.7%	2	3.1%	1	1.4%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	15	3.7%	0	0.0%	1	3.3%	1	4.5%	1	1.7%	1	1.6%	2	2.7%	1	1.1%	8	16.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(10) 引きこもりの状態になるのは、本人や家族の責任だ	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	25	6.1%	0	0.0%	2	6.7%	2	9.1%	4	6.7%	3	4.7%	4	5.5%	6	6.6%	4	8.0%	0	0.0%
ややそう思う	51	12.4%	2	10.5%	5	16.7%	0	0.0%	6	10.0%	7	10.9%	10	13.7%	12	13.2%	9	18.0%	0	0.0%
思う	76	18.5%	2	10.5%	7	23.4%	2	9.1%	10	16.7%	10	15.6%	14	19.2%	18	19.8%	13	26.0%	0	0.0%
どちらともいえない	171	41.7%	10	52.6%	9	30.0%	11	50.0%	26	43.3%	31	48.4%	27	37.0%	42	46.2%	15	30.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	55	13.4%	4	21.1%	7	23.3%	2	9.1%	14	23.3%	5	7.8%	10	13.7%	6	6.6%	7	14.0%	0	0.0%
そう思わない	92	22.4%	3	15.8%	6	20.0%	6	27.3%	10	16.7%	17	26.6%	19	26.0%	22	24.2%	8	16.0%	1	100.0%
思わない	147	35.8%	7	36.9%	13	43.3%	8	36.4%	24	40.0%	22	34.4%	29	39.7%	28	30.8%	15	30.0%	1	100.0%
無回答	16	3.9%	0	0.0%	1	3.3%	1	4.5%	0	0.0%	1	1.6%	3	4.1%	3	3.3%	7	14.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

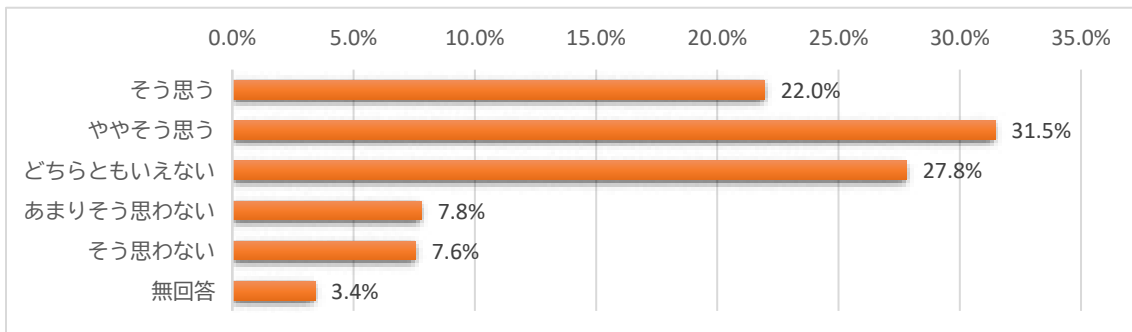
問 10 あなたは、今の社会について、次のような意見に対し、どのように思いますか

※回答者の主な傾向をみるため、『思う』を「そう思う」と「ややそう思う」の合計割合で、『思わない』を「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計割合でみています。

(1) 努力をしない人を社会が面倒を見るのはおかしい

- 『思う』は 53.5%、『思わない』は 15.4%と、半数が「努力をしない人を社会が面倒を見るのはおかしい」としています。「ややそう思う」が 31.5%（129 件）と最も多く、次いで「どちらともいえない」（27.8%・114 件）、「そう思う」（22.0%・90 件）、「あまりそう思わない」（7.8%・32 件）、「そう思わない」（7.6%・31 件）の順になっています。
- 「努力をしない人を社会が面倒を見るのはおかしい」と『思う』の肯定的認識を年齢層でみると、「50歳未満」では「50歳以上」の年齢層に比べ肯定的認識の割合が比較的高い傾向が表れています。なかでも「30歳～39歳」（63.7%）と「40歳～49歳」（58.4%）の稼働年齢層で特に強く表れています。自らの努力で成果を出すという自負の意識から、結果の不平等は自己責任であると考えられる傾向がみられます。

図表「努力をしない人を社会が面倒を見るのはおかしい」への意識（N=410）



項目	件数	構成比(%)
そう思う	90	22.0%
ややそう思う	129	31.5%
どちらともいえない	114	27.8%
あまりそう思わない	32	7.8%
そう思わない	31	7.6%
無回答	14	3.4%
合計	410	100.0%

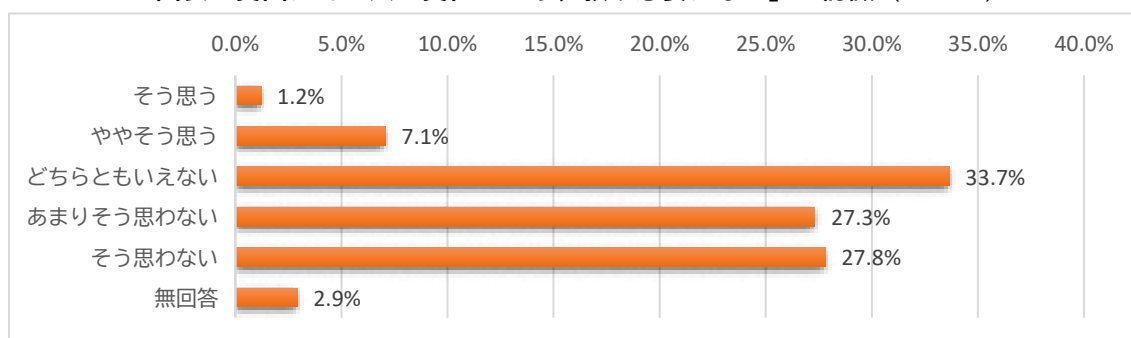
表 年齢別「努力をしない人を社会が面倒を見るのはおかしい」の意識

(1) 努力をしない人を社会が面倒を見るのはおかしい	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	90	22.0%	2	10.5%	8	26.7%	8	36.4%	16	26.7%	13	20.3%	15	20.5%	16	17.6%	11	22.0%	1	100.0%
ややそう思う	129	31.5%	9	47.4%	9	30.0%	6	27.3%	19	31.7%	21	32.8%	23	31.5%	28	30.8%	14	28.0%	0	0.0%
思う	219	53.5%	11	57.9%	17	56.7%	14	63.7%	35	58.4%	34	53.1%	38	52.0%	44	48.4%	25	50.0%	1	100.0%
どちらともいえない	114	27.8%	6	31.6%	9	30.0%	6	27.3%	22	36.7%	22	34.4%	18	24.7%	23	25.3%	8	16.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	32	7.8%	1	5.3%	2	6.7%	0	0.0%	3	5.0%	4	6.3%	3	4.1%	11	12.1%	8	16.0%	0	0.0%
そう思わない	31	7.6%	1	5.3%	2	6.7%	1	4.5%	0	0.0%	4	6.3%	10	13.7%	10	11.0%	3	6.0%	0	0.0%
思わない	63	15.4%	2	10.6%	4	13.4%	1	4.5%	3	5.0%	8	12.6%	13	17.8%	21	23.1%	11	22.0%	0	0.0%
無回答	14	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	4	5.5%	3	3.3%	6	12.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(2) 貧困はその人の責任だから、救う必要はない

- 『思わない』は55.1%、『思う』は8.3%と否定的認識が半数を占めています。「どちらともいえない」が33.7%（138件）と最も多く、次いで「そう思わない」（27.8%・114件）、「あまりそう思わない」（27.3%・112件）、「ややそう思う」（7.1%・29件）、「そう思う」（1.2%・5件）の順になっています。
- 年齢層では、『思わない』の否定的認識は「20歳未満」（78.9%）、「20～29歳」（73.3%）と若年層が、「30歳～39歳」以降の年齢層に比較して割合が顕著に高くなっています。貧困は単なる金銭的・物質的な欠乏にとどまらず、社会とのつながりを失いかける（社会的排除）ことが問題を深刻化させており、社会的排除のない全ての人が包摂されることが求められています。若年層は他の年齢層に比較し、貧困に対して排除でなく、包摂への意識が強く表れていると考えられます。

図表「貧困はその人の責任だから、救う必要はない」の認識（N=410）



項目	件数	構成比(%)
そう思う	5	1.2%
ややそう思う	29	7.1%
どちらともいえない	138	33.7%
あまりそう思わない	112	27.3%
そう思わない	114	27.8%
無回答	12	2.9%
合計	410	100.0%

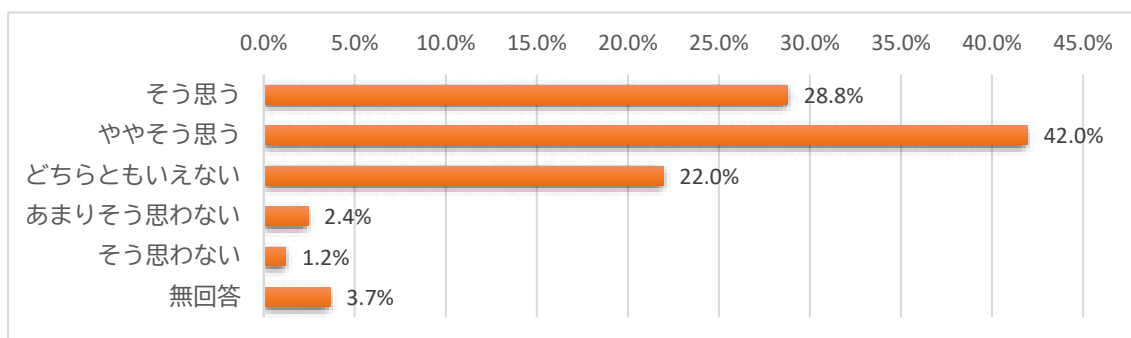
表 年齢別「貧困はその人の責任だから、救う必要はない」の認識

(2) 貧困はその人の責任だから、救う必要はない	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	5	1.2%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	1	1.1%	2	4.0%	0	0.0%
ややそう思う	29	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	13.6%	2	3.3%	6	9.4%	9	12.3%	6	6.6%	3	6.0%	0	0.0%
思う	34	8.3%	0	0.0%	1	3.3%	3	13.6%	2	3.3%	7	11.0%	9	12.3%	7	7.7%	5	10.0%	0	0.0%
どちらともいえない	138	33.7%	4	21.1%	7	23.3%	7	31.8%	21	35.0%	27	42.2%	26	35.6%	30	33.0%	15	30.0%	1	100.0%
あまりそう思わない	112	27.3%	7	36.8%	13	43.3%	7	31.8%	25	41.7%	16	25.0%	16	21.9%	21	23.1%	7	14.0%	0	0.0%
そう思わない	114	27.8%	8	42.1%	9	30.0%	4	18.2%	12	20.0%	14	21.9%	20	27.4%	32	35.2%	15	30.0%	0	0.0%
思わない	226	55.1%	15	78.9%	22	73.3%	11	50.0%	37	61.7%	30	46.9%	36	49.3%	53	58.3%	22	44.0%	0	0.0%
無回答	12	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.7%	1	1.1%	8	16.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(3) 人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた

- 『思う』は70.8%、『思わない』は3.6%と、「権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」と7割の人が思っています。「ややそう思う」が42.0% (172件) と最も多く、次いで「そう思う」(28.8%・118件.)、「どちらともいえない」(22.0%・90件)、「あまりそう思わない」(2.4%・10件)、「そう思わない」(1.2%・5件)の順になっています。
- 年齢層で見ると『思う』の肯定的認識は「20歳未満」(42.1%)の割合が顕著に低く、「40～49歳」(83.4%)が最も高くなっていますが、総じて30歳から69歳の年齢層では7割以上を占めています。

図表「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」への意識 (N=410)



項目	件数	構成比(%)
そう思う	118	28.8%
ややそう思う	172	42.0%
どちらともいえない	90	22.0%
あまりそう思わない	10	2.4%
そう思わない	5	1.2%
無回答	15	3.7%
合計	410	100.0%

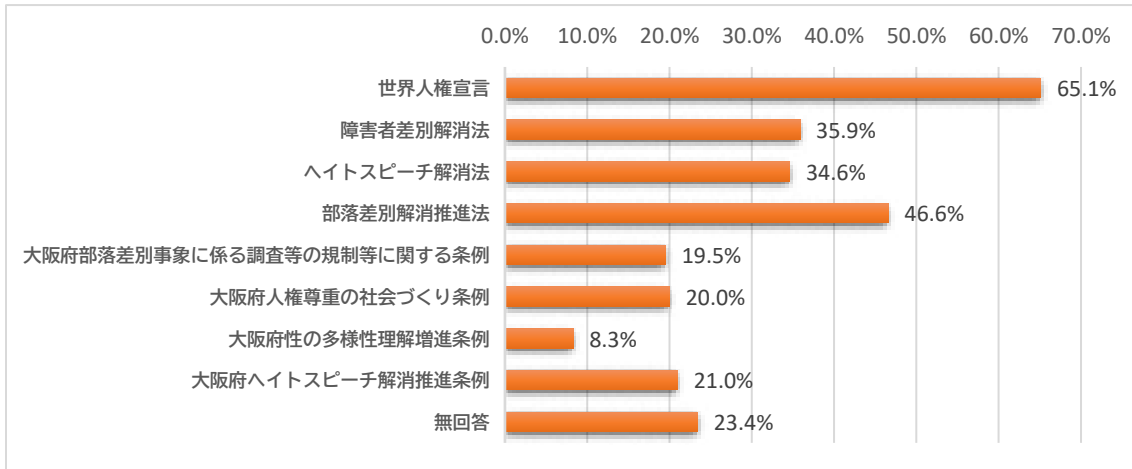
表 年齢別「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」の認識

(3) 人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	118	28.8%	2	10.5%	7	23.3%	8	36.4%	16	26.7%	25	39.1%	22	30.1%	23	25.3%	15	30.0%	0	0.0%
ややそう思う	172	42.0%	6	31.6%	12	40.0%	8	36.4%	34	56.7%	26	40.6%	33	45.2%	39	42.9%	13	26.0%	1	100.0%
思う	290	70.8%	8	42.1%	19	63.3%	16	72.8%	50	83.4%	51	79.7%	55	75.3%	62	68.2%	28	56.0%	1	100.0%
どちらともいえない	90	22.0%	11	57.9%	10	33.3%	5	22.7%	9	15.0%	13	20.3%	13	17.8%	20	22.0%	9	18.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	10	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	1	1.4%	4	4.4%	4	8.0%	0	0.0%
そう思わない	5	1.2%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	3	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	15	3.6%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	2	2.8%	7	7.7%	4	8.0%	0	0.0%
無回答	15	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.1%	2	2.2%	9	18.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

問 11 あなたは、次の人権に関する法律や条例等があることを知っていますか

人権に関する法律や条例の認知度の上位 5 位は、①世界人権宣言 (65.1%・267 件) ②部落差別解消推進法 (46.6%・191 件) ③障害者差別解消法 (35.9%・147 件) ④ヘイトスピーチ解消法 (34.6%・142 件) ⑤大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例 (21.0%・86 件) と、世界人権宣言の認知度が顕著に高く、また法律の認知度が条例よりも高くなっています。法律・条例の中で最も認知度が低いのは大阪府性の多様性理解推進条例 (8.3%・34 件) となっています。

図表.人権に関する法律や条例の認知度 (N=410 複数回答)



項目	件数	構成比(%)
世界人権宣言	267	65.1%
障害者差別解消法	147	35.9%
ハイトスピーチ解消法	142	34.6%
部落差別解消推進法	191	46.6%
大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例	80	19.5%
大阪府人権尊重の社会づくり条例	82	20.0%
大阪府性の多様性理解増進条例	34	8.3%
大阪府ハイトスピーチ解消推進条例	86	21.0%
無回答	96	23.4%
合計	1,125	

問 12 あなたは、太子町や太子町人権協会が行う人権に関する事業等について、どれを知っていますか。また、太子町人権啓発推進大会等 4 つの大会や講演会等の参加経験はありますか

【認知度】

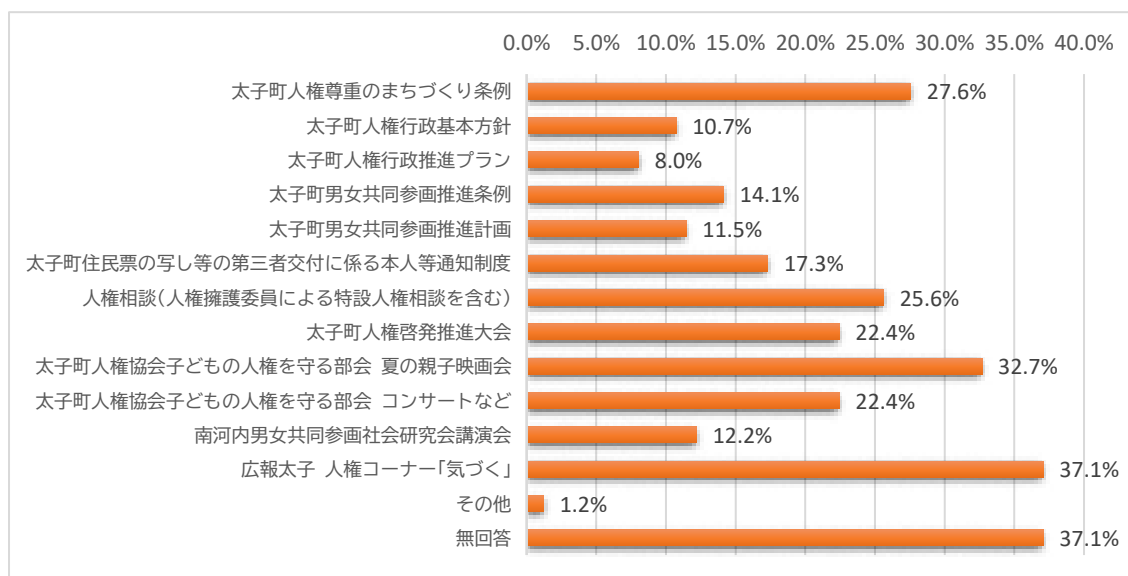
- 人権に関する事業の上位 5 位は、①広報太子 人権コーナー「気づく」(37.1%・152 件) ②太子町人権協会子どもの人権を守る部会 夏の親子映画会 (32.7%・134 件) ③太子町人権尊重のまちづくり条例 (27.6%・113 件) ④人権相談 (25.6%・105 件) ⑤太子町人権啓発推進大会、太子町人権協会子どもの人権を守る部会コンサートなど (いずれも 22.4%・92 件) となっています。総じて条例や計画以上に映画会、講演会などイベントの認知度が高いことが表れています。

その他：そんな事より 10 万円の給付が河南、千早より遅いのはなぜ？ 人権侵

害ではないのか

- ・聞いた事はあるが具体的には知らない
- ・誰も人権に関する事は知らないから人の悪口傷つく事言うと思います

図表.人権に関する事業の認知度 (N=410 複数回答)



項目	件数	構成比(%)
太子町人権尊重のまちづくり条例	113	27.6%
太子町人権行政基本方針	44	10.7%
太子町人権行政推進プラン	33	8.0%
太子町男女共同参画推進条例	58	14.1%
太子町男女共同参画推進計画	47	11.5%
太子町住民票の写し等の第三者交付に係る本人等通知制度	71	17.3%
人権相談(人権擁護委員による特設人権相談を含む)	105	25.6%
太子町人権啓発推進大会	92	22.4%
太子町人権協会子どもの人権を守る部会 夏の親子映画会	134	32.7%
太子町人権協会子どもの人権を守る部会 コンサートなど	92	22.4%
南河内男女共同参画社会研究会講演会	50	12.2%
広報太子 人権コーナー「気づく」	152	37.1%
その他	5	1.2%
無回答	152	37.1%
合計	1,148	

【参加経験】

- ・太子町人権啓発推進大会の「参加」は 33.7%
- ・太子町人権協会子どもの人権を守る部会 夏の親子映画会の「参加」は 55.2%
- ・太子町人権協会子どもの人権を守る部会 コンサートなどの「参加」は 50.0%

・南河内男女共同参画社会研究会講演会の「参加」は42.0%

問 13 太子町は、次の人権課題について「人権が尊重されるまち」であると思いますか

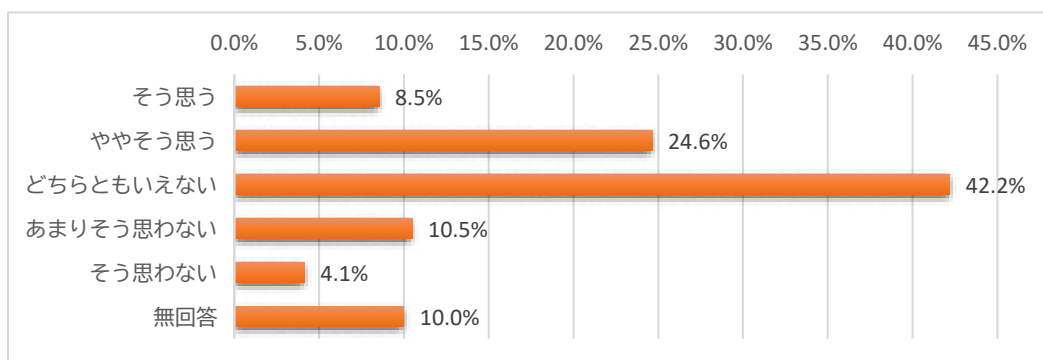
※回答者の主な傾向をみるため、『思う』を「そう思う」と「ややそう思う」の合計割合で、『思わない』を「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計割合でみています。

【男女共同参画】

(1) 男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである

- 『思う』は33.1%、『思わない』は14.6%と、3人に1人が「男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまち」と評価をしています。「どちらともいえない」が42.2%（173件）と最も多く、次いで「ややそう思う」（24.6%・101件）、「あまりそう思わない」（10.5%・43件）、「そう思う」（8.5%・35件）、「そう思わない」（4.1%・17件）の順になっています。
- 性別では、『思う』の肯定的評価は男性31.8%、女性34.5%と女性の評価が高くなっています。ただ、「どちらともいえない」が男性、女性とも4割も占めています。年齢層では、肯定的評価は「20歳未満」（47.3%）の割合が顕著に高くなっているものの、各年齢層とも3割前後を占め、年齢層による大きな変化はみられません。

図表. 「男性が女性とともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまち」について(N=410)

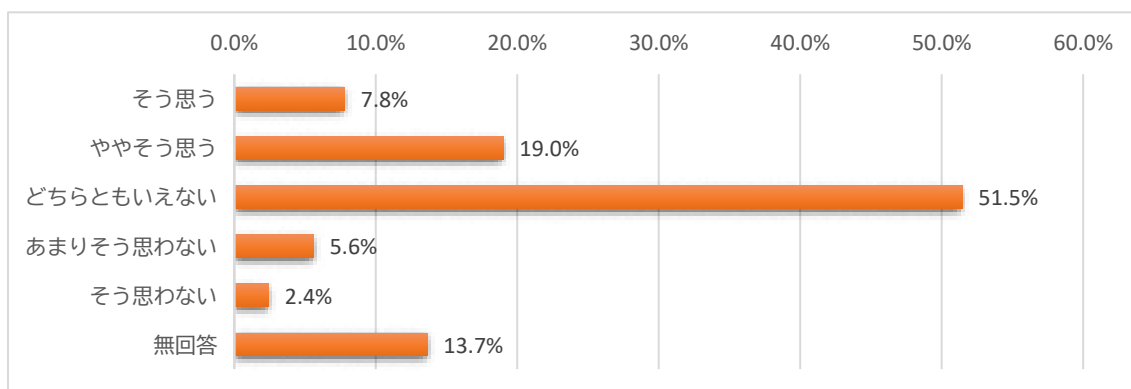


項目	件数	構成比(%)
そう思う	35	8.5%
ややそう思う	101	24.6%
どちらともいえない	173	42.2%
あまりそう思わない	43	10.5%
そう思わない	17	4.1%
無回答	41	10.0%
合計	410	100.0%

(2) 配偶者・パートナーなどからの暴力（DV）の相談が受けられ、安心して暮らせるまちである

- 『思う』は26.8%、『思わない』は8.0%と4人に1人が「配偶者・パートナーなどからの暴力（DV）の相談が受けられ、安心して暮らせるまち」として評価しています。「どちらともいえない」は51.5%と、(211件)と最も多く、次いで「ややそう思う」(19.0%・78件)、「そう思う」(7.8%・32件)、「あまりそう思わない」(5.6%・23件)、「そう思わない」(2.4%・10件)の順になっています。
- 性別では、『思う』の肯定的評価は男性が21.0%、女性が30.7%と女性が9.7ポイント高く、男性以上の評価を示しています。年齢層では、肯定的評価が「20歳未満」(31.5%)、「20歳～29歳」(36.6%)と若年層が他の年齢層よりも評価の割合が高くなっています。

図表.「配偶者・パートナーなどからの暴力（DV）の相談が受けられ、安心して暮らせるまち」について(N=410)



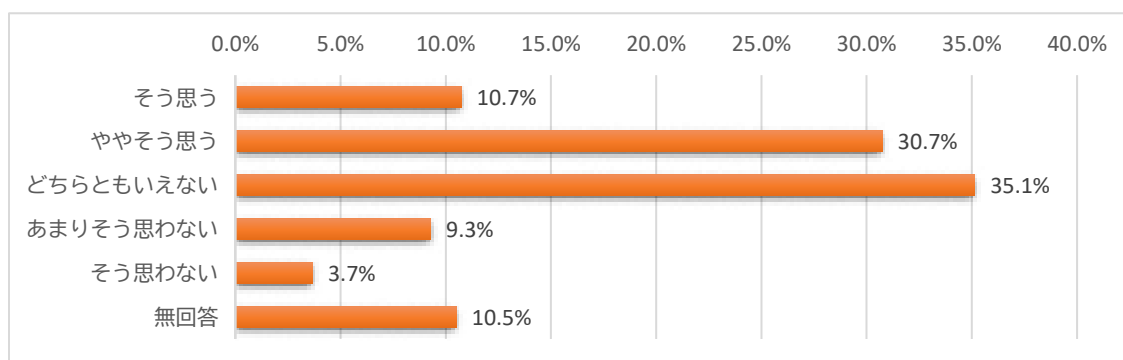
項目	件数	構成比(%)
そう思う	32	7.8%
ややそう思う	78	19.0%
どちらともいえない	211	51.5%
あまりそう思わない	23	5.6%
そう思わない	10	2.4%
無回答	56	13.7%
合計	410	100.0%

【子ども・子育て】

(3) 子どもが各々の個性を発揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである

- 『思う』は41.4%、『思わない』は13.0%と「子どもが各々の個性を発揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまち」として4割が評価をしています。「どちらともいえない」が35.1%（144件）と最も多く、次いで「ややそう思う」（30.7%・126件）、「そう思う」（10.7%・44件）、「あまりそう思わない」（9.3%・38件）、「そう思わない」（3.7%・15件）の順になっています。
- 性別では、『思う』の肯定的評価は男性36.5%、女性が44.8%と女性の評価が男性よりも高くなっています。年齢層では、「20歳未満」（47.4%）、「20歳～29歳」（53.3%）と若年層の割合がその他の年齢層よりも高くなっています。

図表. 「子どもが各々の個性を発揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまち」について(N=410)



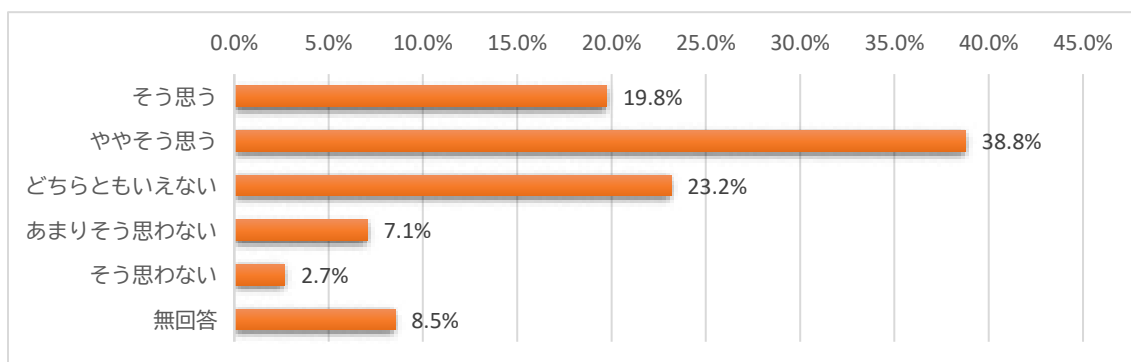
項目	件数	構成比(%)
そう思う	44	10.7%
ややそう思う	126	30.7%
どちらともいえない	144	35.1%
あまりそう思わない	38	9.3%
そう思わない	15	3.7%
無回答	43	10.5%
合計	410	100.0%

(4) 子育て家庭が安心して子どもを産み育てられるまちである

- 『思う』は58.6%、『思わない』は9.8%と半数が「子育て家庭が安心して子どもを産み育てられるまち」と評価をしており、また「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」に次いで評価は高くなっています。「ややそう思う」が38.8%（159件）と最も多く、次いで「どちらともいえない」（23.2%・95件）、「そう思う」（19.8%・81件）、「あまりそう思わない」（7.1%・29件）、「そう思わない」（2.7%・11件）の順になっています。

- **性別**では、『思う』の肯定的評価は男性が53.9%、女性が61.9%と女性が男性よりも8.0ポイント高くなっています。**年齢層**では、肯定的評価は「20歳～29歳」(76.6%)の割合が顕著に高く、次いで「40～49歳」(65.0%)、「20歳未満」(63.2%)といわば子育て世代の評価が高くなっています。

図表. 「子育て家庭が安心して子どもを産み育てられるまち」について(N=410)



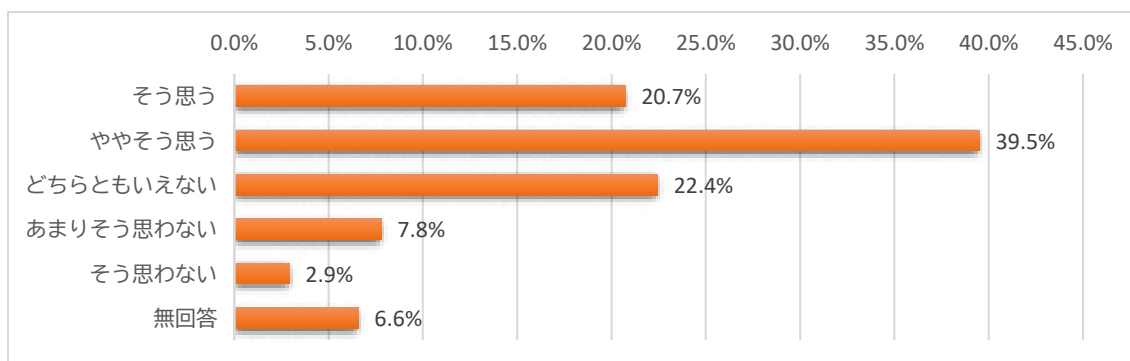
項目	件数	構成比(%)
そう思う	81	19.8%
ややそう思う	159	38.8%
どちらともいえない	95	23.2%
あまりそう思わない	29	7.1%
そう思わない	11	2.7%
無回答	35	8.5%
合計	410	100.0%

【高齢者】

(5) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである

- 『思う』は60.2%、『思わない』は10.7%と、「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」として6割が評価しており、また人権が尊重されるまちの中で最も評価が高くなっています。「ややそう思う」が39.5% (162件) と最も多く、次いで「どちらともいえない」(22.4%・92件)、「そう思う」(20.7%・85件)、「あまりそう思わない」(7.8%・32件)、「そう思わない」(2.9%・12件)の順になっています。
- **性別**では、『思う』の肯定的評価は男性が57.5%、女性が62.2%と若干女性の評価が高くなっています。**年齢層**では高齢当事者よりも、「20歳未満」(73.7%)、「20歳～29歳」(76.7%)と若年層の評価が顕著に高くなっています。

図表.「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」について(N=410)

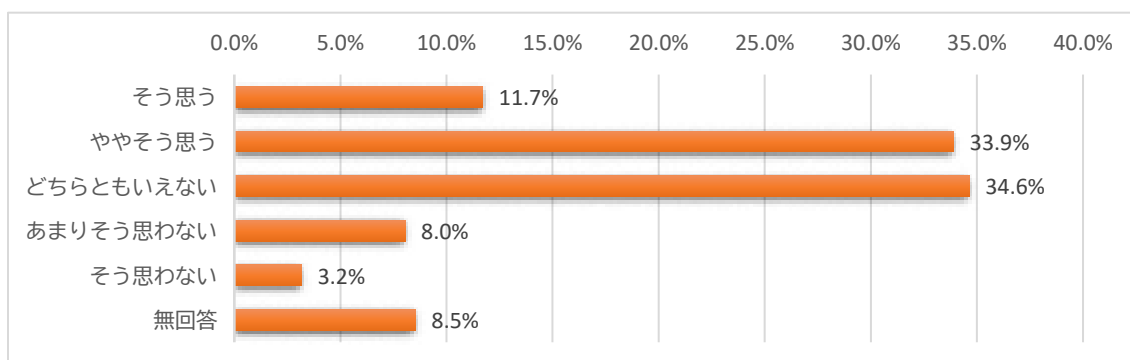


項目	件数	構成比(%)
そう思う	85	20.7%
ややそう思う	162	39.5%
どちらともいえない	92	22.4%
あまりそう思わない	32	7.8%
そう思わない	12	2.9%
無回答	27	6.6%
合計	410	100.0%

(6) 高齢者がさまざまな活動の場に恵まれ、社会参加を通じ、生きがいを持って暮らせるまちである

- 『思う』は45.6%、『思わない』は11.2%と、4割以上が「高齢者がさまざまな活動の場に恵まれ、社会参加を通じ、生きがいを持って暮らせるまち」と評価しています。ただ、「安心して暮らせるまち」よりも評価は低くなっています。「どちらともいえない」が34.6%（142件）と最も多く、次いで「ややそう思う」（33.9%・139件）、「そう思う」（11.7%・48件）、「あまりそう思わない」（8.0%・33件）、「そう思わない」（3.2%・13件）の順になっています。
- 性別で、『思う』の肯定的評価は男性が40.7%、女性が48.9%と、女性の評価が8.2ポイント高くなっています。年齢層では、「20歳未満」が63.2%と顕著に高い評価をしています。高齢当事者は半数に満たない評価をしています。

図表.「高齢者がさまざまな活動の場に恵まれ、社会参加を通じ、生きがいを持って暮らせるまち」について(N=410)



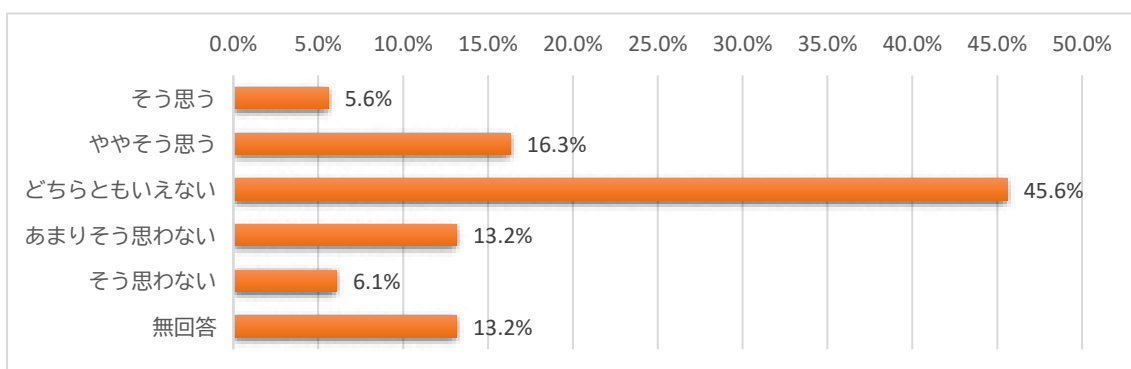
項目	件数	構成比(%)
そう思う	48	11.7%
ややそう思う	139	33.9%
どちらともいえない	142	34.6%
あまりそう思わない	33	8.0%
そう思わない	13	3.2%
無回答	35	8.5%
合計	410	100.0%

【障がい児・者】

(7) 障がいのある人が就労の機会に恵まれ、自立した生活を営めるまちである

- 『思う』は21.9%、『思わない』は19.3%と、「障がいのある人が就労の機会に恵まれ、自立した生活を営めるまち」の評価は2割となっています。「どちらともいえない」が45.6%（187件）と最も多く、次いで「ややそう思う」（16.3%・67件）、「あまりそう思わない」（13.2%・54件）、「そう思わない」（6.1%・25件）、「そう思う」（5.6%・23件）の順になっています。
- 性別では肯定的評価が男性は18.0%、女性が24.5%と女性の評価が若干高くなっています。年齢層で、肯定的評価と否定的評価を比較すると、「20歳～29歳」「30歳～39歳」「40歳～49歳」の年齢層では否定的評価が肯定的評価よりも割合が高くなっており、これら稼働年齢層は「障がい者が自立した生活を営めるまち」に対し厳しい評価をしています。

図表. 「障がいのある人が就労の機会に恵まれ、自立した生活を営めるまち」について(N=410)

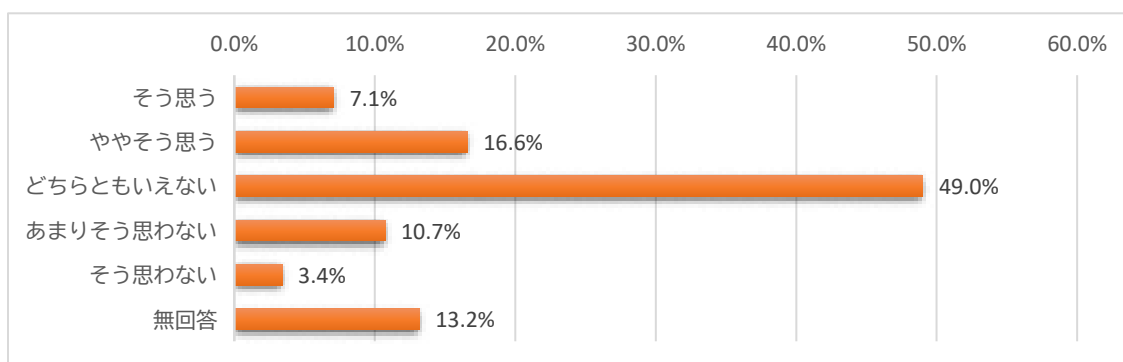


項目	件数	構成比(%)
そう思う	23	5.6%
ややそう思う	67	16.3%
どちらともいえない	187	45.6%
あまりそう思わない	54	13.2%
そう思わない	25	6.1%
無回答	54	13.2%
合計	410	100.0%

(8) 障がいのある人がさまざまな相談ができ、安心して生活を営めるまちである

- 『思う』は23.7%、『思わない』は14.1%となっています。「どちらともいえない」が49.0%（201件）と最も多く、次いで「ややそう思う」（16.6%・68件）、「あまりそう思わない」（10.7%・44件）、「そう思う」（7.1%・29件）、「そう思わない」（3.4%・14件）の順になっています。
- 性別では、『思う』の肯定的評価は男性が17.4%、女性が27.8%と女性の割合が高くなっていますが、『思わない』の否定的評価では男性が19.2%、女性が10.8%と男性が女性を上回っています。さらに男性では否定的評価が肯定的評価より割合が若干高くなっており、自立した生活と同様に、安心して生活を営めるまちに対しても厳しい評価をしています。年齢別でみると、「20歳未満」（42.2%）では肯定的評価が年齢層で最も高い反面、否定的評価の割合が「20歳～29歳」を除き高くなっています。「20歳～29歳」は肯定的評価が否定的評価を唯一上回っています。

図表.「障がいのある人がさまざまな相談ができ、安心して生活を営めるまち」について (N=410)



項目	件数	構成比 (%)
そう思う	29	7.1%
ややそう思う	68	16.6%
どちらともいえない	201	49.0%
あまりそう思わない	44	10.7%
そう思わない	14	3.4%
無回答	54	13.2%
合計	410	100.0%

【外国人】

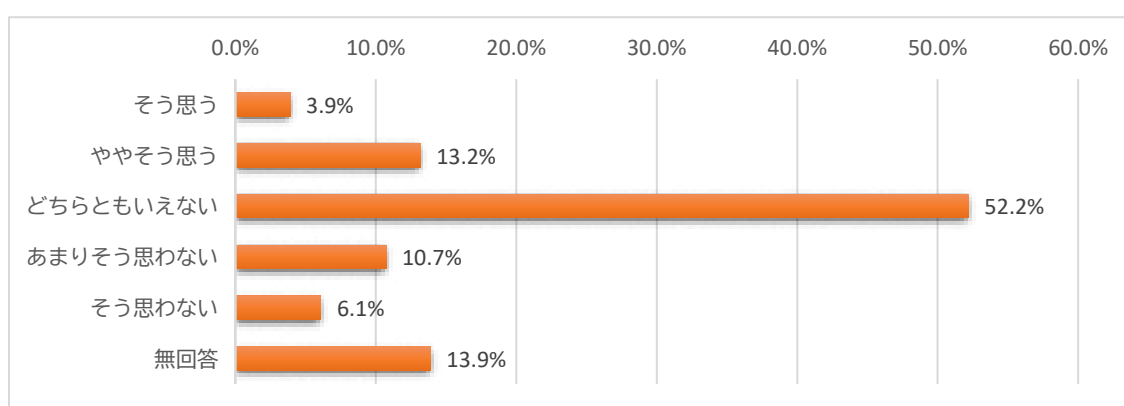
(9) 外国人が地域社会の一員として、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまちである

- 『思う』は17.1%、『思わない』は16.8%となっています。「どちらともいえない」が52.2%（214件）と最も多く、次いで「ややそう思う」（13.2%・54件）、「あまり

「そう思う」(3.9%・16件)の順になっています。

- **性別**では、『思う』の肯定的評価は、男性が15.0%、女性が18.7%、否定的評価は男性22.8%、女性は12.8%と、男性の『思わない』の否定的評価の割合が肯定的評価よりも高くなっています。**年齢層**では、否定的評価が肯定的評価を上回っている年齢層は「20歳～29歳」「30歳～39歳」「40～49歳」で、なかでも「30歳～39歳」では否定的評価が肯定的評価を22.8ポイントと顕著に上回っています。

図表.「外国人が地域社会の一員として、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまち」について(N=410)



項目	件数	構成比 (%)
そう思う	16	3.9%
ややそう思う	54	13.2%
どちらともいえない	214	52.2%
あまりそう思わない	44	10.7%
そう思わない	25	6.1%
無回答	57	13.9%
合計	410	100.0%

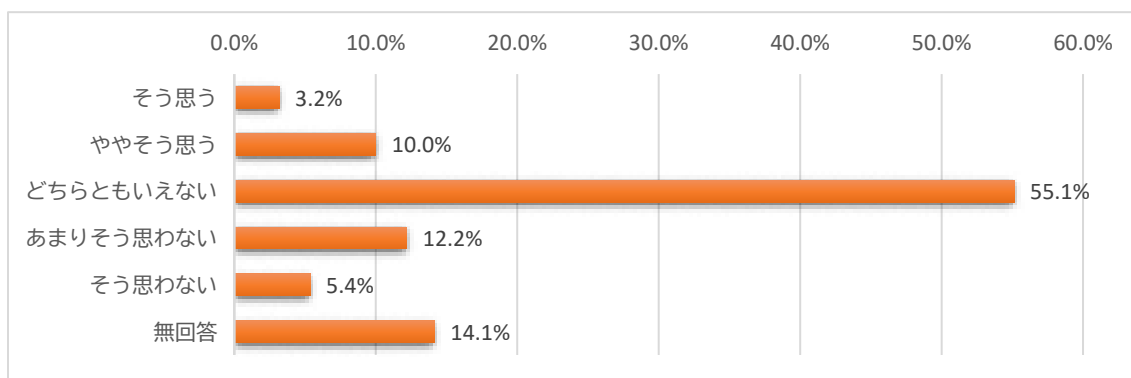
【犯罪被害者等】

(10) 犯罪被害者やその家族が再び平穏に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまちである

- 『思う』は13.2%、『思わない』は17.6%と否定的評価が肯定的評価を上回っており、「犯罪被害者やその家族が地域の人々の理解や協力を得られるまち」に対して厳しい評価がされています。「どちらともいえない」が55.1% (226件)と最も多く、次いで「あまりそう思わない」(12.2%・50件)、「ややそう思う」(10.0%・41件)、「そう思わない」(5.4%・22件)、「そう思う」(3.2%・13件)の順になっています。

- **性別**では、男性、女性とも『思わない』の否定的評価が『思う』の肯定的評価を上回っています。**年齢層**においても、各年齢層で同様の傾向が表れています。なかでも、「20歳～29歳」では10.0ポイント、「60歳～69歳」では8.3ポイントと顕著に割合が高くなっています。

図表. 「犯罪被害者やその家族が再び平穏に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまち」について(N=410)



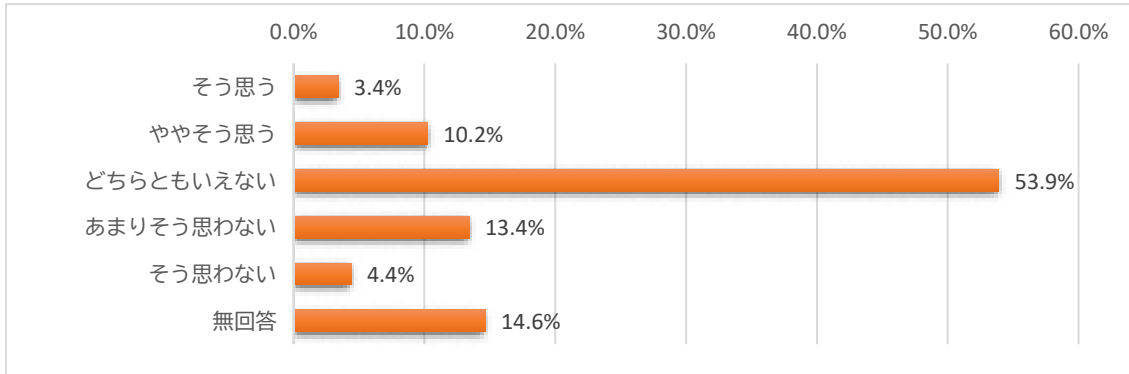
項目	件数	構成比(%)
そう思う	13	3.2%
ややそう思う	41	10.0%
どちらともいえない	226	55.1%
あまりそう思わない	50	12.2%
そう思わない	22	5.4%
無回答	58	14.1%
合計	410	100.0%

【性的マイノリティ】

(11) L G B T Qなどの性的マイノリティの人が差別を受けることなく、自分らしく生きることができるまちである

- 『思う』は13.6%、『思わない』は17.8%と『思わない』が『思う』より4.2ポイント割合が高く、「性的マイノリティが、自分らしく生きることができるまち」への評価は厳しくなっています。「どちらともいえない」が53.9%（221件）と最も多く、次いで「あまりそう思わない」（13.4%・55件）、「ややそう思う」（10.2%・42件）、「そう思わない」（4.4%・18件）、「そう思う」（3.4%・14件）の順になっています。
- **性別**では、『思う』の肯定的評価は男性が11.4%、女性は15.3%、『思わない』の否定的評価は男性が19.8%、女性は16.5%と、男性・女性とも否定的評価の割合が高くなっています。**年齢層**では、総じて否定的評価が肯定的評価を上回っており、なかでも「40歳～49歳」は16.7ポイント、「60歳～69歳」10.4ポイントと年齢層では顕著に割合が高くなっています。

図表. L G B T Qなど性的マイノリティの人が差別を受けることなく、自分らしく生きることが出来るまち」について(N=410)



項目	件数	構成比(%)
そう思う	14	3.4%
ややそう思う	42	10.2%
どちらともいえない	221	53.9%
あまりそう思わない	55	13.4%
そう思わない	18	4.4%
無回答	60	14.6%
合計	410	100.0%

表.性別考え方

(1) 男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	35	8.5%	17	10.2%	18	7.5%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	101	24.6%	36	21.6%	65	27.0%	0	0.0%	0	0.0%
思う	136	33.1%	53	31.8%	83	34.5%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	173	42.2%	74	44.3%	99	41.1%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	43	10.5%	19	11.4%	24	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	17	4.1%	8	4.8%	9	3.7%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	60	14.6%	27	16.2%	33	13.7%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	41	10.0%	13	7.8%	26	10.8%	0	0.0%	2	100.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(2) 配偶者・パートナーなどからの暴力(DV)の相談が受けられ、安心して暮らせるまちである	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	32	7.8%	12	7.2%	19	7.9%	0	0.0%	1	50.0%
ややそう思う	78	19.0%	23	13.8%	55	22.8%	0	0.0%	0	0.0%
思う	110	26.8%	35	21.0%	74	30.7%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	211	51.5%	98	58.7%	113	46.9%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	23	5.6%	11	6.6%	12	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	10	2.4%	3	1.8%	7	2.9%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	33	8.0%	14	8.4%	19	7.9%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	56	13.7%	20	12.0%	35	14.5%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(3) 子どもが各々の個性を発揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	44	10.7%	13	7.8%	30	12.4%	0	0.0%	1	50.0%
ややそう思う	126	30.7%	48	28.7%	78	32.4%	0	0.0%	0	0.0%
思う	170	41.4%	61	36.5%	108	44.8%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	144	35.1%	58	34.7%	86	35.7%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	38	9.3%	20	12.0%	18	7.5%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	15	3.7%	10	6.0%	5	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	53	13.0%	30	18.0%	23	9.6%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	43	10.5%	18	10.8%	24	10.0%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(4) 子育て家庭が安心して子どもを産み育てられるまちである	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	81	19.8%	29	17.4%	51	21.2%	0	0.0%	1	50.0%
ややそう思う	159	38.8%	61	36.5%	98	40.7%	0	0.0%	0	0.0%
思う	240	58.6%	90	53.9%	149	61.9%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	95	23.2%	40	24.0%	55	22.8%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	29	7.1%	17	10.2%	12	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	11	2.7%	7	4.2%	4	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	40	9.8%	24	14.4%	16	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	35	8.5%	13	7.8%	21	8.7%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(5) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	85	20.7%	30	18.0%	54	22.4%	0	0.0%	1	50.0%
ややそう思う	162	39.5%	66	39.5%	96	39.8%	0	0.0%	0	0.0%
思う	247	60.2%	96	57.5%	150	62.2%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	92	22.4%	41	24.6%	51	21.2%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	32	7.8%	14	8.4%	18	7.5%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	12	2.9%	6	3.6%	6	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	44	10.7%	20	12.0%	24	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	27	6.6%	10	6.0%	16	6.6%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(6) 高齢者がさまざまな活動の場に恵まれ、社会参加を通じ、生きがいを持って暮らせるまちである	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	48	11.7%	19	11.4%	28	11.6%	0	0.0%	1	50.0%
ややそう思う	139	33.9%	49	29.3%	90	37.3%	0	0.0%	0	0.0%
思う	187	45.6%	68	40.7%	118	48.9%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	142	34.6%	62	37.1%	80	33.2%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	33	8.0%	18	10.8%	15	6.2%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	13	3.2%	6	3.6%	7	2.9%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	46	11.2%	24	14.4%	22	9.1%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	35	8.5%	13	7.8%	21	8.7%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(7) 障がいのある人が就労の機会に恵まれ、自立した生活を営めるまちである	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	23	5.6%	9	5.4%	13	5.4%	0	0.0%	1	50.0%
ややそう思う	67	16.3%	21	12.6%	46	19.1%	0	0.0%	0	0.0%
思う	90	21.9%	30	18.0%	59	24.5%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	187	45.6%	72	43.1%	115	47.7%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	54	13.2%	29	17.4%	25	10.4%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	25	6.1%	16	9.6%	9	3.7%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	79	19.3%	45	27.0%	34	14.1%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	54	13.2%	20	12.0%	33	13.7%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(8) 障がいのある人がさまざまな相談ができ、安心して生活を営めるまちである	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	29	7.1%	9	5.4%	19	7.9%	0	0.0%	1	50.0%
ややそう思う	68	16.6%	20	12.0%	48	19.9%	0	0.0%	0	0.0%
思う	97	23.7%	29	17.4%	67	27.8%	0	0.0%	1	50.0%
どちらともいえない	201	49.0%	86	51.5%	115	47.7%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	44	10.7%	26	15.6%	18	7.5%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	14	3.4%	6	3.6%	8	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	58	14.1%	32	19.2%	26	10.8%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	54	13.2%	20	12.0%	33	13.7%	0	0.0%	1	50.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(9) 外国人が地域社会の一員として、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまちである	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	16	3.9%	5	3.0%	11	4.6%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	54	13.2%	20	12.0%	34	14.1%	0	0.0%	0	0.0%
思う	70	17.1%	25	15.0%	45	18.7%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	214	52.2%	83	49.7%	131	54.4%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	44	10.7%	23	13.8%	21	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	25	6.1%	15	9.0%	10	4.1%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	69	16.8%	38	22.8%	31	12.8%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	57	13.9%	21	12.6%	34	14.1%	0	0.0%	2	100.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(10) 犯罪被害者やその家族が再び平穏に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまちである	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	13	3.2%	5	3.0%	8	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	41	10.0%	12	7.2%	29	12.0%	0	0.0%	0	0.0%
思う	54	13.2%	17	10.2%	37	15.3%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	226	55.1%	96	57.5%	130	53.9%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	50	12.2%	20	12.0%	30	12.4%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	22	5.4%	12	7.2%	10	4.1%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	72	17.6%	32	19.2%	40	16.5%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	58	14.1%	22	13.2%	34	14.1%	0	0.0%	2	100.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

(11) LGBTQなどの性的マイノリティの人が差別を受けることなく、自分らしく生きることができるまちである	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	14	3.4%	6	3.6%	8	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
ややそう思う	42	10.2%	13	7.8%	29	12.0%	0	0.0%	0	0.0%
思う	56	13.6%	19	11.4%	37	15.3%	0	0.0%	0	0.0%
どちらともいえない	221	53.9%	93	55.7%	128	53.1%	0	0.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	55	13.4%	25	15.0%	30	12.4%	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	18	4.4%	8	4.8%	10	4.1%	0	0.0%	0	0.0%
思わない	73	17.8%	33	19.8%	40	16.5%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	60	14.6%	22	13.2%	36	14.9%	0	0.0%	2	100.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

表.性別考え方

(1) 男性と女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	35	8.5%	2	10.5%	2	6.7%	1	4.5%	3	5.0%	3	4.7%	7	9.6%	13	14.3%	4	8.0%	0	0.0%
ややそう思う	101	24.6%	7	36.8%	8	26.7%	6	27.3%	12	20.0%	18	28.1%	19	26.0%	19	20.9%	12	24.0%	0	0.0%
思う	136	33.1%	9	47.3%	10	33.4%	7	31.8%	15	25.0%	21	32.8%	26	35.6%	32	35.2%	16	32.0%	0	0.0%
どちらともいえない	173	42.2%	8	42.1%	10	33.3%	7	31.8%	32	53.3%	33	51.6%	32	43.8%	35	38.5%	16	32.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	43	10.5%	2	10.5%	6	20.0%	5	22.7%	5	8.3%	5	7.8%	8	11.0%	7	7.7%	5	10.0%	0	0.0%
そう思わない	17	4.1%	0	0.0%	3	10.0%	2	9.1%	3	5.0%	1	1.6%	3	4.1%	4	4.4%	1	2.0%	0	0.0%
思わない	60	14.6%	2	10.5%	9	30.0%	7	31.8%	8	13.3%	6	9.4%	11	15.1%	11	12.1%	6	12.0%	0	0.0%
無回答	41	10.0%	0	0.0%	1	3.3%	1	4.5%	5	8.3%	4	6.3%	4	5.5%	13	14.3%	12	24.0%	1	100.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(2) 配偶者・パートナーなどからの暴力(DV)の相談が受けられ、安心して暮らせるまちである	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	32	7.8%	1	5.3%	4	13.3%	2	9.1%	4	6.7%	4	6.3%	4	5.5%	9	9.9%	3	6.0%	1	100.0%
ややそう思う	78	19.0%	3	15.8%	7	23.3%	4	18.2%	14	23.3%	12	18.8%	14	19.2%	12	13.2%	12	24.0%	0	0.0%
思う	110	26.8%	4	31.1%	11	36.6%	6	27.3%	18	30.0%	16	25.1%	18	24.7%	21	23.1%	15	30.0%	1	100.0%
どちらともいえない	211	51.5%	15	78.9%	12	40.0%	13	59.1%	33	55.0%	39	60.9%	41	56.2%	42	46.2%	16	32.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	23	5.6%	0	0.0%	4	13.3%	0	0.0%	2	3.3%	3	4.7%	6	8.2%	6	6.6%	2	4.0%	0	0.0%
そう思わない	10	2.4%	0	0.0%	2	6.7%	1	4.5%	3	5.0%	1	1.6%	1	1.4%	1	1.1%	1	2.0%	0	0.0%
思わない	33	8.0%	0	0.0%	6	20.0%	1	4.5%	5	8.3%	4	6.3%	7	9.6%	7	7.7%	3	6.0%	0	0.0%
無回答	56	13.7%	0	0.0%	1	3.3%	2	9.1%	4	6.7%	5	7.8%	7	9.6%	21	23.1%	16	32.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(3) 子どもが各々の個性を發揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	44	10.7%	3	15.8%	7	23.3%	2	9.1%	7	11.7%	5	7.8%	7	9.6%	10	11.0%	2	4.0%	1	100.0%
ややそう思う	126	30.7%	6	31.6%	9	30.0%	6	27.3%	18	30.0%	19	29.7%	25	34.2%	26	28.6%	17	34.0%	0	0.0%
思う	170	41.4%	9	47.4%	16	53.3%	8	36.4%	25	41.7%	24	37.5%	32	43.8%	36	39.6%	19	38.0%	1	100.0%
どちらともいえない	144	35.1%	4	21.1%	7	23.3%	6	27.3%	25	41.7%	32	50.0%	31	42.5%	28	30.8%	11	22.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	38	9.3%	4	21.1%	3	10.0%	4	18.2%	4	6.7%	4	6.3%	7	9.6%	8	8.8%	4	8.0%	0	0.0%
そう思わない	15	3.7%	1	5.3%	3	10.0%	2	9.1%	5	8.3%	2	3.1%	0	0.0%	1	1.1%	1	2.0%	0	0.0%
思わない	53	13.0%	5	26.4%	6	20.0%	6	27.3%	9	15.0%	6	9.4%	7	9.6%	9	9.9%	5	10.0%	0	0.0%
無回答	43	10.5%	1	5.3%	1	3.3%	2	9.1%	1	1.7%	2	3.1%	3	4.1%	18	19.8%	15	30.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

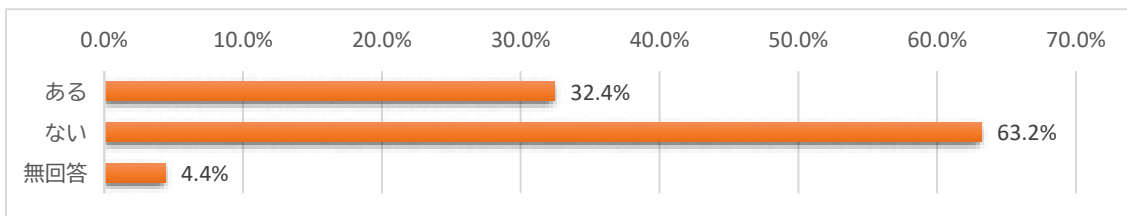
(4) 子育て家庭が安心して子どもを産み育てられるまちである	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	81	19.8%	4	21.1%	7	23.3%	6	27.3%	19	31.7%	10	15.6%	10	13.7%	17	18.7%	7	14.0%	1	100.0%
ややそう思う	159	38.8%	8	42.1%	16	53.3%	5	22.7%	20	33.3%	27	42.2%	31	42.5%	34	37.4%	18	36.0%	0	0.0%
思う	240	58.6%	12	63.2%	23	76.6%	11	50.0%	39	65.0%	37	57.8%	41	56.2%	51	56.1%	25	50.0%	1	100.0%
どちらともいえない	95	23.2%	4	21.1%	3	10.0%	1	4.5%	14	23.3%	23	35.9%	22	30.1%	19	20.9%	9	18.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	29	7.1%	1	5.3%	1	3.3%	5	22.7%	3	5.0%	2	3.1%	7	9.6%	8	8.8%	2	4.0%	0	0.0%
そう思わない	11	2.7%	2	10.5%	2	6.7%	2	9.1%	3	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	2.0%	0	0.0%
思わない	40	9.8%	3	15.8%	3	10.0%	7	31.8%	6	10.0%	2	3.1%	7	9.6%	9	9.9%	3	6.0%	0	0.0%
無回答	35	8.5%	0	0.0%	1	3.3%	3	13.6%	1	1.7%	2	3.1%	3	4.1%	12	13.2%	13	26.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

(5) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
そう思う	85	20.7%	5	26.3%	6	20.0%	5	22.7%	13	21.7%	10	15.6%	13	17.8%	19	20.9%	13	26.0%	1	100.0%
ややそう思う	162	39.5%	9	47.4%	14	46.7%	8	36.4%	24	40.0%	26	40.6%	28	38.4%	38	41.8%	15	30.0%	0	0.0%
思う	247	60.2%	14	73.7%	20	76.7%	13	59.1%	37	61.7%	36	56.2%	41	56.2%	57	52.7%	28	56.0%	1	100.0%
どちらともいえない	92	22.4%	4	21.1%	3	10.0%	2	9.1%	15	25.0%	18	28.1%	22	30.1%	15	16.5%	13	26.0%	0	0.0%
あまりそう思わない	32	7.8%	0	0.0%	4	13.3%	4	18.2%	2	3.3%	8	12.5%	7	9.6%	6	6.6%	1	2.0%	0	0.0%
そう思わない	12	2.9%	1	5.3%	2	6.7%	1	4.5%	4	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.3%	1	2.0%	0	0.0%
思わない	44	10.7%	1	5.3%	6	20.0%	5	22.7%	6	10.0%	8	12.5%	7	9.6%	9	9.9%	2	4.0%	0	0.0%
無回答	27	6.6%	0	0.0%	1	3.3%	2	9.1%	2	3.3%	2	3.1%	3	4.1%	10	11.0%	7	14.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

問 14 あなたは、「人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」を、最近5年間で身近で見聞きしたことがありますか

- 「ある」は32.4%（133件）、「ない」は63.2%（259件）とほぼ3人に1人は人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動を見聞きしています。
- 人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動を見聞きした人の性別は、男性が43.6%、女性が55.6%と女性が12.0ポイント高くなっており、年齢層は、「40歳～49歳」（20.3%）が最も多く、次いで「20歳～29歳」「50歳～59歳」「70～79歳」（それぞれ15.8%）、「60歳～69歳」（14.3%）「80歳以上」（7.5%）、「20歳未満」（4.5%）と、各年齢層それぞれに、何らかの人権問題を身近で見聞きしています。

図表.「最近5年間の人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」の見聞き（N=410）



項目	件数	構成比 (%)
ある	133	32.4%
ない	259	63.2%
無回答	18	4.4%
合計	410	100.0%

表.性別で見る「最近5年間の人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」の見聞き

	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
ある	133	32.4%	58	34.7%	74	30.7%	0	0.0%	1	50.0%
ない	259	63.2%	103	61.7%	155	64.3%	0	0.0%	1	50.0%
無回答	18	4.4%	6	3.6%	12	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	167	100.0%	241	100.0%	0	0.0%	2	100.0%

表.年齢別で見る「最近5年間の人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」の見聞き

	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
ある	133	32.4%	6	31.6%	21	70.0%	7	31.8%	27	45.0%	21	32.8%	19	26.0%	21	23.1%	10	20.0%	1	100.0%
ない	259	63.2%	13	68.4%	9	30.0%	14	63.6%	32	53.3%	43	67.2%	51	69.9%	64	70.3%	33	66.0%	0	0.0%
無回答	18	4.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	1	1.7%	0	0.0%	3	4.1%	6	6.6%	7	14.0%	0	0.0%
合計	410	100.0%	19	100.0%	30	100.0%	22	100.0%	60	100.0%	64	100.0%	73	100.0%	91	100.0%	50	100.0%	1	100.0%

問 14-1 それはどのような人権問題に関するものでしたか

- 人権を尊重する立場から見て問題と思われる人権問題の上位 5 位は、①「パワーハラスメント」(14.3%・19 件)、②子ども (13.5%・18 件)、③女性 (11.3%・15 件)、④インターネット (9.0%・12 件)、⑤障がいのある人 (7.5%・10 件) となっています。

その他： ・ コロナ

・ 近隣同志のトラブル

・ セクシュアルハラスメント

・ 地域のボス的人物が町会や自治会を利己的に支配している

・ 近隣

- 人権問題を性別との関係でみると次のようになっています。

◀女性の割合が高い人権問題>

・ 女性/性的マイノリティ/自殺/パワーハラスメント/引きこもり

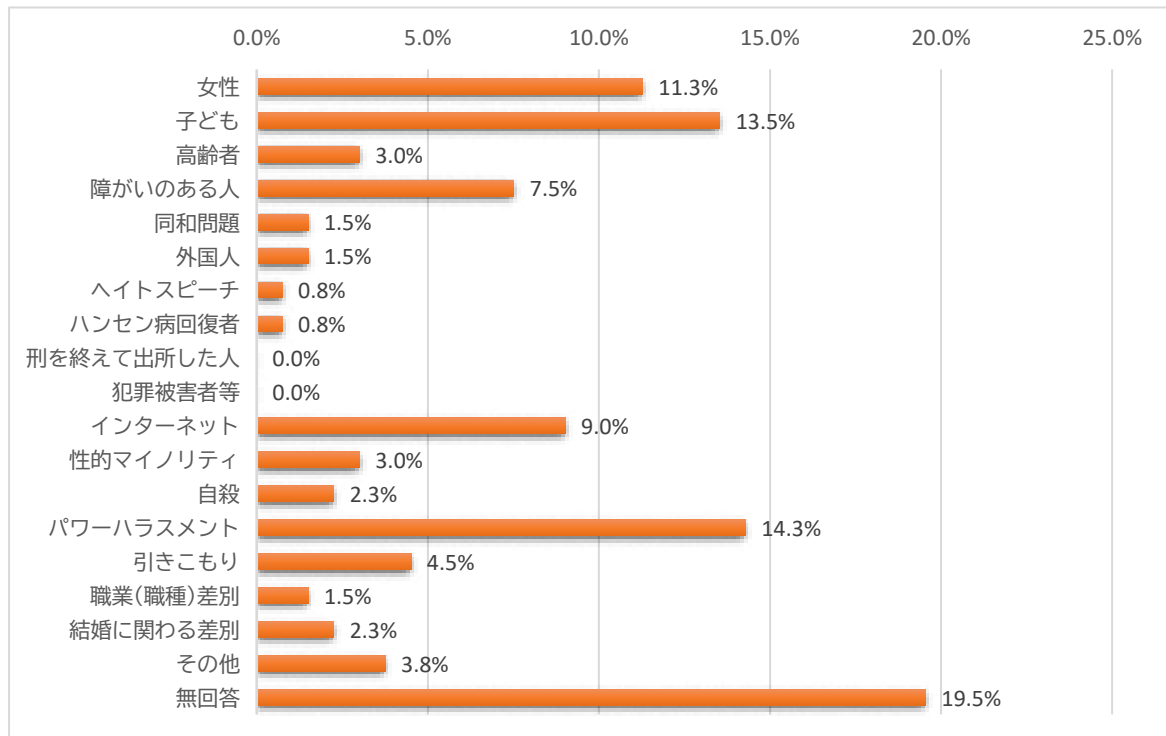
◀男性の割合が高い人権問題>

・ 障がいのある人/ヘイトスピーチ/ハンセン病回復者/結婚に係る差別

◀男女とも同じ割合の人権問題>

・ 子ども/高齢者/インターネット/職業（職種）差別

図表.どのような人権問題 (N=133)



項目	件数	構成比(%)
女性	15	11.3%
子ども	18	13.5%
高齢者	4	3.0%
障がいのある人	10	7.5%
同和問題	2	1.5%
外国人	2	1.5%
ヘイトスピーチ	1	0.8%
ハンセン病回復者	1	0.8%
刑を終えて出所した人	0	0.0%
犯罪被害者等	0	0.0%
インターネット	12	9.0%
性的マイノリティ	4	3.0%
自殺	3	2.3%
パワーハラスメント	19	14.3%
引きこもり	6	4.5%
職業(職種)差別	2	1.5%
結婚に関わる差別	3	2.3%
その他	5	3.8%
無回答	26	19.5%
合計	133	100.0%

	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
女性	15	100.0%	3	20.0%	11	73.3%	0	0.0%	1	6.7%
子ども	18	100.0%	9	50.0%	9	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
高齢者	4	100.0%	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
障がいのある人	10	100.0%	6	60.0%	4	40.0%	0	0.0%	0	0.0%
同和問題	2	100.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
外国人	2	100.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
ヘイトスピーチ	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ハンセン病回復者	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
刑を終えて出所した人	0	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
犯罪被害者等	0	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
インターネット	12	100.0%	6	50.0%	6	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
性的マイノリティ	4	100.0%	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
自殺	3	100.0%	0	0.0%	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
パワーハラスメント	19	100.0%	8	42.1%	11	57.9%	0	0.0%	0	0.0%
引きこもり	6	100.0%	2	33.3%	4	66.7%	0	0.0%	0	0.0%
職業(職種)差別	2	100.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
結婚に関わる差別	3	100.0%	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
その他	5	100.0%	2	40.0%	3	60.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	26	100.0%	13	50.0%	13	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	133	100.0%	58	43.6%	74	55.6%	0	0.0%	1	0.8%

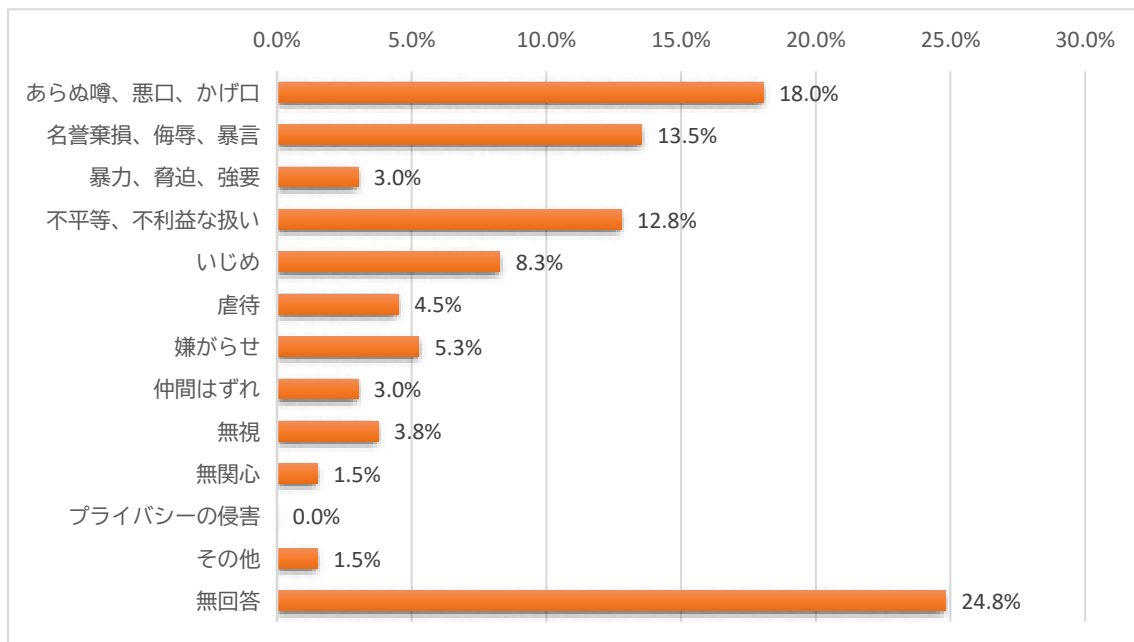
問 14-2 それはどのような内容でしたか

人権問題の内容の上位5位は、①あらぬ噂、悪口、かげ口 (18.0%・24件)、②名誉棄損、侮辱、暴言 (13.5%・18件)、③不平等、不利益な扱い (12.8%・17件)、④いじめ (8.3%・11件)、⑤嫌がらせ (5.3%・7件) となっています。

その他：・事象に関係ない子どもが自宅におしかけてきて事実関係の聞き取り、かくし撮りをしてきた

・同性同士を事実婚と認めず被害者給付金不支給

図表.人権問題の内容 (N = 133)



項目	件数	構成比(%)
女性	15	11.3%
子ども	18	13.5%
高齢者	4	3.0%
障がいのある人	10	7.5%
同和問題	2	1.5%
外国人	2	1.5%
ハイトスピーチ	1	0.8%
ハンセン病回復者	1	0.8%
刑を終えて出所した人	0	0.0%
犯罪被害者等	0	0.0%
インターネット	12	9.0%
性的マイノリティ	4	3.0%
自殺	3	2.3%
パワーハラスメント	19	14.3%
引きこもり	6	4.5%
職業(職種)差別	2	1.5%
結婚に関わる差別	3	2.3%
その他	5	3.8%
無回答	26	19.5%
合計	133	100.0%

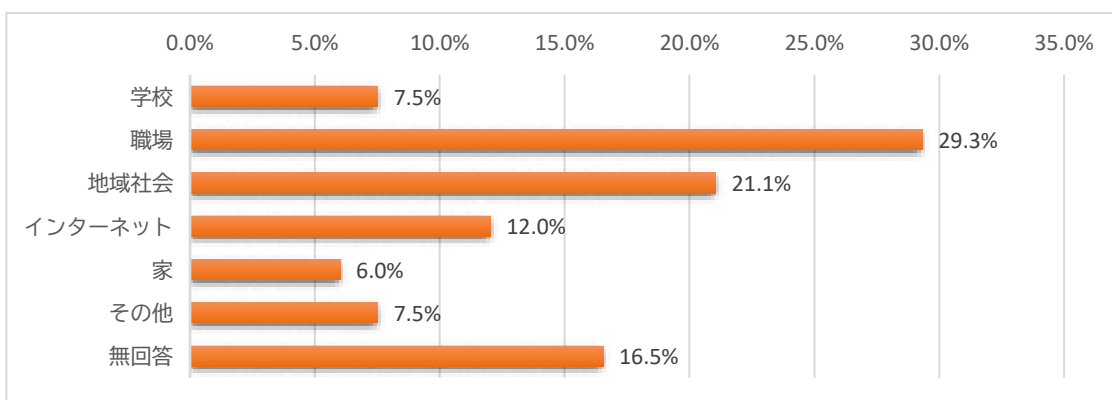
問 14-3 それはどこで見聞きしましたか

「職場」が29.3% (39件) と最も多く、次いで「地域社会」(21.1%・28件)、「インターネット」(12.0%・16件)、「学校」(7.5%・10件)、「家」(6.0%・8件)の順になっています。

- その他：
- ・テレビ
 - ・子どもの運動クラブの保護者
 - ・家族の職場
 - ・あるボランティアグループ内で
 - ・友だち
 - ・アルバイト先
 - ・学校の先生に相談し内容を先生より報告を受けた
 - ・身内の障がい者が学校側から嫌がらせされたと身内から聞いた
 - ・いろいろ

・女性どうしのうわさで仲間はずれのな話

図表.人権問題の見分の場所 (N = 133)

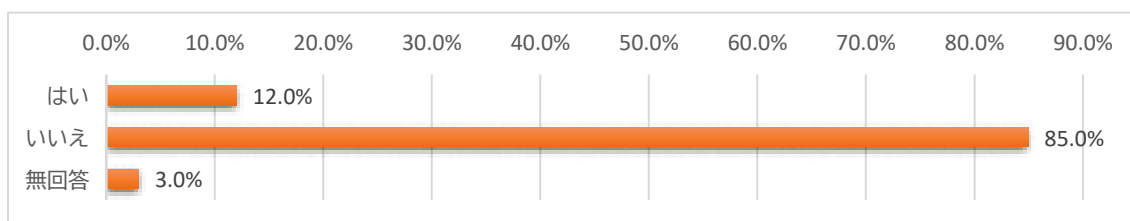


項目	件数	構成比 (%)
学校	10	7.5%
職場	39	29.3%
地域社会	28	21.1%
インターネット	16	12.0%
家	8	6.0%
その他	10	7.5%
無回答	22	16.5%
合計	133	100.0%

問 14-4 あなたが見聞きした「人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」はあなた自身に対するものでしたか

- 「はい」は 12.0% (16 件)、「いいえ」は 85.0% (113 件) と、人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動を 1 割の方が受けています。その方は年齢、性別から 40 歳代の女性に代表されます。
- **性別**は、男性が 25.0%、女性が 75.0%と圧倒的に女性の割合が高くなっています。**年齢層**は「40 歳～49 歳」(31.3%) が最も多く、次いで「60 歳～69 歳」(25.0%) 「20 歳～29 歳」 「50 歳～59 歳」 「70 歳～79 歳」(それぞれ 12.5%)、「20 歳未満」(6.3%) となっています。

表.人権問題の自他の有無 (N = 133)



項目	件数	構成比(%)
はい	16	12.0%
いいえ	113	85.0%
無回答	4	3.0%
合計	133	100.0%

表.性別で見る人権問題と思われる言動を受けたことの有無

	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
はい	16	12.0%	4	6.9%	12	16.2%	0	0.0%	0	0.0%
いいえ	113	85.0%	53	91.4%	59	79.7%	0	0.0%	1	100.0%
無回答	4	3.0%	1	1.7%	3	4.1%	0	0.0%	0	0.0%
合計	133	100.0%	58	100.0%	74	100.0%	0	0.0%	1	100.0%

表.年齢別で見る人権問題と思われる言動を受けたことの有無

	全体		20歳未満		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～79歳		80歳以上		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
はい	16	12.0%	1	16.7%	2	9.5%	0	0.0%	5	18.5%	2	9.5%	4	21.1%	2	9.5%	0	0.0%	0	0.0%
いいえ	113	85.0%	5	83.3%	19	90.5%	7	100.0%	21	77.8%	19	90.5%	15	78.9%	18	85.7%	8	80.0%	1	100.0%
無回答	4	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	2	20.0%	0	0.0%
合計	133	100.0%	6	100.0%	21	100.0%	7	100.0%	27	100.0%	21	100.0%	19	100.0%	21	100.0%	10	100.0%	1	100.0%

問 15 あなた自身に対する「人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」に対してどのように対応しましたか。また「相談した」「訴えた」「我慢した」「その他」については具体的に記述してください

- 「我慢した」が 43.8% (7 件) と最も多く、次いで「相談した」(37.5%・6 件)、「抗議・反論した」(25.0%・4 件)、「訴えた」(12.5%・2 件) となっています。

【対応についての具体的内容】

1. 「相談した」…6 件

- ・職場の上司/職場の先輩/労基局/市役所相談窓口(無料相談)に行ったが解決できなかった/近所で仲の良い方/友人

2. 「訴えた」…2 件

3. 「我慢した」…5 件

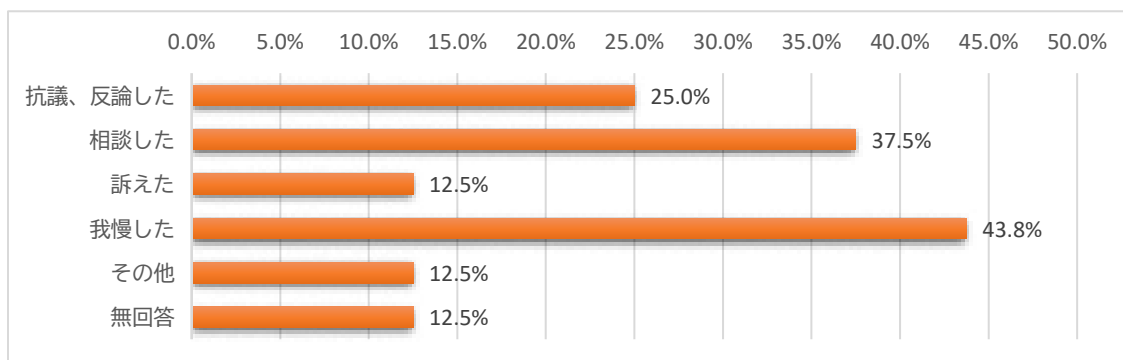
- ・めんどくさいから、人の悪口を言うのがその人の楽しみのようなので…
- ・上司に反論すると職場にいつらくなると思ったから
- ・こんな人を相手にしても自分が損するだけと思った
- ・いつもと同じ
- ・自分も同じ事をするのが嫌だった

4. 「その他」…2件

- ・相手にするのが時間のムダ
- ・営業をしている中で、この問題が再度

- 対応行動を性別でみると、「抗議、反論した」は男性が75.0%・女性25.0%、「相談した」は男性16.7%、女性83.3%、「訴えた」は男性・女性とも50.0%、「我慢した」は男性14.3%・女性が85.7%となっており、男性は抗議や反論などの直接行動、女性は相談あるいは我慢と性別によって行動形態が異なっています。
- 対応行動を人権学習経験の有無でみると、明らかに人権学習経験者は「我慢」より「抗議・反論」や「訴えた」という積極的な解決への行動をとっています。人権学習経験者は「我慢」は14.3%（人権学習経験無：85.7%）、「抗議・反論」は75.0%（同：25.0%）と、人権学習の経験のない人との違いが明らかに表れています。

図表.人権問題への対応 (N = 16)



項目	件数	構成比 (%)
抗議、反論した	4	25.0%
相談した	6	37.5%
訴えた	2	12.5%
我慢した	7	43.8%
その他	2	12.5%
無回答	2	12.5%
合計	23	

表.人権問題に見る性別対応

	全体		男性		女性		その他		無回答	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
抗議、反論した	4	100.0%	3	75.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
相談した	6	100.0%	1	16.7%	5	83.3%	0	0.0%	0	0.0%
訴えた	2	100.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
我慢した	7	100.0%	1	14.3%	6	85.7%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2	100.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	100.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	23	100.0%	8	34.8%	15	65.2%	0	0.0%	0	0.0%

表.人権学習経験の有無別人権問題への対応

	全体		人権の学習経験・有		人権の学習経験・無		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
抗議、反論した	4	17.4%	3	37.5%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
相談した	6	26.1%	1	12.5%	5	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
訴えた	2	8.7%	1	12.5%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
我慢した	7	30.4%	1	12.5%	6	40.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2	8.7%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	8.7%	0	0.0%	2	13.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	23	100.0%	8	100.0%	15	100.0%	0	0.0%	0	0.0%

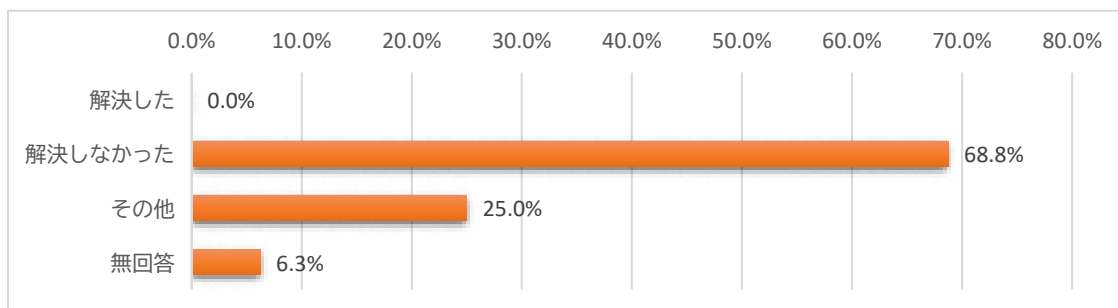
問 15-1 その問題（事案）は最終的に解決しましたか

「解決しなかった」が68.8%（11件）、「解決した」はありませんでした。

その他・私に対しては無くなったが、かわりに他の人が被害をうけ、再び上司に報告した

- ・そんな人の集まっている所に行かないようにした。
- ・一度しか顔を見た事がないので分かりづらい
- ・町に訴えているが返事がない(連絡するとの事)

図表.事案解決の有無「(N=16)」



項目	件数	構成比(%)
解決した	0	0.0%
解決しなかった	11	68.8%
その他	4	25.0%
無回答	1	6.3%
合計	16	100.0%

問 16 あなたが見聞きした、あなた以外の方への「人権を尊重する立場から見て問題と思われる言動」に対してどのように対応しましたか。「相談した」については「どこに、誰に」についても具体的に記述してください

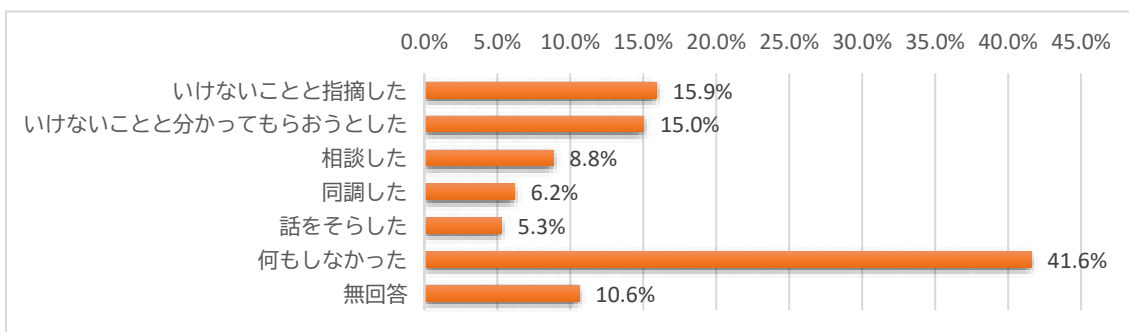
- 「何もしなかった」は41.6% (47件)、何らかの対応をしたのは半数近くを占めています。その対応は、「いけないことと指摘した」が15.9% (18件)と最も多く、次いで、「いけないことと分かってもらおうとした」(15.0%・17件)、「相談した」(8.8%・10件)、「同調した」(6.2%・7件)、「話をそらした」(5.3%・6件)となっています。

その他： ・主人と考えを共有しています。

- ・学校
- ・会社のしかるべきセクションに相談
- ・友人に
- ・行政機関
- ・知り合い
- ・学校の担任の先生に
- ・法務局、弁護士、裁判所
- ・先生に相談して解決しました。今は無視になったのでましです。
- ・議員の方

- 人権学習の経験の有無で自分自身以外の人権問題事案への対応行動をみると、何もしなかったが4割あるものの、「指摘」「理解」「相談」と何らかの行動をとっており、学習の成果が表れていると考えられます。

図表.自分以外の人権問題事案の対応「(N=113 複数回答)



項目	件数	構成比(%)
いけないうことと指摘した	18	15.9%
いけないうことと分かってもらおうとした	17	15.0%
相談した	10	8.8%
同調した	7	6.2%
話をそらした	6	5.3%
何もしなかった	47	41.6%
無回答	12	10.6%
合計	117	

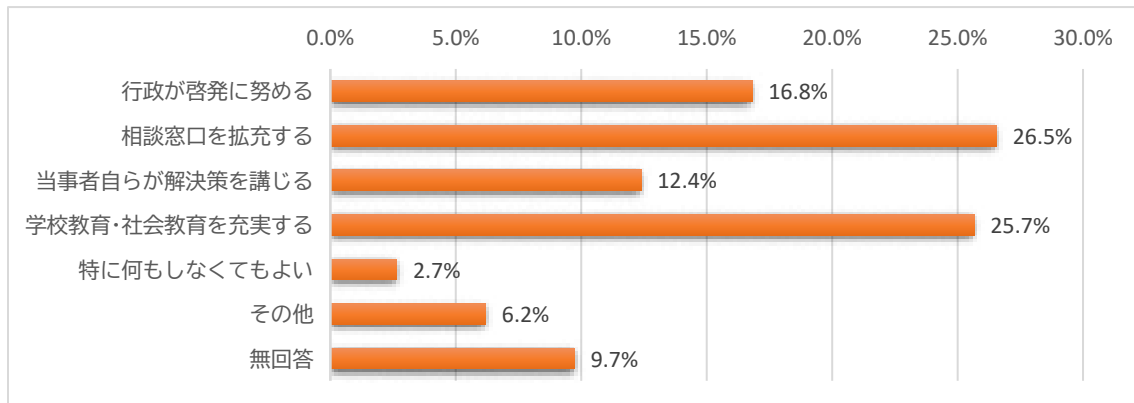
表.人権の学習経験の有無別人権問題事案の対応行動

	全体		人権の学習経験・有		人権の学習経験・無		その他		無回答	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
いけないことと指摘した	18	15.9%	16	15.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%
いけないことと分かってもらおうとした	17	15.0%	17	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
相談した	10	8.8%	9	8.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%
同調した	7	6.2%	6	5.9%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
話をそらした	6	5.3%	5	4.9%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
何もしなかった	47	41.6%	43	42.2%	4	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	12	10.6%	9	8.8%	2	25.0%	0	0.0%	1	33.3%
合計	117		105		8		0		4	

問 16-1 そのような問題（事案）についてどうしたらよいと思いますか

- 「相談窓口を拡充する」が26.5%（30件）と最も多く、次いで「学校教育・社会教育を充実する」（25.7%・29件）、「行政が啓発に努める」（16.8%・19件）、「当事者自らが解決策を講じる」（12.4%・14件）の順になっています。ただ、「特に何もしなくてよい」が2.7%（3件）と若干みられます。
 - その他：
 - ・ 1～4のすべてが必要だろうと思う。
 - ・ まず家族で話し合い、行動する
 - ・ 自分の言動が他人の人権を侵害しているということに気づかせるためにできるだけ多くの人の倫理感を養い行政や教育機関、団体、企業などあらゆる集団が人権侵害の防止に努める。
 - ・ 監視、制限
 - ・ いじめをしたら重い罰をあたえる
 - ・ 地域のボスの存在は減って来ているが未だ一部には残っている。狭い地域での民主化が不徹底な所がある。
 - ・ 本人が声をあげる。
- 人権学習の経験の有無により人権問題事案の対応策をみると、「人権学習の経験がある」では①学校教育・社会教育の充実（26.5%）②相談窓口を拡充（25.5%）③行政の啓発（18.6%）④当事者自らが解決策を講じる（9.8%）と、人権問題事象に対して人権学習や相談機能の充実や行政の啓発を求めています。「人権学習の経験がない」では①当事者自らが解決策を講じる（50.0%）②相談窓口を拡充（25.0%）③学校教育・社会教育の充実（12.5%）と、2人に1人が当事者による解決を求めています。また、「何もしなくてもよい」は12.5%を占め、人権学習の経験のない人は総じて行政が方策を検討する必要がないと考えています。

図表.自分以外の人権問題事案の対応策「(N = 113)」



項目	件数	構成比 (%)
行政が啓発に努める	19	16.8%
相談窓口を拡充する	30	26.5%
当事者自らが解決策を講じる	14	12.4%
学校教育・社会教育を充実する	29	25.7%
特に何もしなくてもよい	3	2.7%
その他	7	6.2%
無回答	11	9.7%
合計	113	100.0%

表.人権学習の経験の有無別自分以外の人権問題事案の対応策

	全体		人権の学習経験・有		人権の学習経験・無		その他		無回答	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
行政が啓発に努める	19	16.8%	19	18.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
相談窓口を拡充する	30	26.5%	26	25.5%	2	25.0%	0	0.0%	2	66.7%
当事者自らが解決策を講じる	14	12.4%	10	9.8%	4	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
学校教育・社会教育を充実する	29	25.7%	27	26.5%	1	12.5%	0	0.0%	1	33.3%
特に何もしなくてもよい	3	2.7%	2	2.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
その他	7	6.2%	7	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	11	9.7%	11	10.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	113	100.0%	102	100.0%	8	100.0%	0	0.0%	3	100.0%